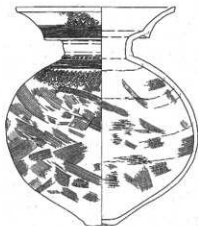


雲仙市文化財調査報告書 第3集

RYUOU
龍王遺跡Ⅲ

(縄文時代・古墳時代編)

—国見中部地区県営團場整備事業に伴う発掘調査—

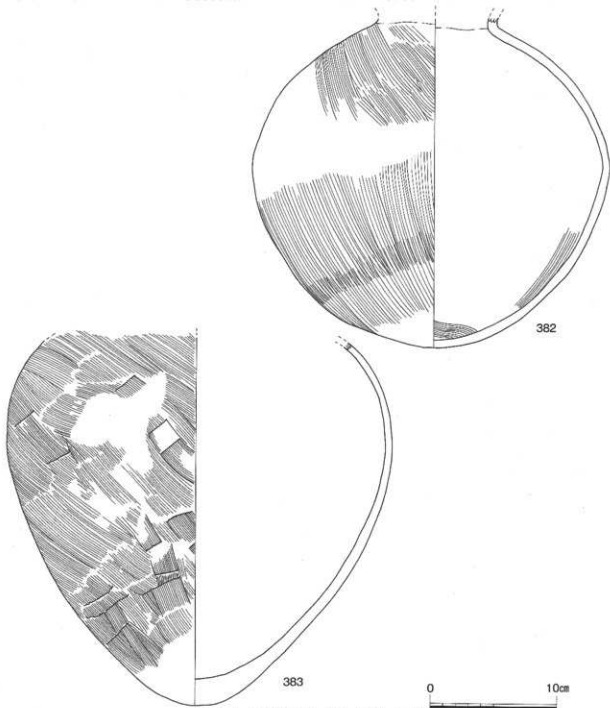


2008

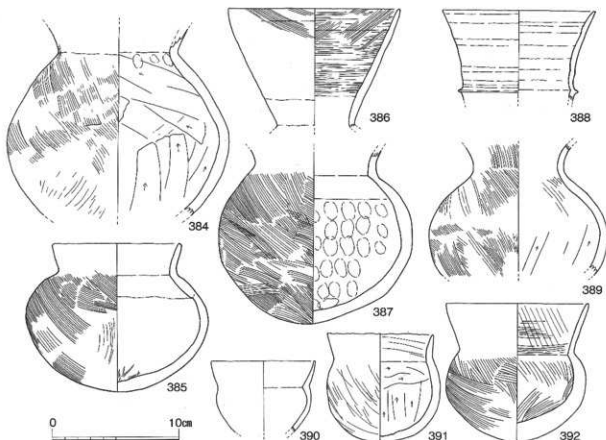
長崎県雲仙市教育委員会

ケ後に横位のナデ、内面は斜位のハケ後にナデを施している。頸部は内・外面ともに横位のナデである。383は底部径は4cmを測り、丸底に近い小さい平底である。胴部最大径は胴部の中位よりやや上に位置している。肩部分が張っており、頸部より上は欠損しているが首が締まり、外反する口縁部が付くと思われる。胴部外面は細かい斜位のハケが施されており、胴部内面も斜位のハケを行っているがきれいにナデ消されているため判然としない。

小型壺（第117図）：384は頸部から胴部下位までが残存している。底部は欠損しているが胴部下位の傾きから見るとおそらく丸底になるだろう。胴部はそろばん玉のような形で中位に膨らみを持つ。頸部は締まりがよい。残る口縁部から外反して、おそらく斜め上に長く伸びることが推測できる。胴部外面は斜位のハケ。内面は横方向斜位のハケズリを施し、頸部直下は指頭圧痕。口縁部は内・外

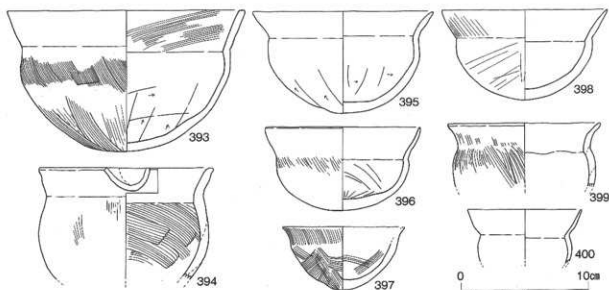


第116図 方形環溝出土土器（壺⑨）（1/3）



第117図 方形環溝出土土器(壺⑩小型壺)(1/3)

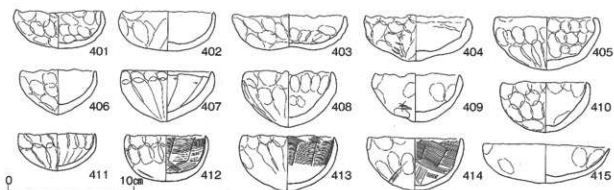
面ともに横位のナデを施す。385は残存率80%。底部は丸底を呈し、胴部中央に膨らみを持ち、楕円形である。頸部は締まりが悪く、口縁部が短く直立する。口縁部は横位のナデ、胴部外面が斜位のハケ、胴部内面がケズリ後ナデを施している。386は長頸壺の口縁部である。斜めにまっすぐ伸び、開いている。口唇部端はまるくおさめる。内・外面ともに丁寧な横位のハケと横位のナデを施し、部分的に斜位のハケを行っている。387は頸部から底部までが残っている。底部は丸底を呈し、頸部は締まりがとても甘く、胴部は球形である。若干残る口縁部から外反することがわかる。口縁部は内・外面ともに横位のハケ後横位のナデ、胴部外面が横位のナデ後斜位のハケ、底部が胴部より若干目の粗い、下から上へ縦位のハケである。内面は胴部に指頭圧痕を施している。指頭圧痕は指の順にならんでいるように思われ、三・四本の指で同時に押さえ込んでいる。388は長頸壺の口縁部で、山陰系のもの中でも口縁部が長く伸びている直口壺の類である。胴部はないが小型で球形になると考えられる。口縁部は若干外反し外側に開いている。有段のものである。内・外面ともに横位のハケ後横位のナデである。389は長頸壺である。口唇部・底部は欠損している。胴部は最大径が中位に位置し、丸くなっている。頸部は非常に締まりが甘く、口縁部は外反している。外面は横位のナデ後に斜位のハケ、内面は口縁部が横位のナデ、胴部はケズリを施している。390は小型丸底壺である。底部は丸底を呈すと考えられ、口縁部は長くて若干内湾し、口唇部は断面方形。内・外面ともに横位のナデ、その後ミガキ、内面はその前に斜位のハケである。391は全く割れず完形で出土している。胴部・底部は球形である。頸部の締まりが甘く、口縁部は短く、直立している。外面は斜位のハケ、内面はケズリである。392は小型丸底壺である。底部内面が若干剥がれている以外はほぼ完形である。胴部は丸いが底部では尖底になる。頸部は締まりが甘い。口縁部は長く、少し外側に開くがほぼ直立である。底部の器壁は非常に厚くてできている。外面は口縁部が横位のナデ、胴部が横位のナデ後に斜位のハケである。内面は口縁部が斜位のハケ後に横位のナデを施し、上から横位のハケを施し、口縁部上部の



第118図 方形環溝出土土器（小型丸底土器）（1/3）

み再度横位のナデで整える。胴部が外側から内側へ横位の強いハケ、底部が下から上へ縦位の強いハケを行った後縦位のナデで整えている。

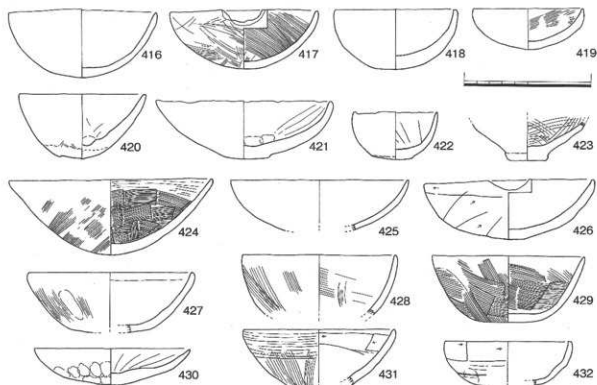
小型丸底土器（第118図、図版22）：393は底部が丸底を呈す。胴部は丸くはならず、底部に向かって「V」の字になるような傾きである。頸部は締まりが甘い。口縁部はほぼ直立しており、口唇部端は若干内側に斜めに切れている。外面は口縁部から胴部まで横位のナデ、底部はケズリの行った後縦位のナデを施し全体を指頭圧痕で整え、縦位のハケを施している。内面は口縁部が斜位のハケ、胴部はケズリである。394は胎土に角閃石が多く含まれており在地のものか。胴部は張らず、口縁部は約60%残存するが、一部に打ち欠いた痕と考えられる部分があり図示している。割れ面がなめらかに整えられており本来は点線部分ぐらいまでだったものが、さらに割れてしまったのであろうか、左半分の割れ面はなめらかさが無い。口縁部は横位のナデにより丁寧に仕上げられている。胴部内面には輪積みの痕跡と考えられるつなぎ目が見られる。指頭圧痕やハケによりその段差を除去しようとしているようだがそこまで達していない。内面にはしっかりとしたハケが残る。胴部外面は縦位のハケが若干残存するが、器面の剥落が著しく、判然としない。剥落は輪積みの接合部分からのようだ。395は残存率90%。底部は丸底を呈し、頸部は締まりが甘い。口縁部は中央が肥厚しながら外反しており、横位のナデで丁寧に仕上げている。胴部外面は底部が縦位のケズリ、その上が横位のナデ、胴部内面は底部にくもの巢状のケズリを行い、その上からナデを施す。396は底部・胴部は丸くなっている。口縁部は若干内湾している。外面は口縁部が横位のナデ、頸部・胴部上位が横位・縦位のハケ、その後横位のナデで整形している。底部は横位のハケ・ナデである。内面は口縁部が横位のナデ、胴部中位が横位のケズリ、底部が縦位のケズリでその後横位のナデで仕上げを行っている。397は小型の甕である。底部は安定のよい丸底を呈す。胴部も丸く、外反した短い口縁部が付く。外面は口縁部が縦位のハケ後にナデ、胴部が斜位のハケである。内面は横位のナデ後底部付近だけ斜位のハケである。398は底部が尖り気味の丸底を呈す。胴部は丸く、口縁部は若干外反して口唇部で器壁が薄くなる。外面は口縁部が縦位のナデ後に斜位のハケ、最後に横位のナデを施す。胴部は横位のナデ後に目が粗い斜位のハケである。内面は口縁部がナデである。399は底部が欠損しているが、おそらく丸底になるだろう。胴部も中央に膨らみを持ち、口縁部は外反し、口唇部でやや肥厚する。頸部外面の後縁は目立たない。土器を作る際の接合部分が明瞭に残る。外面は横位のナデ後に縦位のハケである。内面は横位のナデで整えている。400は底部は欠損しているが丸底になるだろう。頸部の締まりは甘い。



第119図 方形環溝出土土器(鉢①手捏ね)(1/3)

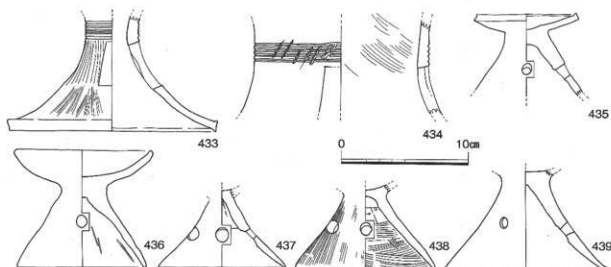
口縁部は長く、内湾している。口縁部は内・外面ともに横位のナデ、胴部外面は縦位のナデ後に横位のナデを施す。丹塗りの痕跡も残る。内面は斜位のナデを行っている。

手捏ね浅鉢(第119図、図版22~23): いずれも、口縁部を底部から上へつまみあげて作っている。で、指頭圧痕やナデなどの調整が明瞭に残り、手捏ね土器であることが言える。401は底部が平底で安定がよくできている。402は底部は平底で安定がよい。内・外面ともにナデだが、外面は斜位のナデ、内面は縦位の後に横位のナデで形を整えている。403は口縁部が内湾している。底部は中央がくぼんだ丸底を呈す。内・外面ともに、縦位のナデを施し、口縁部は横位のナデである。外面は全体に、内面は底部に指頭圧痕を行っている。404も口縁部が若干内湾している。底部は平底に近い安定が悪い。外面はケズリ後強めの指頭圧痕と縦位のナデを施している。内面はナデと指頭圧痕である。粘土を重ねたような輪積みの痕跡が見られる。405は口縁部が内湾し、底部は丸底を呈す。内・外面ともに、口縁部が横位のナデ、胴部が縦位のナデ、その後指頭圧痕である。406は口縁部がやや内湾している。底部は尖底である。口縁部は水平ではない。内・外面ともに縦位のナデ、口縁部は横位のナデであるが、外面は縦位のナデの後に指頭圧痕、内面は縦位のナデ後横位のナデで綺麗に整えている。407は口縁部がやや内湾気味、底部は尖底である。内・外面ともに底部から口縁部への縦位のナデでつまみ上げ、口縁部付近で縦位のナデを指頭圧痕で止め、内面だけケズリを施し、その後口縁部付近で横位のナデを施している。408は底部が尖底で安定が悪く、「V」の字状を呈す。器壁は厚い。外面は、縦位のナデ後口縁部付近が横位のナデ、その後指頭圧痕を行ったようで明瞭に残っている。口縁部はやや直立気味で水平にできていない。409は口縁部が内湾しており、底部は安定の悪い平底である。全体の作りが凸凹があり、手捏ねであることが分かる。内・外面ともに縦位のナデ、口縁部は横位のナデ、その後、指頭圧痕が明瞭に残っている。外面は、底部にケズリの痕跡もある。410は口縁部がやや内湾し、水平ではないので手捏ねであることが分かる。底部は平底みたいになっており安定がよい。残存率50%。内・外面ともに下から上へつまみ上げ縦位のナデ後に口縁部だけ横位のナデである。その後、指頭圧痕で調整を行っている。図面はないが調査員が確認している。いずれも完形品であり、小・中・大となる。調整は縦位のナデ後に指頭圧痕を施しており下から上へつまみ上げて鉢を作っていることから手捏ねであることが言える。中と大サイズのものは内面に回転を利用したくもの巣状のハケを施している。414は口縁部がほぼ直立し、底部は丸底だが安定はよい。口縁部は綺麗にできており、ほぼ水平である。器壁は口縁部から底部まで薄く均一である。内・外面ともに下から上へ縦位のナデでつまみ上げ、口縁部は横位のナデで整えている。その後、外面は、やや強めの指頭圧痕が明瞭に残り、内面は回転を利用したくもの巣状のハケを行い、底部はハケ後ナデである。415は口縁部が外側に開いており、若干水平ではない。底部は安定がよい丸底を呈す。内・外面ともに縦位のナデ・横位のナデ後指頭圧痕である。



第120図 方形環溝出土土器(鉢②) (1/3)

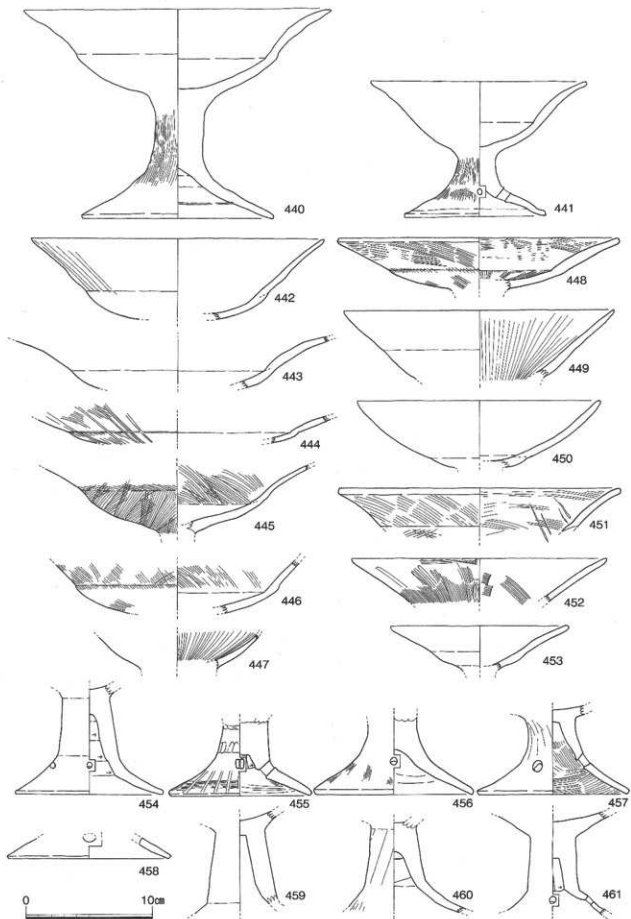
浅鉢(第120図、図版23) 1段目は丸底の鉢である。416は内・外面ともにナデを施している。417は口縁部の一部分が打ち欠かれており、外面は不定方向への太いハケ、内面は斜位方向への細いハケを施す。418は完形で出土している。器壁が厚く、焼成剥離が多く見られる。内・外面ともにナデを施している。419は外面が横位のナデ、内面は横位のハケ後横位のナデである。2段目は底部に高台が付く鉢である。420は粘土を貼り付けた痕跡が明瞭に確認できる。胴部外面は底部がケズリ。内面は底部に指頭圧痕が明瞭に残る。421は口縁部が大きく開き、若干内湾する。外面はナデ、内面には縦位のナデ後にケズリ、その後横位のナデ・指頭圧痕で仕上げている。422は外面がナデ、高台の底面はミガキできれいに仕上げている。内面は横方向に回しながら蜘蛛の巣状ヘラケズリを施す。若干口縁部分の焼きが甘い。423は外面が高台部分はナデで貼り付け、内面は回しながら蜘蛛の巣状に横方向への強めのハケを施す。3段目は丸底で大きめの鉢である。424は丸底だが上に向かって「V」の字状に開いている。外面が胴部中位から下は斜位のハケ、その後ナデを行っている。内面は胴部中位から下はハケケズリ後横位のナデである。425は口縁部が水平で、端部が断面方形。胎土にはほとんど粒子が含まれず、硬くて精製されている。内・外面ともに横位のハケ後横位のナデ、ミガキを行っている。426は口縁部には打ち欠いた痕と思われる部分がある。外面はケズリ後部分的にナデを行っている。内面はナデを施している。4段目は平底である。427は外面が縦位のハケ後縦位のナデ、内面は横位のハケ後横位のナデである。428の外面は縦位のハケ後横位のナデ。内面は横位のハケ後横位のナデである。429は焼成がよく硬く仕上がっており、精製されている。外面は底部をケズリその後全体に横位のハケを施す。内面は回転を利用した蜘蛛の巣状のハケを施している。430も完形で出土した。外面が底部に縦位ナデ後指頭圧痕である。内面は回転を利用した縦位のケズリを施す。431は外面が上部に横位のハケ後横位のナデ、その下に縦位のハケを施す。内面はケズリ後横位のナデである。432は口縁部が断面方形でやや外側に斜めに下がっている。外面は口縁部が横位のケズリと指頭圧痕、最後に部分的にミガキを行っている。内面は横位のナデを施す。



第121図 方形環溝出土器（器台）(1/3)

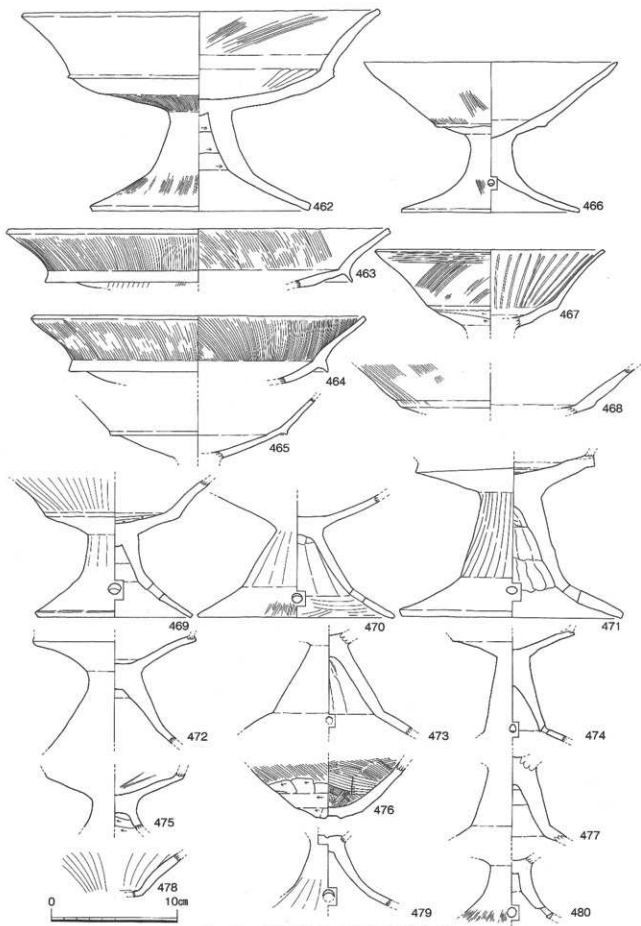
器台（第121図、図版23）：433・434は弥生後期からの系譜を持つ在地系器台、435～439は古墳初期の精製小型器台である。433は器台の脚台部で、従来の器台とは若干形が異なり、台裾部が大きく開いており、脚柱部は非常に細く、くびれている。くびれ部分には5条の匏描き直線文が施文されており、その下にバチ状の透かしが4ヶ所あると考えられる。裾端部は横位のナデで整えられており中央をくぼませ上下につまみ出している。外面は縦位のハケを施した後に匏描き直線文が施される。内面は斜位のハケ後にナデを行っている。434は器台の脚柱部破片資料である。くびれ部分には4条の匏描き直線文が施文されており、その上から斜短線を施している。その下にバチ状の透かしが4ヶ所あると考えられる。外面は丁寧な横位のナデを施した後匏描き直線文を施す。内面は斜位のハケ後に横位のナデを行っている。435は受け部が皿状で非常に浅く、移行部は鋭角を成し、脚柱部が円錐形の小型器台である。脚部に4ヶ所の孔が穿孔されている。受け部と台裾部付近は横位のナデ、脚部は縦位のナデである。436は接合によりほぼ完形にまで復元できた。外面には丸い透かし孔が4ヶ所見られる。受け部は435ほどではないが浅く鉢状で、ゆるやかに脚台部に移行する。受け部より脚部の器高が高い。受け部径と台裾部径が同様に直線的に広がる類である。外面はナデ、内面は坏部が横位のナデ、脚台部はケズリ後ナデを施す。437は受け部は残存していないが、移行部が鋭角で、脚台部は円錐形である。外面には孔が5ヶ所穿孔されている。胎土には粒子が多く含まれており、器面が荒れている。外面は横位のハケ後に横位のナデ、その上から強く縦位のナデを施す。内面は上方が縦位のケズリで、孔から下は横位のナデで整えている。438は4ヶ所の孔が穿孔されている。外面は横位のナデ後にミガキを行い、縦位のハケを施している。内面は孔より上が横位のケズリ、孔の周辺に不定方向へのハケを行っている。439の台裾部は他の小型器台より高さがあり、大きく「ハ」の字に開いている。丹塗りの痕跡が見られ、孔が3ヶ所外側から穿孔されている。器面の劣化が激しいため内・外面の調整は判然としない。

高坏（第122図～第123図、図版23～24）：440と441は残存率60%以上。440は台裾部端が断面方形で、脚柱部は中実である。裾部外面は横位のハケ後横位のナデ、内面は横位のケズリ後横位のナデを施す。脚柱部外面は縦位のハケ後縦位のナデ。坏部は内・外面ともに横位のハケ後に横位のナデを施す。坏部底部内面はケズリ後ナデ、坏部と脚柱部はナデで整え接合している。441は台裾部が波打つように断面方形の端部につながる。脚柱部は若干太めで短く、中実である。脚柱部と台裾部の境に4ヶ所の穿孔が確認できる。台裾部外面は端部を横位のナデで整えており、穿孔部分周辺は横位のナデ後に縦位のハケ、内面はケズリ後に横位のナデを施す。坏部は横位のハケ後縦位のナデ、その後部分的に放



第122图 方形环溝出土土器 (高环①) (1/3)

射状のケズリを入れミガキを行っている。脚柱部の外面は縦位のハケ後縦位のナデ、内面はケズリである。442~453は坏部分の破片資料である。442は外面が口縁部は縦位のハケ後ナデ、内面は横位のナデである。443は口唇部端がわずかに欠損。全体に横位のハケ後横位のナデを施す。444も口唇部・坏部下半がわずかに欠損している。坏部下半があまり丸みを帯びておらず浅い。口縁部と坏部下半の接合部分に沈線が見られる。外面は横位のナデ・横位のハケ後に斜位のハケ、ミガキで暗文を仕上げている。内面は横位のナデ後ミガキを施す。445は口唇部端が欠損。外面は横位と斜位のハケ後ナデを施している。内面は口縁部が斜位のハケ、下半部は斜位のハケ後ナデ消している。446は坏部下半が浅く、あまり丸みを帯びていない。内・外面ともに斜位のハケ後ナデを施す。447は坏部下半しか残っておらず、外面が横位のハケ後横位のナデ、内面は坏部が縦位のケズリ後ナデ、脚柱部が横位のケズリである。448は下半部が非常に浅い。外面は斜位のハケ後ナデを施す。内面は坏部下半が縦位のハケを施す。449は稜が明確ではないが有段である。外面は横位・斜位のハケ後に横位のナデ。内面は横位のナデ、その下にはミガキを行って暗文を仕上げている。450は全体が浅鉢の様な形をしており、口縁部がやや内湾する。有段だが坏部下半が非常に小さい。器面は剥落しているため判然としない。451は外面が口縁部は斜位のハケ後ナデである。下半部の接合部分は格子状のハケである。内面は横位のハケ後横位のナデを施す。452は口縁部が外反せずまっすぐ斜めに伸びている。外面はまず全体に横位のハケ後横位のナデ、下は横位のナデ・ミガキ後縦位のハケ・ナデを施している。453は小型の高坏である。器面が摩滅しており判然としない。454~461は脚柱部である。454は6つの孔が穿孔されているが、1ヶ所だけ内面まで到達していない。外面はナデを施す。内面は脚柱部が横位のケズリ、台裾部が横位のナデである。455は4ヶ所四角い孔が穿孔されており、台裾部には部分的に丹塗りの痕跡がある。外面は脚柱部がケズリと横位のナデで、台裾部が内・外面ともに横位のハケ後横位のナデ、ケズリを施しミガキで暗文を仕上げている。内面は脚柱部が縦位のケズリである。456は3つの孔が穿孔されている。台裾部は端部が断面方形。外面は脚柱部が横位のナデ、台裾部が縦位のハケを施し、ミガキを施す。内面は横位のケズリ後横位のナデである。457も3つ孔が穿孔されており、外面は脚柱部が縦位のケズリ後にミガキ、台裾部は斜位のハケ後に縦位のナデを施し、内面は脚柱部がケズリ後に縦位のハケ、台裾部分は太目のしっかりとした斜位のハケが施されている。458は個数が不明だが孔が穿孔されている。裾部端部は断面方形である。459は脚柱部が若干太く長い。外面は器面の摩滅が激しく分かりにくくなっている。内面はケズリ後ナデである。460は脚柱部が短く若干太い。外面は脚柱部が縦位のケズリ後全体にミガキを施す。内面は横位のケズリ。461は孔があり、確認できるのは2ヶ所だがおそらく4ヶ所穿孔されていただろう。外面は脚柱部に縦位のハケ後縦位のナデ。内面は坏部・台裾部が横位のナデ、脚柱部が横位のケズリ後縦位のナデで整形されている。462は台裾部には段があり、開いている。脚柱部は円錐形で短くて太い。坏部は下半があまり丸身を帯びていない。口縁部は外反している。坏部が有段で、浅い。台裾部は坏部の約半分の径である。口唇部端は丸くおさめている。外面は坏部が縦位のハケとナデ、台裾部は縦位のハケ後に縦位のナデを施している。内面は口縁部がナデ後に斜位のハケ、坏部下半がミガキで暗文に仕上げている。脚柱部は横位のケズリ、台裾部がナデを施す。463は有段で突帯が貼りつけられており、口縁部は外反し、大きく外側に開いている。口唇部端には1条のくぼみがある。脚部は462のように短いものが付くと思われ、坏部は浅い。外面は口縁部が縦位のハケ後横位のナデ、突帯のようなものが付き、横位のナデを施す。坏部下半が横位のハケとナデ、部分的に縦位ハケ後縦位のナデ。内面は口縁部が縦位のハケ後縦位のナデ、坏部下半が横位のナデである。464は口縁部が外側に開いている。463と同じく突帯のようなものが付くが、坏部下半は463より丸みを帯び深めである。調整はほとんど同じである。465は有段の坏部である。口縁部は半分しか残存していないが、残っている部分から、そのまま斜めに



第123图 方形瓠满出土土器 (高环②) (1/3)

外反せずに伸びるようである。463や464のように突帯があるが、小さく、三角形を呈す。内・外面ともに横位のナデである。466は残存率50%。有段の坏部で、口縁部は外反せずに斜め上に伸び、大きく外側に開いている。脚柱部は細くて短く、台裾部との間に1ヶ所孔が穿孔されている。外面は坏部が横位のナデ後斜位のハケ、脚柱部がナデ、台裾部が縦位のハケとナデである。内面は坏部が横位のハケ・ナデ、台裾部がナデである。467は脚柱部が残存していないが、坏部と脚柱部の接合面を見ると細めの脚柱部が付く可能性が高いと考える。口唇部端は断面方形。外面の有段部分には接合した痕跡が残っているが、内面は調整で綺麗に分からなくしている。外面は口縁部が横位のハケで、上1cmを残して斜位のハケを施し、横位のナデと部分的にナデ消しを行っている。段より下は、ケズリを行った後横位のナデである。内面は口縁部が横位のハケを施した後、放射状にミガキをかけ暗文に仕上げている。段より下はハケケズリ後横位のナデで整えている。468は坏部下半が浅くほぼ水平になる。外面は段の上が縦位のハケ後ナデ、段がケズリ後横位のナデである。内面はナデを行っている。469～471は坏部下半から台裾部までが残存している。469は口唇部端がわずかに残存していない。裾端部は断面方形を呈す。外面には4ヶ所孔が穿孔されている。外面は口縁部が縦位のケズリ、坏部下半が縦位のハケ後横位のナデ、脚柱部が縦位のケズリ後縦位のナデ、台裾部が横位のハケ後横位のナデである。内面は坏部がケズリ後丁寧なナデ、脚台部がケズリ、台裾部のみ横位のナデを行っている。470は台裾部が大きく外側に広がり、脚柱部は太く、外側に広がり円錐形で短い。坏部は台裾部よりも外側に開くだろう。孔が穿孔されている。外面は坏部が横位のナデ、脚柱部が縦位のハケ後にナデで、ミガキを施して暗文のように仕上げられており、台裾部が細い縦位のハケの後ナデである。内面は坏部がナデ、脚台部はケズリを行いナデ、その後ミガキである。471は坏部下半はほぼ平らで、脚柱部との接合部分だけが若干くぼんでいる。脚柱部は太くて短く、円錐形である。おそらく口径は台裾部径より長い。裾部端部は断面方形。外面の台裾部上部に4ヶ所孔が穿孔されている。外面は坏部端部が横位のナデ、坏部が縦位のナデ、脚柱部が横位のナデ後に縦位のケズリ、その後ミガキを施す。台裾部はナデ、裾端部は横位のナデで整えている。472は坏部が有段なのでおそらく外反する口縁部が付く。脚柱部は太くて短い。外面は坏部が横位のハケ後に横位のナデ、脚柱部が縦位のハケ後ナデである。内面は坏部が横位のハケ後横位のナデ、脚柱部が横位のケズリ後横位のナデである。473の脚柱部は太くて短く、円錐形に広がっている。台裾部は欠損しているが大きく広がるだろう。いくつかは不明だが孔が穿孔されている。外面は上から下まで全体的にナデを施し、内面は縦位のケズリ後に縦位のナデを行っている。474は4ヶ所穿孔されている。475は470の高坏によく似ている。脚柱部との接合部分が残っており、脚柱は太めである。外面は縦位のナデ後指頭圧痕である。内面はケズリ後にミガキを行い暗文にし、その上から横位のナデを行っている。476は坏下半と考えられる。断定はできないが、外面に脚台部と接合するための痕跡が底部に残っている。外面は横位のケズリ斜位のハケ、内面は斜位のハケである。477は脚柱部が太めで短く、円錐形である。台裾部は広がるタイプ。坏部は深めだろう。外面には2つの孔しか確認できないがおそらく4ヶ所穿孔されていたであろう。外面は脚柱部が横位のナデ、台裾部がナデ、その後全体的にミガキをかけている。内面は横位のケズリ後縦位のナデである。478は坏部片で内・外面ともにケズリ後ミガキをかけ暗文にした後横位のナデを施している。479は確認できるのは3ヶ所だがおそらく4ヶ所孔が穿孔されていた。脚柱部は太くて短く、円錐形である。台裾部は広がるだろう。外面は横位のナデ、裾部が横位のナデ後に縦位のハケを施し上からミガキをかけ暗文にしている。内面はケズリ後ナデである。480は3ヶ所の孔が穿孔されており、脚柱部は短い。台裾部はかなり広がると思われる。外面は横位のハケ後に横位のナデ、裾の始まり部分のみ縦位のハケを施している。内面は横位のケズリで、裾部のみナデで整形している。

(小野)

第2表 倉地川地区縄文時代早期土器観察表

| 図号 | 番号 | 部位 | 位置 | 色層 | | 胎土 | 文様 | | | 表面装飾 | | | 備考 |
|----|-----|--------|----------|----------|-------------|----------------------|--------------------------|-------------------|----------|------|----|-----------|-----------------|
| | | | | 外周 | 内周 | | 外周 | 内周 | 口縁部 | 外周 | 内周 | 口縁部 | |
| 14 | 1 | 風脚土瓶 1 | 口 | 5YR6/6 | 5YR6/4 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 斜位の粗大な横内押型文を施した面押しつぶし | 口縁部に縦位の2本の帯体条痕 | | | | | 弥生物付着、AMS |
| | 2 | 風脚土瓶 1 | 口 | 5YR7/6 | 5YR6/2 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位のやや粗大な横内押型文を面押しつぶし | 口縁部に横位の帯体条痕 | 横位の帯体条痕 | | | | 横位のケズリ後丁寧なナデ |
| | 3 | 風脚土瓶 1 | 口 | 25Y7/4 | 25Y7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 4 | 風脚土瓶 1 | 口 | 7.5YR | 7.5YR3/4 | 石英、赤色粒子、白色粒子、角閃石 | やや粗大な横内押型文 | 帯体条痕 | | | | | 横ナデ |
| | 5 | 風脚土瓶 1 | 底 | 25Y7/4 | 25Y7/2 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 6 | 風脚土瓶 1 | 底 | 25Y7/4 | 10YR5/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 7 | 風脚土瓶 1 | 底 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | | | | | | | ナデ |
| | 8 | 風脚土瓶 1 | 底 | 5YR7/4 | 10YR6/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | | | | | | | ナデ |
| 15 | 9 | 風脚土瓶 2 | 口 | 5YR6/6 | 7.5YR8/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の横内押型文 | | | | | | 横位、斜方四角のナデ |
| | 10 | 風脚土瓶 2 | 底 | 10YR7/6 | 10YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横位、斜位の横内押型文 | | | | | | ナデ? |
| | 11 | 風脚土瓶 2 | 底 | 10YR5/3 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の横内押型文 | | | | | | ナデ? |
| | 12 | 風脚土瓶 2 | 口 | 7.5YR7/6 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の横内押型文 | | | | | | ナデ?、横面片着 |
| | 13 | 風脚土瓶 2 | 底 | 10YR7/3 | 10YR7/6 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | |
| | 14 | 風脚土瓶 2 | 底 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | | | | | | | |
| | 15 | 風脚土瓶 2 | 底 | 7.5YR7/6 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石、黒曜石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 16 | 風脚土瓶 2 | 底 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 17 | 伝合甕 | 口 | 10YR5/3 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 斜位の熱赤文 | | | | | | ナデ |
| | 18 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の熱赤文 | | | | | | ナデ |
| 16 | 19 | 伝合甕 | 口 | 10YR6/4 | 10YR5/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の熱赤文 | | | | | | ナデ |
| | 20 | 伝合甕 | 口 | 10YR6/4 | 10YR5/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 斜位の熱赤文 | 口縁部に斜位の条痕(帯体条痕?) | 眉目 | ナデ | ナデ | | ナデ |
| | 21 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR3/3 | 7.5YR5/4 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 横位の熱赤文 | | | | | | ナデ、横面片着 |
| | 22 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR8/4 | 2.5Y/6/4 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 縦位の熱赤文 | 口縁部に横位の帯体条痕 | 化粧 | 横面片着 | ナデ | | ナデ |
| | 23 | 伝合甕 | 口 | 10YR6/6 | 10YR6/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 縦位の熱赤文 | 口縁部に横位の熱赤文 | 横位の熱赤文 | | | | ナデ |
| | 24 | 伝合甕 | 口 | 10YR7/6 | 10YR6/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 縦位の熱赤文 | | | | | | ナデ |
| | 25 | 伝合甕 | 胴 | 2.5YR8/8 | 2.5YR6/8 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 熱赤文 | | | | | | ナデ |
| | 26 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR6/6 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石、角閃石? | 斜位の山形押型文 | | | | | | ナデ |
| | 27 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR7/6 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | | | | | | ナデ |
| | 17 | 28 | 伝合甕 | 口 | | | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 山形押型文 | | | | | |
| 29 | | 伝合甕 | 胴 | 7.5YR6/6 | 7.5YR6/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | | | | | | ナデ |
| 30 | | 伝合甕 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR6/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | | | | | | 丁寧なナデ |
| 31 | | 伝合甕 | 口 | 7.5YR7/6 | 7.5YR5/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | 口縁部に横位の山形押型文 | 横位の山形押型文 | | | | 丁寧なナデ |
| 32 | | 伝合甕 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 山形押型文 | | | | | | ナデ |
| 33 | | 伝合甕 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR6/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 縦位の山形押型文 | | | | | | 丁寧なナデ |
| 34 | | 伝合甕 | 胴 | 25Y7/4 | 2.5Y6/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 山形押型文 | | | | | | 丁寧なナデ |
| 35 | | 伝合甕 | 胴 | 10YR6/4 | 10YR6/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 山形押型文 | | | | | | ナデ |
| 36 | | 伝合甕 | 胴 | 7.5YR6/6 | 7.5YR5/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | | | | | | 斜位のナデ |
| 37 | | 伝合甕 | 口 | 7.5YR5/3 | 7.5YR5/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位のやや粗大な横内押型文 | 上半部に横位の山形押型文 | | | | | 横位のナデ |
| 18 | 38 | 伝合甕 | 口 | 10YR7/4 | 10YR6/2 | 石英、白色粒子、角閃石 | 山形押型文 | | | | | | 横位のナデ |
| | 39 | 伝合甕 | 胴 | 5YR5/6 | 7.5YR5/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 上半部に山形押型文、下半部に横内押型文 | | | | | | 丁寧なナデ |
| | 40 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | 口縁部に帯体条痕、刺突列点文 | 眉目 | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ |
| | 41 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/3 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の山形押型文 | 口縁部に帯体条痕、刺突列点文 | 眉目 | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ |
| | 42 | 伝合甕 | 口 | 7.5YR5/4 | 7.5YR6/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 口縁部に横位の横内押型文、胴部に斜位の横内押型文 | | 横位の横内押型文 | | | | ケズリ後ナデ、横面片着? |
| | 43 | 伝合甕 | 口 | 10YR7/4 | 10YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 44 | 伝合甕 | 口 | 10YR7/6 | 10YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 45 | 伝合甕 | 口 | 2.5Y7/4 | 2.5Y7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | 口縁部に帯体条痕、胴部に横内押型文 | | | | | ナデ |
| | 46 | 伝合甕 | 口 | 2.5Y6/2 | 10YR6/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 47 | 伝合甕 | 口 | 10YR7/6 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 斜位の横内押型文 | | | | | | ナデ |
| 19 | 48 | 伝合甕 | 胴 | 2.5Y7/6 | 2.5Y8/4 | 石英、白色粒子、角閃石、黒曜石混入 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 49 | 伝合甕 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR7/3 | 石英、白色粒子、赤色粒子、角閃石 | 斜位の横内押型文 | | | | | | ケズリ後ナデ |
| | 50 | 伝合甕 | 胴 | 2.5Y7/4 | 2.5Y7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 51 | 伝合甕 | 胴 | 7.5YR6/4 | 7.5YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 縦位、斜位の横内押型文 | | | | | | ナデ |
| | 52 | 伝合甕 | 胴 | 7.5YR7/6 | 7.5YR7/6 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | 弥生物付着、横面片着?、AMS |
| 53 | 伝合甕 | 胴 | 7.5YR3/4 | 10YR7/4 | 石英、白色粒子、角閃石 | 横内押型文 | | | | | | 弥生物付着、AMS | |

第2表 倉地川地区縄文時代早期土器観察表

| 図 | 番号 | 形状 | 部位 | 色澤 | | 胎土 | 文様 | | | 形制特徴 | | 備考 | |
|----|-----|-----|----------|----------|------------------|----------------------|--------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------|
| | | | | 外周 | 内面 | | 外周 | 内面 | 口縁部 | 外周 | 口縁部 | | |
| 19 | 54 | 包含層 | 口 | 10YR8/4 | 10YR8/3 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の横円押型文 | 上半部に内面押型文 | 口縁部 | 外周 | 縁位・斜位のナズリ後ナズ | 縁位のみ | |
| | 55 | 包含層 | 口 | 10YR7/3 | 10YR7/3 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | やや中程度の横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | やや粗大な横円押型文 | ナズ | | | |
| | 56 | 包含層 | 口 | 2.5Y7/4 | 2.5Y7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | 彫刻文 | 肩位 | | | | |
| | 57 | 包含層 | 口 | 2.5Y8/2 | 2.5Y7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横位の横円押型文 | | | | | | |
| | 58 | 包含層 | 口 | 10YR8/4 | 10YR8/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 | | | | |
| | 59 | 包含層 | 口 | 2.5Y5/1 | 2.5Y5/1 | 石灰・白色粒子・角閃石 | やや粗大な横円押型文 | 口縁部に横位のやや粗大な横円押型文 | 肩位 | | | 炭化層付着 | |
| | 60 | 包含層 | 口 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横位の横円押型文 | 横位の横円押型文 | 横円押型文 | | | | |
| | 61 | 包含層 | 胴 | 10YR2/4 | 10YR7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横位の横円押型文 | | | | | ナズ | |
| | 62 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/6 | 10YR7/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石・基曜石 | 横円押型文 | | | | | | |
| | 63 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/6 | 7.5YR7/6 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横位の横円押型文 | | | | | ナズ | |
| | 64 | 包含層 | 胴 | 10YR8/3 | 10YR8/2 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | 縁位のみ | |
| | 65 | 包含層 | 胴 | 5YR7/6 | 10YR7/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | | |
| | 66 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/6 | 10YR8/3 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | ナズ | |
| | 67 | 包含層 | 胴 | 7.5YR8/8 | 10YR7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位のやや粗大な横円押型文 | | | | | ナズ | |
| | 68 | 包含層 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | 工具によるナズ | |
| | 69 | 包含層 | 胴 | 2.5Y8/2 | 2.5Y8/2 | 石灰・白色粒子・角閃石・基曜石 | 横円押型文 | | | | | | |
| | 70 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/8 | 7.5YR7/6 | 石灰・赤色粒子・赤色粒子・角閃石 | 肩位のやや粗大な横円押型文 | | | | | ナズ・面割れ痕 | |
| | 71 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/6 | 7.5YR8/2 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | | |
| | 72 | 包含層 | 口 | 2.5YR8/8 | 2.5YR8/8 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 | | | ナズ | |
| | 73 | 包含層 | 口 | 7.5YR5/4 | 7.5YR4/2 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 | 横円押型文 |
| | 74 | 包含層 | 口 | 5YR4/4 | 5YR4/3 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 |
| 75 | 包含層 | 口 | 2.5Y7/4 | 2.5Y7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | 口縁部に横位の横円押型文 | |
| 76 | 包含層 | 口 | 5YR7/6 | 7.5YR4/2 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | |
| 77 | 包含層 | 口 | 5YR6/6 | 5YR7/8 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 肩位の粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | |
| 78 | 包含層 | 口 | 2.5Y8/4 | 2.5Y8/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の横円押型文 | 口縁部に縦位の条状・肩部に横位の条状 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | |
| 79 | 包含層 | 口 | 5YR6/6 | 5YR6/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | 粗大な横円押型文 | |
| 80 | 包含層 | 口 | 10YR7/4 | 10YR8/3 | 石灰・白色粒子・角閃石 | やや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | 口縁部にやや粗大な横円押型文 | |
| 81 | 包含層 | 口 | 10YR7/4 | 10YR7/3 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横位の粗大な横円押型文 | 口縁部に横位の粗大な横円押型文 | 横円押型文 | | | ナズ | | |
| 82 | 包含層 | 胴 | 10YR7/4 | 10YR8/3 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 肩位の粗大な横円押型文 | | | | | | ナズリ後ナズ | |
| 83 | 包含層 | 胴 | 10YR6/6 | 10YR8/2 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | |
| 84 | 包含層 | 胴 | 10YR8/3 | 10YR7/6 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | 肩位の粗大な横円押型文 | |
| 85 | 包含層 | 胴 | 7.5YR5/4 | 10YR8/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | やや粗大な横円押型文 | | | | | | 縁位のみ | |
| 86 | 包含層 | 胴 | 10YR7/4 | 2.5Y7/4 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 肩位の横円押型文 | | | | | | ナズ | |
| 87 | 包含層 | 胴 | 10YR5/2 | 7.5YR7/6 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 横円押型文 | | | | | | ナズ | |
| 88 | 包含層 | 底部 | 2.5YR5/6 | 2.5YR5/6 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 条痕(顆石?) | | | | | | | |
| 89 | 包含層 | 胴 | 7.5YR8/6 | 7.5YR8/6 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | 肩位の顆石文 | |
| 90 | 包含層 | 胴 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/3 | 石灰・白色粒子・角閃石 | 縦位の顆石文 | | | | | | ナズ | |
| 91 | 包含層 | 胴 | 10YR8/3 | 10YR7/4 | 炭石・基曜石・赤色粒子 | 縦位の顆石文 | | | | | | ナズ | |
| 92 | 包含層 | 胴 | 10YR8/4 | 10YR8/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | ナズ | |
| 93 | 包含層 | 口 | 10YR8/4 | 10YR8/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | ナズ | |
| 94 | 包含層 | 胴 | 10YR8/4 | 10YR8/4 | 石灰・白色粒子・赤色粒子・角閃石 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | 縦位の条痕文 | ナズ | |
| 95 | 包含層 | 口 | 2.5Y8/3 | 2.5Y8/1 | 石灰・白色粒子・角閃石 | | | | 沈着 | 工具による磨き | 工具による磨き | | |

第3表 倉地川地区縄文時代石器観察表

| 図 | 番号 | 形状 | 石材 | 部位 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重さ | 備考 |
|----|----|------|--------|-------|------|------|------|--------|------------------|
| 22 | 1 | 石鏃 | 安山岩 | 早期包含層 | 9.30 | 2.85 | 1.50 | 36.20 | 背面の一部に磨面 |
| | 2 | 石鏃 | 青灰色基曜石 | 早期包含層 | 3.05 | 2.00 | 0.45 | 1.80 | 脚部の形状が異なり、左右非対称 |
| | 3 | 石鏃 | 青灰色基曜石 | 早期包含層 | 2.30 | 1.60 | 0.40 | 1.10 | |
| | 4 | 石鏃 | 玄武岩 | 不明 | 2.40 | 1.35 | 0.35 | 0.60 | 縁部、左右非対称 |
| | 5 | 石鏃 | 玄武岩 | 不明 | 3.20 | 1.70 | 0.70 | 3.00 | 未製品か |
| 23 | 6 | 石鏃 | 黒色基曜石 | 不明 | 1.80 | 1.35 | 0.30 | 0.40 | |
| | 7 | 石鏃 | 青灰色基曜石 | 不明 | 2.60 | 2.10 | 0.50 | 2.30 | 口縁部後部磨面に使用か |
| 24 | 8 | 石鏃 | 青灰色基曜石 | 不明 | 3.80 | 5.00 | 0.60 | 11.80 | 若干つみのある石片 磨面 |
| | 9 | 打製石斧 | 角閃石安山岩 | 不明 | 6.80 | 5.80 | 2.00 | 99.10 | 断片石片、基部欠損、刃部磨面石斧 |
| 25 | 10 | 打製石斧 | 角閃石安山岩 | 不明 | 8.50 | 6.75 | 1.50 | 146.60 | 断片石片、基部欠損、刃部磨面石斧 |
| | 11 | 磨製石斧 | 砂岩 | 不明 | 7.40 | 4.20 | 2.90 | 91.90 | 縦横後部加工 |

第4表 14区SB-4出土土器観察表

| 層(背) | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|------|-----------------------|--------|-------|-------------|---|--|
| 1 | 付付器 | 口縁部径 | 10.5 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 外周:赤褐色(Hue25YR1/8) 内周:褐色(Hue25YR5/6) | |
| | | 口縁部径 | 30.9 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| | | 口縁部径 | 9.4 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 2 | 甕 | 口縁部径 | 18.3 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 外周:明褐色(Hue10YR7/6) 内周:淡褐色(Hue25Y2/3) | |
| | | 口縁部径 | 20.95 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| | | 口縁部径 | 4.5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 3 | 甕 | 口縁部径 | 21.9 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 外周:褐色(Hue10YR4/4) 内周:より濃い褐色(Hue25Y4/4) | |
| | | 口縁部径 | 5.3 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 4 | 甕 | 口縁部径 | 20 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤褐色(Hue10YR5/2) | |
| | | 口縁部径 | 14.6 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 5 | 甕 | 口縁部径 | 14.6 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue10YR5/2) | |
| | | 口縁部径 | 14.2 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 6 | 甕 | 口縁部径 | 18.8 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue10YR5/2) | |
| | | 口縁部径 | 9 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 7 | 甕 | 口縁部径 | 13 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue10YR5/4) | |
| | | 口縁部径 | 8 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 8 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 10.4 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | 口縁部径 | 5.8 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 9 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 9.8 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue10YR6/6) | |
| | | 口縁部径 | 4.4 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 10 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 10 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | 口縁部径 | 5.7 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 11 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 9 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 灰質褐色(Hue10Y2/3) | |
| | | 口縁部径 | 8.7 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 12 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 9.3 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | 口縁部径 | 5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 13 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 3.5 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue10YR8/4) | |
| | | 口縁部径 | 4.9 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 14 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 5.9 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 灰質褐色(Hue10YR8/4) | |
| | | 口縁部径 | 5.5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 15 | 甕(口縁部~胴部) | 口縁部径 | 13.2 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue25Y2/2) | |
| | | 口縁部径 | 5.3 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 16 | 小瓶土器 壺(脚台上位) | 口縁部径 | 4.4 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | 口縁部径 | 4.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 31 | 小瓶土器 小瓶土器 付付器土器 | 口縁部径 | 4.1 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:褐色(Hue5YR6/6) 内周:灰褐色(Hue7.5YR5/2) | |
| | | 口縁部径 | 4 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |

第5表 13区・14区SB-5出土土器観察表

| 層(背) | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|------|-------------|--------|-------|-------------|---|--------------|
| 19 | 甕 | 口縁部径 | 30.6 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 明褐色(Hue7.5YR5/6) | 口縁部取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 13 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 20 | 甕 | 口縁部径 | 18.3 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR6/4) | 外周に取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 10 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 21 | 鉢 | 口縁部径 | 16.3 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:赤褐色(Hue10YR4/8) 内周:褐色(Hue25Y2/3) | |
| | | 口縁部径 | 6.3 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 22 | 洗鉢 子付ね土器 | 口縁部径 | 7 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 明褐色(Hue10YR5/3) | 外周に取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 0.5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 23 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 2.8 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue7.5YR6/6) | 外周は帯状 |
| | | 口縁部径 | 2.8 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 24 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 3.1 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR7/2) | |
| | | 口縁部径 | 2.6 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 25 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 12 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 明褐色(Hue10YR5/6) | 外周に取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 7.5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 26 | 脚台 | 口縁部径 | 3.6 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 明褐色(Hue10YR5/6) | 外周に取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 2.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 27 | 高杯(杯部) | 口縁部径 | 2.5 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:明褐色(Hue10YR6/6) 内周:明褐色(Hue10YR5/6) | 帯状は帯状 |
| | | 口縁部径 | 2.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 28 | 高杯(脚台部) | 口縁部径 | 14 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:褐色(Hue25YR2/4) 内周:褐色(Hue25Y2/2) | 16mmの穿孔 |
| | | 口縁部径 | 2.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |

第6表 13・14区SB-6出土土器観察表

| 層(背) | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|------|------------|--------|-------|-------------|--|--------------|
| 29 | 甕 | 口縁部径 | 16 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 褐色(Hue10YR7/8) | |
| | | 口縁部径 | 15.9 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 30 | 甕 | 口縁部径 | 10 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 灰質褐色(Hue25Y4/4) | 表裏に取付者 半足 |
| | | 口縁部径 | 10 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 31 | 甕 | 口縁部径 | 19 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:明褐色(Hue10YR6/6)を基調として 褐色(Hue10YR5/1)が部分的にある | |
| | | 口縁部径 | 9.2 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 32 | 甕 | 口縁部径 | 6.5 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:明褐色(Hue10YR6/6) 内周:に濃い黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | 口縁部径 | 6.5 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 33 | 甕 | 口縁部径 | 5.1 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 に濃い黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | 口縁部径 | 5.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 34 | 小瓶土器 土器 | 口縁部径 | 19 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子 外周:に濃い黄褐色(Hue7.5YR7/4) 内周:に濃い黄褐色(Hue10YR7/4) | 口縁部に穿孔 |
| | | 口縁部径 | 19 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |
| 35 | 付付器(脚台部) | 口縁部径 | 3.1 | 外周 口縁部 縦穴ナデ | 白灰、赤褐色、黒褐色、白色粒子、赤色粒子 灰質褐色(Hue7.5YR6/6) | |
| | | 口縁部径 | 3.1 | 内周 口縁部 縦穴ナデ | | |

第6表 13・14区SB-6出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 法量 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|-------------|-----------------------------|---|--|-----------|
| 36 | 付丸(脚台部) | 残存高 3.3 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、黄砂粒子、金雲母、白色粒子 にふい散色(Hue7.5YR7/4) | |
| 37 | 小皿付丸(脚台部) | 残存高 口縁径 10.2 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、石英、赤色粒子、灰色粒子、赤色粒子、黄砂 粒子、黄砂色(Hue7.5YR8/6) | |
| 38 | 付丸(脚台部) | 残存高 4.4 | 外周 横線ノズ、ナズ 内周 横線ノズ、ナズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、白色粒子、石英、黄砂粒子 散色(Hue7.5YR8/6) | |
| 39 | 付丸(脚台部) | 残存高 5.3 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、石英、黄砂粒子 にふい散色(Hue7.5YR7/4) | |
| 40 | 付丸(脚台部) | 残存高 5.3 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 石英、黄砂石、白色粒子 にふい散色(Hue7.5YR7/4) | |
| 41 | 付丸(脚台部) | 残存高 5.5 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子、灰色粒子、 黄砂色(Hue7.5YR8/3) | |
| 42 | 器台 | 全口径(復元) 残存高 22.4 22.2 | 外周 交錯ノズ、横線ノズ 内周 横線ノズ 器台: 横線ノズ、横線ノズ、横線ノズ 器底: 横線ノズ、横線ノズ、横線ノズ | 石英、黄砂石、白色粒子、角閃石、黄砂 粒子、黄砂色(Hue7.5YR8/6) | 口縁の透かし |
| 43 | 器台 | 全口径(復元) 残存高 14 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 器台: 横線ノズ | 角閃石、石英、白色粒子 外周: にふい散色(Hue10YR7/3) 内周: にふい散色(Hue10YR7/4) | 長方形の透かし |
| 44 | 器台 | 全口径(復元) 残存高 10.1 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 器台: 横線ノズ | 角閃石、黄砂粒子、白色粒子、赤色粒子 黄砂色(Hue10YR8/4) | 長方形の透かし |
| 45 | 器台 | 全口径(復元) 残存高 16.8 9.1 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 器台: 横線ノズ | 角閃石、白色粒子、金雲母、黄色粒子 散色(Hue10YR7/4) | |
| 46 | 高坏(坏部) | 口縁径(復元) 残存高 30 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 坏部: 横線ノズ | 角閃石、赤色粒子、白色粒子、黄砂粒子 黄砂色(Hue10YR8/3) | 凹坑 |
| 47 | 高坏(坏部) | 口縁径(復元) 残存高 20 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 坏部: 横線ノズ | 角閃石、石英、白色粒子、灰色粒子、黒色粒子 外周: にふい散色(Hue10YR7/4) | |
| 48 | 小皿高坏(脚台部) | 口縁径(復元) 残存高 12 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、白色粒子、石英、赤色粒子 にふい散色(Hue10YR7/4) | 径10mmの透かし |
| 49 | 小皿高坏(脚台部) | 口縁径(復元) 残存高 15 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、黄砂粒子、赤色粒子、灰色粒子 外周: にふい散色(Hue10YR7/4) 内周: にふい散色(Hue10YR7/4) | 径10mmの透かし |
| 50 | 高坏(脚台部) | 全口径(復元) 残存高 17 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、石英、黄砂粒子 にふい散色(Hue10YR7/4) | |
| 51 | 高坏(脚台部) | 全口径(復元) 残存高 8.4 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、石英、白色粒子、灰色粒子 にふい散色(Hue10YR7/3) | |
| 52 | 付丸(脚台部) | 残存高 4.4 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、石英、黄砂粒子、白色粒子、赤色粒子 にふい散色(Hue10YR7/4) | |
| 53 | 器 | 口縁径(復元) 全口径 18.5 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 器底: 横線ノズ | 角閃石、石英、黄砂粒子、白色粒子 外周: 散色(Hue7.5YR7/6) | |
| 54 | 残存高 | 3.9 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 石英、黄砂粒子 黄砂色(Hue10YR8/4) | |
| 55 | 残存高 | 6.9 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、白色粒子、黄砂粒子 にふい散色(Hue10YR7/3) | |
| 56 | 鉢 | 口縁径(復元) 全口径 8.1 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: 横線ノズ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 散色(Hue7.5YR7/6) | |
| 57 | ミニチュア付丸土器 | 残存高 3.9 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、白色粒子 にふい散色(Hue10YR7/2) | |
| 58 | 器底 平段石土器 | 口縁径(復元) 全口径 6.2 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 器底: 横線ノズ | 角閃石、白色粒子、黄砂粒子 にふい散色(Hue7.5YR7/4) | |

第7表 13区SB-7出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 法量 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|-----------|--------------------|---------------------------------|---|----------|
| 61 | 甕 | 残存高 口縁径 15.4 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚台部: ナズノズ | 角閃石、石英、白色粒子、黄砂粒子 黄砂色(Hue10YR5/1) | |
| 62 | 甕(脚部) | 残存高 口縁径 15.4 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 角閃石、石英、白色粒子 外周: 黄砂色(Hue5.5YR5/6) 内周: 黄砂色(Hue2.5YR5/1) | 凹坑 |
| 63 | 甕 | 残存高 4.2 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 角閃石、赤色粒子、赤色粒子、黄砂 散色(Hue10YR8/3) | 凹坑 |
| 64 | 小型高坏(付丸部) | 口縁径(復元) 残存高 7 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 金雲母、黄砂粒子、石英、白色粒子、角閃石 黄砂色(Hue10YR8/4) | 外周に縦分が付着 |
| 65 | 小型浅鉢 | 口縁径(復元) 全口径 9.3 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 角閃石、石英、黄砂粒子、白色粒子 黄砂色(Hue10YR8/3) | |

第8表 13区SB-3出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 法量 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|--------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----|
| 66 | 甕(付丸部) | 口縁径(復元) 残存高 2.2 2.5 0.7 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 角閃石、金雲母、白色粒子 散色(Hue5.5YR7/6) | 凹坑 |
| 67 | 甕 | 口縁径(復元) 残存高 3.4 3.3 0.5 | 外周 横線ノズ 内周 横線ノズ 脚部: 横線ノズ | 角閃石、石英、白色粒子 散色(Hue2.5YR6/8) | |

第8表 13区SB-3出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 位置(cm) | 形状 | 特徴 | 土色・色調 | 備考 |
|----|--------------|-------------------|--------|----|----------------|---|----------------------------------|
| 66 | 美 | 残存高 器縁の厚さ | 5.1 | 外周 | 縦位ナナ | 高灰白、石炭、黄砂ナナ、白色粒子 に多い黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 0.7 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 69 | 美 | 残存高 器縁の厚さ | 4.6 | 外周 | 横位ナナ | 内灰白、黄砂ナナ、白色粒子 外周に黄褐色(Hue10YR5/2-3) 内周に浅黄褐色(Hue2.5Y/6-5) | 破綻 |
| | | | 0.6 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 70 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 10.6 | 外周 | 横位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、黄砂ナナ、白色粒子 外周に黄褐色(Hue10YR5/2-3) | |
| | | | 7.2 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 71 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 7.8 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、黄砂ナナ、白色粒子 外周に黄褐色(Hue10YR5/2-3) | 外周に鉄分が特著 内周の局所に植物が 存在、焼いた面 |
| | | | 4.3 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 72 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 9.2 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、石炭、白色粒子 | 外周に鉄分が特著 破綻 |
| | | | 4.5 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 73 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 7.1 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、白色粒子、赤色粒子 明褐色(Hue2.5Y/6.5) | |
| | | | 4.1 | 内周 | 横位ナナ後縁部ハケ | | |
| 74 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 10.2 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、黄砂ナナ、石炭、白色粒子 に多い黄褐色(Hue10YR7/4) | 破綻 |
| | | | 4.8 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 75 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 11 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 黄褐色(Hue10YR7/6) | 内周表面ともに破綻 |
| | | | 3.2 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 76 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 4.2 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、石炭とし 破綻による黄褐色あり | 外周と台座面内周に は鉄分が特著 |
| | | | 3.2 | 内周 | 横位ナナ後縁部ナナ | | |
| 77 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 6.5 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、その黄砂ナナ に多い黄色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 3.4 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 78 | 美 | 残存高 | 18.4 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、黄砂ナナ、白色粒子 に鉄分、赤色粒子、黄砂ナナ 外周に黄褐色(Hue10YR5/2-3) 内周に浅黄褐色(Hue10YR7/3) | 平盤 外周に鉄分が特著 |
| | | | 0.6 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 79 | 美 | 口縁厚さ(復元) 器縁の厚さ | 13.8 | 外周 | 斜位ナナ | 内灰白、黄砂ナナ、白色粒子 に多い黄褐色(Hue10YR7/4) | 破綻 |
| | | | 0.6 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 80 | 美 | 残存高 器縁の厚さ | 11.7 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ハケ | 内灰白、石炭、白色粒子 明褐色(Hue2.5Y/6.5) | 外周に鉄分がらしまの が特著 |
| | | | 11.6 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 81 | 盤 | 残存高 器縁の厚さ | 2.6 | 外周 | 横位ナナ | 内灰白、白色粒子 | |
| | | | 0.5 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 82 | 高杯 | 残存高 器縁の厚さ | 9.4 | 外周 | ヘラケナリ | 内灰白、黄砂ナナ、石炭、白色粒子 黄褐色(Hue10YR6/5) | |
| | | | 0.9 | 内周 | ナナナリ、ナナ | | |
| 83 | 小皿深鉢 手取土器 | 器縁の厚さ | 5 | 外周 | 縦位ナナ、ナナ | 内灰白、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hue10YR7/6) | |
| | | | 0.5 | 内周 | ナナ後縁部ナナ | | |
| 84 | 小皿深鉢 手取土器 | 器縁の厚さ | 4.4 | 外周 | 縦位ナナ後縁部ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 赤色(Hue10YR6/5) | |
| | | | 0.5 | 内周 | 横位ナナ後縁部ナナ、器縁平直 | | |

第9表 14区SB-1出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 位置(cm) | 形状 | 特徴 | 土色・色調 | 備考 |
|-----|----------|------------------------------|--------|----|---------------|--|---|
| 85 | 土台裏(脚台部) | 口縁厚さ(復元) 残存高 斜位最大径(復元) | 19.6 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 外周に黄褐色(Hue10YR5/2-3) 内周に浅黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | | 17.5 | 内周 | 斜位ナナ | | |
| 86 | 美 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 21.8 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、黄砂、白色粒子 浅黄褐色(Hue2.5Y/7.3) | |
| | | | 11.3 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 87 | 美 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 19.7 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 明褐色(Hue10YR7/6) | |
| | | | 11.3 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 88 | 美 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 20.8 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue2.5Y/6.2) | |
| | | | 8.1 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 89 | 美 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 18.4 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 黄褐色(Hue2.5Y/4.1) | |
| | | | 7 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 90 | 美 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 14.2 | 外周 | 口縁部、左右対称の縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 に多い黄色(Hue10YR7/3) | |
| | | | 13 | 内周 | 口縁部、縦位ナナ | | |
| 91 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 10 | 外周 | 上縁、縦位ナナ後縁部ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、石炭、黄砂 に多い黄褐色(Hue10YR7/3) | 破綻により赤色化 |
| | | | 6.5 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 92 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 13.3 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 に多い黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | | 5.6 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 93 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 11.4 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 明褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 5.5 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 94 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 12.1 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 に多い黄色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 6.3 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 95 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 11 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 に多い黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 4.1 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 96 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 10.8 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 浅黄褐色(Hue2.5Y/7.2) | |
| | | | 5.3 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 97 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 11.1 | 外周 | 上縁、縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 11 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 98 | 土台裏(脚台部) | 台座厚さ(復元) 残存高 | 9.3 | 外周 | 上縁、縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue2.5Y/6.5) | |
| | | | 3.2 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 99 | 口縁部 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 24.8 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 12 | 内周 | 縦位ナナ | | |
| 100 | 口縁部 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 5.3 | 外周 | 口縁部、縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 0.8 | 内周 | 横位ナナ | | |
| 101 | 口縁部 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 6.6 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | 長方形の溝かし 器縁部は ハケの溝の溝かし 比露のヒール状 器縁部 |
| | | | 0.3 | 内周 | ナナ | | |
| 102 | 口縁部 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 6.6 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 0.8 | 内周 | ナナ | | |
| 103 | 口縁部 | 口縁厚さ(復元) 残存高 | 8 | 外周 | 縦位ナナ | 内灰白、石炭、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hue10YR6/4) | |
| | | | 0.8 | 内周 | ナナ | | |

第9表 14区SB-1出土土器観察表

| 図番 | 種別 | 寸法(cm) | 注記の特長 | 胎土/色澤 | 備考 |
|-----|--------|--------------------------|---|---|-------|
| 104 | 高坏(坏部) | 残存高 3 | 外周 口縁部、横位ナナ 内周 縦位ハナ、縦位ハナ 内周 縦位ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae10YR2/2) | |
| 105 | 高坏(坏部) | 口縁部径(復元) 28 残存高 56 | 外周 縦位ハナ後横位ナナ、下平は横位ナナ、 斜位ハナ 内周 縦位ハナ後横位ナナ | 角閃石、石英、白色粒子 外周：黒褐色(Hae5Y3/1) 内周：灰白色(Hae10YR8/2) | |
| 106 | 高坏(坏部) | 口縁部径(復元) 18.4 残存高 7 | 外周 上段：横位ナナ 下段：横位ナナ 内周 縦位ハナ後横位ナナ | 石英、角閃石、赤色粒子、白色粒子 褐色(Hae5Y6/6) | 片割片 |
| 107 | 高坏(坏部) | 口縁部径(復元) 29.4 残存高 28 | 外周 上段：横位ナナ 下段：縦位ハナ後ナナ 内周 横位ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 灰白色(Hae10YR8/2) | |
| 108 | 高坏(坏部) | 口縁部径(復元) 25.5 残存高 71 | 外周 上段：下家倉横位ナナ 下段：横位ハナ後ナナ 内周 縦位ハナ後横位ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 褐色(Hae10YR8/3) | |
| 109 | 高坏(坏部) | 口縁部径(復元) 25.4 残存高 48 | 外周 縦位ハナ、横位ナナ 内周 縦位ナナ | 角閃石、石英、赤色粒子 黄褐色(Hae10YR8/3) | |
| 110 | 高坏(坏部) | 残存高 8.4 | 外周 上段：ナナ 下段：ナナ 内周 ナナ | 角閃石、石英、白色粒子 黄褐色(Hae7.5YR8/4) | 4つの穿孔 |
| 111 | 高坏(坏部) | 残存高 8 | 外周 ナナ、シボリ、ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae10YR8/3) | 4つの穿孔 |
| 112 | 手取皿 | 口縁部径(復元) 6.8 残存高 27.5 | 外周 断面平直 内周 断面平直 | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae10YR8/4) | |
| 113 | 手取皿 | 口縁部径(復元) 7.2 残存高 3.4 | 外周 断面平直後ナナ 内周 断面平直後ナナ | 角閃石、石英、長石、白色粒子 褐色(Hae5YR8/6) | |
| 114 | 手取皿 | 口縁部径(復元) 7.4 残存高 3.5 | 外周 ナナ 内周 ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae7.5YR8/4) | 尖底 |
| 115 | 手取皿 | 口縁部径(復元) 3.8 残存高 3.8 | 外周 ナナ、断面平直 内周 ナナ、断面平直 | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae7.5YR8/4) | 尖底 |
| 116 | 手取皿 | 口縁部径(復元) 3.2 残存高 7.1 | 外周 口縁部、横位ナナ 下段：ナナ 内周 口縁部、横位ナナ | 白色粒子 黄褐色(Hae2.5Y3/1) | |
| 117 | 鉢 | 口縁部径 19.2 残存高 6.5 | 外周 ハケ後了家倉ナナ 内周 ハケ後了家倉ナナ | 角閃石、白色粒子、石英、長石、黄鉄 に多い黄褐色(Hae10YR7/3) | |

第10表 14区SB-2出土土器観察表

| 図番 | 種別 | 寸法(cm) | 注記の特長 | 胎土/色澤 | 備考 |
|-----|-------------------------------|------------------------------------|--|--|-------|
| 119 | 二重口縁部 器高 断面最大径 | 口縁部径 15.2 器高 27.5 断面最大径 23.7 | 外周 口縁部一段目：横位ハナ後横位ナナ 口縁部二段目：横位ハナ 断面：縦位ナナ、斜位ナナ 内周 口縁部一段目：横位ナナ 口縁部二段目：横位ナナ 断面：縦位ハナ後ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 黄褐色(Hae10YR8/6) | 内周は磨耗 |
| 120 | 甕 口縁部径(復元) 残存高 | 16 17.2 | 外周 口縁部、横位ナナ 断面：タテハナ後ハナ後ナナ 内周 口縁部、横位ナナ 断面：横位ハナ後横位ナナ後断面直上 断面：横位ハナ後横位ナナ、ナナケン後 ナナ | 角閃石、黄褐色粒子、その他微小 褐色(Hae7.5YR8/6) | |
| 121 | 高坏(口縁部) | 口縁部径(復元) 27 残存高 3 | 外周 ナナ 内周 ナナ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子、灰色粒子 明黄褐色(Hae10YR7/6) | 磨耗 |
| 122 | 甕 口縁部径(復元) 残存高 | 16 11.9 | 外周 口縁部一段目：横位ナナ 内周 口縁部一段目：ナナケン | 石英、白色粒子、黄色粒子、赤色粒子 外周：黄褐色(Hae2.5Y3/1) 内周：褐色(Hae5Y2/1) | |
| 123 | 甕 残存高 | 15.6 | 外周 縦位ハナ後ナナ 内周 縦位ハナ | 角閃石、石英、黄褐色粒子、金雲母、その他粒子 外周：浅黄褐色(Hae7.5YR8/4) 内周：褐色(Hae5YR8/6) | |
| 124 | 小型丸底土器 口縁部径 器高 断面最大径 | 15.6 6.6 11.9 | 外周 口縁部、横位ハナ後横位ナナ、ナナケン 断面：器に懸架の入った溝 断面：横位ナナ、後断面直上、ナナ 内周 口縁部、横位ハナ後横位ナナ 断面：ナナ 断面：断面、横位ナナ | 角閃石、石英、白色粒子 灰白色(Hae10YR8/2) | |
| 125 | 小型丸底土器 口縁部径(復元) 残存高 | 14 4.8 | 外周 口縁部、横位ナナ 内周 口縁部、横位ナナ | 白色粒子、黄褐色粒子 褐色(Hae5YR8/6) | |
| 126 | 小型丸底土器 口縁部径(復元) 残存高 | 14 4.8 | 外周 口縁部、横位ナナ 断面：ナナ 内周 口縁部、横位ナナ 断面：ナナ 断面：ナナ | 黄褐色粒子、白色粒子 褐色(Hae7.5YR7/8) 黄褐色：灰色(Hae7.5Y3/1) | |
| 127 | 小型丸底土器 口縁部径(復元) 器高 | 11 4.7 | 外周 口縁部、横位ナナ 断面：横位ハナ、横位ナナ 内周 口縁部、横位ハナ後横位ナナ 断面：ナナ | 黄褐色粒子、白色粒子 黄褐色(Hae2.5Y3/3) 外周底部：褐色(Hae5Y2/1) | |
| 128 | 小型丸底土器(口縁部- 断面) | 口縁部径(復元) 10 残存高 6.1 | 外周 横位ハナ後ナナ 内周 ナナ後横位ナナ | 角閃石、黄褐色粒子、石英、白色粒子 外周：褐色(Hae7.5YR17/1) 内周：褐色(Hae7.5YR2/6) | |
| 129 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 24 残存高 4.8 | 外周 口縁部、横位ナナ 断面：横位ハナ 内周 口縁部、横位ナナ 断面：ハナ後横位ナナ | 角閃石、石英、黄褐色粒子、その他粒子 褐色(Hae7.5YR1/1) | |
| 130 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 24 器高 3.8 | 外周 横位ナナ 内周 横位ナナ | 角閃石、石英、金雲母、黄褐色粒子 外周：褐色(Hae10YR8/1) 内周：褐色(Hae5Y3/1) | 内周は磨耗 |
| 131 | 甕(口縁部-断面1) 口縁部径(復元) 残存高 | 25 4.5 | 外周 横位ナナ 内周 横位ナナ | 角閃石、石英 灰褐色(Hae7.5YR8/2) | |
| 132 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 19 残存高 3.8 | 外周 横位ハナ後横位ナナ 内周 横位ハナ後横位ナナ | 角閃石、石英、黄褐色粒子、白色粒子 外周：褐色(Hae7.5YR7/1) 内周：黄褐色(Hae10YR8/1) | |
| 133 | 甕(口縁部-断面中) 口縁部径(復元) 残存高 | 14 8.9 | 外周 口縁部、横位ナナ 断面：横位ナナ、断面斜にナナケン 内周 口縁部、横位ハナ 断面：ナナ、横位直上 | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 外周：褐色(Hae7.5YR7/1) 内周：褐色(Hae7.5YR2/6) | |
| 134 | 付冑蓋(胴内) | 残存高 5.8 | 外周 横位ナナ 内周 断面ナナ | 角閃石、白色粒子、黄褐色粒子 褐色(Hae5YR8/6) | |
| 135 | 付冑蓋(胴外) | 残存高 5.4 | 外周 ナナ後断面直上 内周 ナナ後断面直上 | 角閃石、石英、白色粒子 灰白色(Hae10YR8/2) | |

第10表 14区SB-2出土土器観察表

| 番号 | 種類 | 法量(cm) | 特徴的形跡 | 胎土・胎色 | 備考 |
|----|---------------|------------------------------------|--|--|-----------------------|
| 60 | 136 浅鉢(土師) | 口縁部径 1.38 底径 0.64 | 外面 ナテ 胎土付面、指圧痕 内面 ケズリ残ナテ | 黄褐色、白色粒子 雜色(Hue25YR7/3) | 底径があって平底 |
| | 137 小型浅鉢 | 口縁部径 10.6 底径 5.6 | 外面 横位ハナ後縁位、横位ナテでナテケ ズリ残ナテ | 黄褐色(Hue10YR8/4) | |
| | 138 浅鉢 | 口縁部径(復元) 10.6 底径 4.2 胎土厚 1.0 | 外面 口縁部：横位ナテ 胎土：横位ナテ後縁位・ミガキ 胎土厚：胎土厚 | 白色粒子、黄褐色、 赤褐色(Hue5Y8/1) | |
| | 139 小型浅鉢(土師) | 口縁部径 7.8 底径 2.6 | 外面 口縁部：横位ナテ 胎土：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ 胎土厚：胎土厚 | 白色粒子、黄褐色 胎土(Hue25Y7/1) 内面：黄褐色(Hue25Y8/4) | |
| | 140 塚台(脚台部) | 残存高 6.2 | 外面 横位ハナ後縁位ナテ 胎土：横位ハナ後縁位ナテ | 黄褐色、石灰、白色粒子、黄褐色 胎土(Hue7.5YR7/6) | 長方形の透かし 上のハナで施装 |
| | 141 塚台(脚台部) | 残存高 7.4 | 外面 横位ハナ後縁位ナテ 胎土：胎土厚 | 黄褐色、石灰、赤褐色、 白色粒子(Hue10YR7/3) | 長方形の透かし4 つあると見られる。 |
| | 142 塚台(塚部) | 残存高 2.9 | 外面 上：ケズリを削ぎとして横位ナテ 胎土：胎土厚 内面 横位ハナ後縁位ナテ 胎土：胎土厚 | 黄褐色(Hue7.5YR7/6) | |
| | 143 小型高坏(脚柱部) | 残存高 4.2 | 外面 ナテ 胎土厚：ケズリ 胎土厚：ケズリ後縁位ナテ | 黄褐色、石灰、黄褐色、 白色粒子、赤褐色 胎土(Hue7.5YR7/6) | 4つの穿孔 |
| | 144 高坏(脚柱部) | 残存高 4.3 | 外面 ナテ後縁位ハナ 胎土：胎土厚 | 黄褐色、石灰、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue7.5YR7/6) | |
| | 145 高坏(塚部) | 残存高 4.6 | 外面 ナテ後縁位ハナ 胎土：胎土厚 | 黄褐色、石灰、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue10YR7/4) | |

第11表 12区SB-1出土土器観察表

| 番号 | 種類 | 法量(cm) | 特徴的形跡 | 胎土・胎色 | 備考 |
|----|-------------|---------------------------|---|---|----------|
| 70 | 147 土師器 | 口縁部径 19 残存高 18 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 白色粒子、石灰、赤褐色、赤褐色 胎土(Hue10YR7/3)、赤褐色 胎土(Hue10YR7/3) | |
| | 148 甕 | 口縁部径(復元) 26.4 残存高 18.8 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 石灰、黄褐色、白色粒子、赤褐色、 赤褐色(Hue7.5YR7/6) | |
| | 149 甕 | 口縁部径(復元) 17.8 残存高 10.7 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 石灰、黄褐色、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue7.5YR7/6)、明褐色 胎土(Hue7.5YR7/3) | 行ち大き、煎取り |
| | 150 土師器 | 口縁部径(復元) 16.8 残存高 11 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色 胎土(Hue5Y8/6) | |
| | 151 甕 | 口縁部径(復元) 15.2 残存高 10.9 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 石灰、赤褐色、白色粒子、赤褐色、赤褐色 胎土(Hue10YR7/4)、赤褐色 胎土(Hue10YR7/4) | |
| | 152 甕 | 口縁部径(復元) 16.5 残存高 8.5 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色 胎土(Hue5Y8/6) | |
| | 153 甕 | 口縁部径(復元) 16.6 残存高 8.3 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 石灰、黄褐色、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue10YR7/4) | 行ち大き |
| | 154 土師器 | 口縁部径(復元) 16.4 残存高 7.6 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ナテ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色、 赤褐色(Hue25YR7/4) | |
| | 155 土師器 | 口縁部径(復元) 17.5 残存高 10.6 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色、 赤褐色(Hue25YR7/4) | 煎取られ |
| | 156 土師器 | 口縁部径(復元) 16.2 残存高 4.8 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ナテ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ハナ | 白色粒子、赤褐色、黄褐色、石灰、 赤褐色(Hue25Y7/4) | |
| | 157 甕 | 口縁部径(復元) 14 残存高 5.9 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：ナテ 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：ケズリ | 黄褐色、赤褐色、白色粒子、石灰、 赤褐色(Hue7.5YR7/6) | |
| | 158 土師器 | 口縁部径(復元) 16 残存高 3.75 | 外面 口縁部：横位ナテ 胎土：ナテ | 黄褐色、白色粒子、赤褐色、石灰 胎土(Hue10YR8/4) | |
| | 159 土師器 | 口縁部径(復元) 15.7 残存高 5.1 | 外面 口縁部：横位ナテ 胎土：ナテ | 白色粒子、黄褐色、石灰、赤褐色、 赤褐色(Hue25YR7/6) | |
| 71 | 160 甕 | 口縁部径(復元) 19.1 残存高 18.1 | 外面 口縁部：横位ナテ 胎土厚：胎土厚 内面 胎土厚：胎土厚 | 石灰、黄褐色、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 161 甕 | 口縁部径(復元) 18.2 残存高 10 | 外面 口縁部：横位ナテ、胎土：胎土厚 胎土厚：胎土厚 内面 口縁部：横位ナテ、胎土：胎土厚 | 石灰、黄褐色、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6)、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 162 甕 | 残存高 7.5 | 外面 胎土厚 胎土厚：胎土厚 内面 胎土厚 | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 163 甕 | 残存高 9.5 | 外面 胎土厚 胎土厚：胎土厚 内面 胎土厚 | 黄褐色、白色粒子、石灰、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 164 高坏(塚部) | 口縁部径 21.7 残存高 6.1 | 外面 横位ハナ後縁位ナテ胎土厚 胎土厚：胎土厚 内面 横位ハナ後縁位ナテ胎土厚 | 黄褐色、赤褐色、白色粒子、赤褐色、 赤褐色(Hue25YR7/6) | |
| | 165 高坏(塚部) | 口縁部径 21.8 残存高 7.1 | 外面 横位ハナ後縁位ナテ胎土厚 胎土厚：胎土厚 内面 横位ハナ後縁位ナテ胎土厚 | 黄褐色、赤褐色、白色粒子、 赤褐色(Hue25YR7/6) | |
| | 166 高坏(塚部) | 口縁部径(復元) 21.6 残存高 3.6 | 外面 胎土厚 | 石灰、赤褐色、白色粒子、赤褐色 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 167 高坏(塚部) | 口縁部径(復元) 21.6 残存高 3.6 | 外面 胎土厚 | 黄褐色、赤褐色、石灰、白色粒子 胎土(Hue25YR7/6) | |
| | 168 高坏(脚台部) | 口縁部径(復元) 14 残存高 14 | 外面 胎土厚 | 白色粒子、赤褐色、石灰、 赤褐色(Hue25Y7/6)、赤褐色 胎土(Hue10YR7/3) | |

第11表 12区SB-1出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 位置(cm) | 技法的特徴 | 胎土・色調 | 備考 |
|-----|---------|-----------------|-------------|--------------------------------------|---|
| 169 | 台形甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 25 25 | 外側 斜位ハケ 内側 斜位ハケ | 角四白、黒鉛、赤色粒子、白色粒子 内側：赤褐色(Hue5YR4/6) 内側：赤褐色(Hue5YR4/6) |
| 170 | 台形甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 13.3 9 | 外側 横位ナデ・垂線正直 内側 斜位ハケ或斜位ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子、黒鉛、石炭 内側：赤褐色(Hue5YR6/6) 内側：赤褐色(Hue5YR6/4) |
| 73 | 台形甕(両面) | 口縁部径 残存高 | 11.2 3.9 | 外側 縦位ナデ及横位ナデ 内側 横位ハケ或横位ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子、石炭 内側：赤褐色(Hue5YR6/4) 内側：褐色(Hue5YR7/3) |
| 171 | 台形甕(両面) | 口縁部径 残存高 | 11.6 4.8 | 外側 横位ナデ横位ハケ 内側 ナデ | 角四白、石炭、赤褐色 外側：赤褐色(Hue5YR6/3) 内側：赤褐色(Hue5YR6/4) |
| 173 | 鉢 | 口縁部径(復元) 残存高 | 15.8 6.9 | 外側 斜位ハケ横位ナデ 内側 縦部：横位ハケ | 角四白、赤色粒子、白色粒子 外側：褐色(Hue5YR7/8) 内側：赤褐色(Hue5YR7/8) |
| 174 | 鉢 | 口縁部径 残存高 | 7.9 5.9 | 外側 横部：ハケ後横位正直 内側 横部：縦位ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子、石炭 外側：褐色(Hue5YR7/8) 内側：赤褐色(Hue5YR7/8) |
| 74 | 鉢 | 口縁部径 残存高 | 11.5 5.5 | 外側 横位ハケ横位ナデ 内側 横位ハケ | 角四白、石炭、白色粒子 外側：赤褐色(Hue5YR6/3)、黒褐色 内側：赤褐色(Hue5YR6/3) |
| 175 | 鉢 | 口縁部径 残存高 | 11.4 6.2 | 外側 口縁部：横位ナデ、割部：ナデ 内側 口縁部：横位ナデ | 赤色粒子、白色粒子、石炭、白色粒子 外側：褐色(Hue5YR7/6) 内側：褐色(Hue5YR7/6) |
| 176 | 鉢 | 口縁部径 残存高 | 4.6 3.9 | 外側 横位ナデ 内側 横位ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子、黒鉛 外側：褐色(Hue5YR7/6) 内側：褐色(Hue5YR7/6) |
| 177 | 甕 | 口縁部径 残存高 | 4.5 4.5 | 外側 横位ナデ 内側 斜位ハケ横位ナデ | 角四白、白色粒子、石炭、赤褐色 外側：赤褐色(Hue5YR6/3)、灰黄褐色 (Hue10YR5/2) 内側：黒褐色(Hue10YR3/2) |
| 75 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.6 2.1 | 外側 横位ナデ 内側 横位ナデ、ナデ | 赤色粒子、白色粒子、角四白 外側：赤褐色(Hue5YR6/4) 内側：赤褐色(Hue5YR6/4) |
| 181 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 6.6 7.1 | 外側 横位ナデ、ナデ 内側 横位ナデ、ナデ | 赤色粒子、白色粒子、赤色粒子、石炭 内側：赤褐色(Hue5YR7/4) |
| 80 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 6.3 6.3 | 外側 口縁部：ナデ 内側 口縁部：横位ナデ 割部：ナデ後ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子 赤褐色(Hue5YR6/4)を基調として 部分的に黒色あり |
| 182 | 小皿 | 口縁部径 残存高 | 10 6.4 | 外側 縦位ナデ・横位正直及ナデ 内側 ナデ後ナデ、ナデ | 赤色粒子 外側：赤褐色(Hue10YR6/4) 内側：赤褐色(Hue10YR6/1) |
| 183 | 手取土器 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.2 2.2 | 外側 ナデ、割部正直、割取リ 内側 ナデ | 赤色粒子、白色粒子、角四白 外側：赤褐色(Hue5YR6/4) 内側：赤褐色(Hue5YR6/1) |

第12表 13区SB-8出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 位置(cm) | 技法的特徴 | 胎土・色調 | 備考 |
|-----|------|-----------------|------------|--------------------------------------|---|
| 181 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.6 2.1 | 外側 横位ナデ、ナデ 内側 横位ナデ、ナデ | 赤色粒子、白色粒子、赤色粒子、石炭 内側：赤褐色(Hue5YR7/4) |
| 80 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 6.3 6.3 | 外側 口縁部：ナデ 内側 口縁部：横位ナデ 割部：ナデ後ナデ | 角四白、赤色粒子、白色粒子 赤褐色(Hue5YR6/4)を基調として 部分的に黒色あり |
| 182 | 小皿 | 口縁部径 残存高 | 10 6.4 | 外側 縦位ナデ・横位正直及ナデ 内側 ナデ後ナデ、ナデ | 赤色粒子 外側：赤褐色(Hue10YR6/4) 内側：赤褐色(Hue10YR6/1) |
| 183 | 手取土器 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.2 2.2 | 外側 ナデ、割部正直、割取リ 内側 ナデ | 赤色粒子、白色粒子、角四白 外側：赤褐色(Hue5YR6/4) 内側：赤褐色(Hue5YR6/1) |

第13表 14区SB-3出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 位置(cm) | 技法的特徴 | 胎土・色調 | 備考 |
|-----|-----------|-----------------|------------|--|---------------------------------------|
| 184 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.2 2.1 | 外側 横位ナデ 内側 横位ナデ | 角四白、石炭、白色粒子 褐色(Hue5YR6/6) |
| 185 | 甕 | 口縁部径(復元) 残存高 | 20 7.8 | 外側 口縁部：割部、横位ハケ横位ナデ 内側 口縁部：割部、横位ハケ横位ナデ 割部上段：斜位ハケ、斜位ナデ | 赤褐色、石炭、白色粒子、灰色粒子 灰黄褐色(Hue10YR5/3) |
| 81 | 丸底鉢 | 口縁部径(復元) 残存高 | 6.5 6.5 | 外側 横位ハケ横位ナデ 内側 口縁部：横位ハケ横位ナデ | 角四白、石炭、赤褐色、白色粒子 内側：赤褐色(Hue5YR7/4) |
| 187 | 鉢 | 口縁部径(復元) 残存高 | 3.1 2.1 | 外側 横位ハケ横位ナデ 内側 ナデ後ナデ | 角四白、石炭、白色粒子、赤褐色 内側：赤褐色(Hue10YR7/4) |
| 188 | 浅鉢(7鉢) | 口縁部径(復元) 残存高 | 12 6 | 外側 ナデ 内側 ナデ | 角四白、石炭、白色粒子 内側：赤褐色(Hue5YR7/4) |
| 189 | 台形土甕(舞台形) | 口縁部径(復元) 残存高 | 8.8 5.4 | 外側 横位ナデ・垂線正直 内側 横位ハケ横位ナデ | 角四白、石炭、白色粒子、赤褐色 内側：赤褐色(Hue10YR7/4) |

第14表 22区SB-2出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 位置(cm) | 技法的特徴 | 胎土・色調 | 備考 |
|-----|-----------|------------------------------|------------------|---|--|
| 190 | 台形土甕(舞台形) | 口縁部径(復元) 残存高 斜部最大径(復元) | 18 17.2 16 | 外側 口縁部：割部、横位ナデ 内側 横位ハケ、斜位ハケ 割部：斜位ハケ | 角四白、石炭、赤褐色、白色粒子 灰黄褐色(Hue10YR5/2) |
| 191 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 26 15 | 外側 横位ナデ 内側 横位ナデ横位ハケ | 角四白、石炭、赤褐色、白色粒子、赤褐色 外側：横位ナデ(Hue10YR6/4) 内側：赤褐色(Hue10YR6/3) |
| 192 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 18 2.2 | 外側 ナデ後ナデ 内側 横位ハケ | 角四白、赤褐色、白色粒子 外側：赤褐色(Hue5YR7/6) 内側：褐色(Hue5YR7/6) |
| 193 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 4.2 6 | 外側 赤褐色ナデ 内側 横位ナデ | 角四白、石炭、白色粒子、灰色粒子 外側：褐色(Hue5YR6/6) 内側：褐色(Hue5YR6/6) |
| 194 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 5.4 3.2 | 外側 横位ハケ後ナデ 内側 ナデ横位ハケ | 角四白、石炭、白色粒子 外側：赤褐色(Hue10YR5/3) 内側：褐色(Hue5YR7/6) |
| 195 | 丸底鉢(舞台形) | 口縁部径(復元) 残存高 | 10 3.2 | 外側 ナデ、割部正直 内側 ナデ | 角四白、石炭、赤褐色、白色粒子 外側：赤褐色(Hue10YR6/4) 内側：赤褐色(Hue10YR6/4) |
| 196 | 甕(口縁部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 4.9 4.9 | 外側 斜位ハケ 内側 横位ハケ横位正直 | 角四白、白色粒子、赤褐色 外側：赤褐色(Hue10YR7/4) 内側：褐色(Hue5YR6/6) |

第15表 22区SB-3出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 位置(cm) | 技法的特徴 | 胎土・色調 | 備考 |
|-----|------|-------------|-----------|---------------------------|---|
| 199 | (朝倉) | 残存高 | 7 | 外側 赤褐色部分：横位ナデ 内側 斜位ハケ | 白色粒子、石炭、赤褐色 褐色(Hue6YR6/6) |
| 200 | 甕、甕? | 残存高 | 7.5 | 外側 縦位ナデ 内側 縦位ナデ | 白色粒子、赤褐色、灰色粒子 外側：赤褐色(Hue10YR6/3) 内側：赤褐色(Hue10YR6/3) |
| 201 | 鉢 | 口縁部径 残存高 | 11 4.8 | 外側 口縁部：横位ナデ後ハケ 内側 横位ナデ | 角四白、赤褐色、白色粒子 褐色(Hue5YR7/6) |

第16表 22区SB-4出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|----|-----|--------|-----------------|-------------|------------------------------|---|--------|
| 84 | 302 | 壺 | 口縁部径(復元) 残存高 | 15.4 6 | 外周 横線ナテ・波状ハテ 内周 横線ナテ・波状ハテ | 石灰、黒鉛石、白色粒子、糠 外周: 黄褐色(Hue25YR7/3) 内周: 褐色(Hue25YR6/6)、洗炭褐色(Hue10YR8/3) | |
| | 303 | 壺(胴部) | | | 外周 横線ナテ 内周 横線ナテ | 石灰、黒鉛石、白色粒子 外周: 黄褐色(Hue25YR5/4) 内周: 褐色(Hue5YR7/6) | 扉目刻付突帯 |
| | 304 | 壺(胴下部) | 残存高 或部径 | 4.4 11.8 | 外周 横線ナテ 内周 横線ナテ | 石灰、黒鉛石、白色粒子 外周: にい・黄褐色(Hue10YR6/4) 内周: 黄褐色(Hue25YR6/2) | |
| | 205 | 小型浅鉢 | 残存高 | 4.7 | 外周 波状ハテ 内周 ナテ | 石灰、黒鉛石、白色粒子、糠 外周: にい・赤褐色(Hue5YR4/4) 内周: にい・赤褐色(Hue5YR4/4) | |

第17表 拡張区SB-1出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|-----|-----|----------|---------------------|----------------------|---|---|--------|
| 85 | 206 | 壺 | 口縁部径 首径 胴部最大径 | 14.2 27.6 23.1 | 外周 口縁部: 横線ナテ 胴部: ナテ 内周 上縁部: 横線ナテ 胴部: 斜交ハテ、波状ハテ | 赤鉛石、石灰、黄褐色、白色粒子 洗炭褐色(Hue10YR8/4) | |
| | 207 | 壺 | 口縁部径(復元) 残存高 | 15.7 3.7 | 外周 横線ナテ 内周 横線ナテ | 石灰、赤色粒子、赤色粒子、角閃石 洗炭色(Hue25Y7/3) | |
| | 208 | 壺(胴部) | 残存高 | 7.8 | 外周 波状ハテ 内周 ナテ・波状ハテ | 角閃石、石灰、白色粒子 外周: にい・黄褐色(Hue10YR7/4) | 扉目刻付突帯 |
| 210 | 209 | 壺(胴部) | 残存高 | 8 | 外周 斜交ハテ 内周 斜交ハテ・ナテ・波状ハテ | 角閃石、石灰、黒鉛石、灰色粒子 外周: 褐色(Hue10YR1.7/1) 内周: にい・赤褐色(Hue10YR7/4) | |
| | 210 | 付付葉(胴上部) | 残存高 | 3 | 外周 ナテ・横線ナテ 内周 ナテ・横線ナテ | 角閃石、白色粒子、石灰、黒鉛石 外周: にい・黄褐色(Hue10YR7/3) 内周: 褐色(Hue10YR8/4) | 平成 |

第18表 5区SB-1出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種別 | 法量(cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|-----|----------|--------------|----------------|--------------------|--|---|--------|
| 88 | 212 | 土師器 壺 | 口縁部径 残存高 | 16.6 25.3 | 外周 口縁部: 横線ナテ 胴部: 波の流線 内周 上縁部: 横線ナテ 胴部: 斜交ハテ | 白色粒子、石灰、角閃石、赤色粒子、黄母 外周: 洗炭褐色(Hue10YR8/4)、褐色 (Hue10YR8/4) 内周: 口縁部は洗炭褐色(Hue10YR8/4)、胴部は褐色 (Hue10YR11/5) | 外周に付付葉 |
| | 213 | 小型丸底鉢 | 口縁部径 器高 | 13.4 6 | 外周 丁寧な横線ナテ後ミギキ 内周 丁寧な横線ナテ後ミギキ | 外周: 洗炭褐色(Hue5YR8/4) 内周: 褐色(Hue5YR7/6) | |
| | 214 | 土師器 小型丸底鉢 | 口縁部径 器高 | 10.2 6.85 | 外周 横線ナテ後ミギキ 内周 横線ナテ後ミギキ | 角閃石、赤色粒子、白色粒子、石灰 外周: 洗炭褐色(Hue10YR7/6) 内周: 褐色(Hue5YR7/6) | |
| | 215 | 土師器 小型丸底鉢 | 口縁部径 器高 | 11.4 7.7 | 外周 横線ナテ後ミギキ 内周 横線ナテ後ミギキ | 角閃石、赤色粒子、白色粒子 外周: 洗炭褐色(Hue10YR8/3)、黒泥 内周: 洗炭褐色(Hue10YR8/4) | |
| 216 | 216 | 小型丸底鉢 | 口縁部径 器高 | 10.9 7.15 | 外周 横線ナテ後ミギキ 内周 横線ナテ後ミギキ | 石灰、白色粒子、赤褐色、赤色粒子、黄母 外周: にい・黄褐色(Hue10YR7/4) 内周: にい・黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | 217 | ミニチュア浅鉢 | 口縁部径(復元) 器高 | 5 2.8 | 外周 ナテ、指頭仕立 内周 ナテ、指頭仕立 | 石灰、角閃石、白色粒子、赤色粒子 外周: 褐色(Hue25YR7/3)、黄褐色(Hue20YR/3) 内周: 洗炭褐色(Hue10YR4/2) | |
| 218 | 付付葉(胴上部) | | | 外周 横線ナテ 内周 横線ナテ | 石灰、角閃石、白色粒子、赤色粒子 外周: 褐色(Hue25YR7/3) 内周: 褐色(Hue75YR7/3) | 平成 | |

第19表 弥生時代～古墳時代住居跡出土土器観察表

| 区 | 番号 | 器種 | 石材 | 出土地点 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重さ | 備考 |
|----|-----|-------|--------|--------------|----------|-------|------|----------|---------------------------------|
| 32 | 18 | 砥石 | 砂岩 | 13E・14E/SB-4 | 22.30 | 14.70 | 2.70 | 840.50 | 完全に使用が見られる。墓穴住居跡田に張り付くように出土。 |
| | 59 | 石斧状石器 | 角閃石安山岩 | 13E・14E/SB-6 | 25.20 | 8.80 | 6.60 | 2020.00 | 在室石剣、金体的に納置に留められている。刃部や磨打痕跡はなし。 |
| 45 | 60 | 砥石 | 砂岩 | 13E・14E/SB-6 | 9.10 | 3.20 | 2.20 | 80.00 | 左利剣が主な使用例 |
| | 59 | 118 | 磨製石斧 | 角閃石安山岩 | 14E/SB-1 | 13.85 | 5.60 | 3.00 | 321.70 |
| 67 | 146 | 砥石 | 砂岩 | 14E/SB-2 | 13.70 | 21.55 | 4.20 | 1,387.60 | 半製品か |
| 86 | 211 | 砥石 | 砂岩 | 拡張区SB-1 | 7 | 6.5 | 3.4 | | 被覆痕あり。使用痕は平 |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 図 番号 | 種別 | 径長(cm) | 注目の特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|------|----------|-----------------------------|--|--|----------|
| 220 | 台付葉(葉部) | 口縁部径(復元) 残存高 | 15 外周 口縁部: 横位ナブ 14.5 内周 口縁部: 横位ナブ | 黄母粒子、白色粒子、灰色粒子、角閃石 外面: 浅黄褐色(Hae10YR7/3) 内面: 褐色(Hae5YR7/2) | 胴部は器部同様 |
| | 葉部 | 残存高 胴部最大径(復元) | 21.5 外周 斜位ハケ 34.2 内周 斜位ハケ、器部直線 | 石灰、角閃石、雲母片、白色粒子 外面: にぶい黄褐色(Hae10YR7/4)、オリーブ黒色(Hae7.5Y3/1) 内面: にぶい黄褐色(Hae10YR7/4) | |
| 222 | 台付葉(葉合部) | 残存高 | 4.6 外周 横位ハケ後横位ナブ 内周 横位ナブ後斜位ハケ 底部: 器部直線 | 角閃石、石英、白色粒子 にぶい黄褐色(Hae10YR7/2) | 器底 |
| 223 | 台付葉(葉合部) | 残存高 | 5.5 外周 ナブ 内周 ナブ | 角閃石、石英、雲母粒子、白色粒子 にぶい褐色(Hae5YR6/4) | 器底 |
| 224 | 台付葉(葉合部) | 残存高 下から3.4cmの径 (復元) | 3.8 7 | 角閃石、石英、白色粒子 にぶい黄褐色(Hae10YR7/2) | |
| 225 | 台付葉(葉合部) | 残存高 下から2.7cmの径 (復元) | 4.3 6 | 角閃石、石英、白色粒子 浅黄褐色(Hae10YR8/4) | |
| | 台付葉(葉合部) | 残存高 下から1.8cmの径 (復元) | 3.5 外周 横位ナブ後横位ハケ 7 内周 横位ナブ後横位ナブ、器部直線 器部: 横位ハケ後ナブ | 金象母、角閃石、白色粒子、黑色粒子、灰色粒子、茶色粒子 外周: にぶい褐色(Hae5YR6/4) 内面: 灰黄色(Hae10YR7/2) | |
| 226 | 台付葉(葉合部) | 残存高 胴部最大径 | 15.1 外周 横位ナブ 21.7 内周 底部: 器部直線 | 黄母片、角閃石、砂粒 外面: にぶい黄褐色(Hae10YR7/4) 胴灰色(Hae7.5Y3/2) | |
| 227 | 台付葉(葉合部) | 台部径 (復元) | 11 5.3 | 白色粒子、石英 にぶい黄褐色(Hae10YR7/2) | |
| 228 | 台付葉(葉合部) | 台部径 (復元) | 11.8 | 角閃石、石英、雲母粒子、白色粒子、赤色粒子、黑色粒子 外面: にぶい黄褐色(Hae10YR7/3) 内面: 黒色 | |
| 229 | 台付葉(葉合部) | 残存高 | 5.1 | 角閃石、石英、白色粒子 にぶい黄褐色(Hae10YR7/4) | |
| 230 | 台付葉(葉合部) | 台部径 (復元) | 11 外周 横位ナブ 4 内周 横位ナブ | 角閃石、石英、白色粒子 にぶい黄褐色(Hae10YR7/4) | |
| 231 | 台付葉(葉合部) | 台部径 (復元) | 9.4 3.8 | 角閃石、石英、白色粒子 にぶい黄褐色(Hae10YR7/4) | 胴部径が大きい |
| 232 | 葉 | 口縁部径(復元) 器高 胴部最大径(復元) | 19.2 外周 口縁部: 横位ナブ 21.4 胴部上段: 斜位ハケ 20.6 胴部中段: 横位ハケ 底部付足: ケズリ後ナブ | 石灰、雲母粒子、白色粒子 外面: にぶい黄褐色(Hae10YR7/3) 内面: 褐色(Hae5YR6/6) | |
| | 葉 | 口縁部径 胴部最大径 器高 | 16.3 外周 口縁部: 横位ナブ後斜位ハケ 17.7 胴部: 横位ナブ後横位ハケ 39.9 内周 口縁部: 横位ナブ 横位ナブ後ハケ、器部直線 底部: ハケ | 角閃石、雲母粒子、赤色粒子、白色粒子 にぶい褐色(Hae7.5YR6/4) 外面: 器部より下は黒色 内面: 底部のみ黒色 | |
| 233 | 葉 | 口縁部径(復元) 器高 胴部最大径 | 15 外周 口縁部: 横位ハケ後横位ナブ 21.5 胴部: 横位ナブ後斜位ハケ 19.4 内周 口縁部: 横位ハケ後横位ナブ 胴部上段: 斜位ハケ 胴部中段: ケズリ後ナブ | 白色粒子、角閃石、赤色粒子、雲母粒子 浅黄褐色(Hae10YR8/2) | |
| | 葉 | 口縁部径 胴部最大径 器高 | 16.3 外周 口縁部: 横位ナブ 18.1 胴部: 横位ハケ後横位ナブ 器部全ハケ 底部付足: ややナブ直し 口縁部: 横位ナブ 胴部上段: ケズリ | 白色粒子、雲母粒子、角閃石 褐色(Hae7.5YR6/6)、胴部中段より下は黒い | |
| 236 | 葉 | 口縁部径 胴部最大径 器高 | 18.4 外周 口縁部: 横位ナブ 21.7 胴部上段: ケズリ | 白色粒子、角閃石 褐色(Hae5YR6/6) | 外周内周とも器部 |
| 237 | 葉 | 口縁部径 胴部最大径(復元) 器高 | 13.8 外周 口縁部: 横位ハケ後横位ナブ 16.8 胴部: 横位ナブ後横位ナブ、斜位ハケ 19.6 胴部上段: 横位ハケ後横位ナブ 胴部中段: 横位ナブ後斜位ハケ | 角閃石、雲母粒子、赤色粒子、白色粒子 にぶい褐色(Hae7.5YR7/4) | |
| | 葉 | 口縁部径 胴部最大径(復元) 器高 | 16.5 外周 口縁部: 横位ナブ 23.5 胴部最大径付足: 斜位ハケ 4-4.5 内周 胴部下段: 横位ハケ 口縁部: 器部、横位ナブ 器部: 斜位ハケ、一部ケズリ | 石灰、白色粒子、赤色粒子 外面: 褐色(Hae5YR7/6)、黒褐色(Hae5YR3/1) 内面: 褐色(Hae5YR7/6)、胴灰色(Hae5YR4/1) | |
| 239 | 葉 | 口縁部径 器高(復元) 底部径(復元) | 16.5 外周 口縁部: 横位ナブ 23.5 胴部最大径付足: 斜位ハケ 4-4.5 内周 胴部下段: 横位ハケ 口縁部: 器部、横位ナブ 器部: 斜位ハケ、一部ケズリ | 石灰、白色粒子、赤色粒子 外面: 褐色(Hae5YR7/6)、黒褐色(Hae5YR3/1) 内面: 褐色(Hae5YR7/6)、胴灰色(Hae5YR4/1) | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 寸法 (cm) | 注記 | 技法の特徴 | 胎土の色調 | 備考 |
|-----|-----|------------------|--------------|----|---|--|---------------------|
| 240 | 美 | 口縁部 (復元) | 13.2 | 外面 | 口縁部: 縦筋ナテ、縦化ハケ 斜位ハケ後ナテ、部分的にナテ消し | 角閃石、赤色粒子、石灰、白色粒子、黒母粒 浅黄褐色 (Ihae10YR8/4) | 横断面に穿孔孔 |
| | | 胴部 胴部最大径 (復元) | 27.1 20.2 | 内面 | 口縁部: 横位ナテ 胴部: 外周より太めのハケ 底部付着: 縦位ハケ 底面: 指頭圧痕 | | |
| 95 | 211 | 口縁部 (復元) | 14.4 | 外面 | 口縁部: 縦位ナテ | 角閃石、石灰、藍色粒子、白色粒子 浅黄褐色 (Ihae7.5YR8/6) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 18.3 20.1 | 内面 | 胴部: 斜位ハケ後ナテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ナテ | | |
| 242 | 美 | 口縁部 (復元) | 16.4 | 外面 | 口縁部: 縦位ナテ | 角閃石、石灰、赤褐色、灰色粒子、黒母粒 に灰黄褐色 (Ihae10YR7/3) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 19.7 19.9 | 内面 | 胴部: 斜位ハケ後ナテ 部分的にナテ消し 口縁部: 横位ナテ | | |
| 243 | 美 | 口縁部 (復元) | 16.6 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ、斜位ナテ | 角閃石、石灰、白色粒子 に灰黄褐色 (Ihae10YR7/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 16.6 15.5 | 内面 | 口縁部: 横位ナテ 胴部: 斜位ハケ後ナテ消し 口縁部: 横位ナテ | | |
| 244 | 美 | 口縁部 (復元) | 13.5 | 外面 | 口縁部: 縦筋上部: 横位ハケ、横位ナテ 胴部中央: 横位ナテ後斜位ハケ | 角閃石、黒母粒、赤色粒子、白色粒子 に灰黄褐色 (Ihae10YR7/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 14.3 16.1 | 内面 | 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ハケ | | |
| 245 | 美 | 口縁部 (復元) | 13.2 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、白色粒子、赤色粒子、黒母粒 外周: 浅黄褐色 (Ihae10YR8/4)・黒色 (HueN15) 内面: 浅黄褐色 (Ihae10YR8/4) | 磨耗 |
| | | 胴部最大径 器高 | 16.7 15.9 | 内面 | 口縁部: 横位ナテ 胴部: 斜位ハケ後ナテ、指頭圧痕 | | |
| 246 | 美 | 口縁部 (復元) | 13.6 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、石灰、黒母粒 浅黄褐色 (Ihae7.5YR7/3) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 16.9 15.6 | 内面 | 胴部: 不定方向への乱雑なハケ 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ナテ後斜位ハケ | | |
| 247 | 美 | 口縁部 (復元) | 13.5 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、石灰、白色粒子 外周: 浅黄褐色 (Ihae10YR8/3)、斜位ハケ筋: 褐色 (Ihae5YR6/8) 内面: 浅黄褐色 (Ihae7.5YR8/6) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 17.6 15.9 | 内面 | 胴部中央: 横位ナテ後斜位ハケ 部分的に指頭圧痕、ナテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ハケ後横位ナテ、 部分的にナテ消し 底面: 指頭圧痕 | | |
| 248 | 美 | 口縁部 (復元) | 14 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 黒母粒 に灰黄褐色 (Ihae10YR7/3) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 17.4 16.1 | 内面 | 胴部: 横位ハケ後横位ナテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ハケ 底面付着: 縦位ハケ、横位ナテ | | |
| 249 | 美 | 口縁部 (復元) | 12.4 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ後横位ハケ | 黒母粒、角閃石 浅黄褐色 (Ihae2.5YR/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 15 14.4 | 内面 | 口縁部: 横位ナテ後横位ハケ、横位ハケ 胴部: 横位ナテ 胴部: 若干横位ハケ 胴部: 横位ナテ | | |
| 250 | 美 | 口縁部 (復元) | 12 | 外面 | 口縁部: 丁寧な横位ナテ、若干縦位ハケ | 白色粒子、角閃石、黒母粒 に灰黄褐色 (Ihae7.5YR7/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 14.2 13.6 | 内面 | 胴部: 斜位ハケ 底面: ハケ後ナテ消し 口縁部: 横位ハケ後横位ナテ 胴部: 横位ハケ後横位ナテ、 指頭圧痕後斜位ハケ 底面: ケズリ | | |
| 251 | 美 | 口縁部 (復元) | 10 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 白色粒子、角閃石、黒母粒、赤色粒子 に灰褐色 (Ihae5YR7/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 11.4 10.6 | 内面 | 胴部: 丁寧な横位ナテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: ケズリ後横位ナテ | | |
| 252 | 美 | 胴部最大径 器高 | 17 19.2 | 外面 | 胴部: 横位ナテ 胴部中央: 斜位ハケ 中央から底面: 縦位ナテ、ナテ | 石灰、黒母粒、角閃石、砂粒 外周: に灰黄褐色 (Ihae10YR8/4)、灰黄褐色 (Ihae10YR5/2)、黒褐色 (Ihae2.5Y3/1)、褐色 (Ihae5YR6/6)、赤褐色 (Ihae10YR5/6) 内面: 褐色 (Hue5YR)、黒褐色 (Ihae7.5YR3/1)、明黄 褐色 (Ihae2.5Y7/3)、灰オレンジ色 (Ihae5YR5/2) | 口縁部は散発的に 打ち欠いている |
| | | 内面 | 4 | 内面 | 底面付着: 指頭圧痕 胴部中央: 斜位ハケ 中央から下: 斜位ハケ 底面: 指頭圧痕 | | |
| 253 | 美 | 口縁部 (復元) | 15.4 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 赤母粒、赤色粒子、白色粒子、黒母粒 に灰褐色 (Ihae7.5YR6/4) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 10.7 17.8 | 内面 | 胴部: 横位ハケ、斜位ハケ後横位ナテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: ケズリ後ナテ | | |
| 254 | 美 | 口縁部 (復元) | 16.3 | 外面 | 胴部: 斜位ハケ | 石灰、角閃石、黒母粒、小黒 外周: 明黄褐色 (Ihae10YR7/6)、黒褐色 (Ihae10YR4/1)、明赤褐色 (Ihae5YR5/6) 内面: 明黄褐色 (Ihae10YR7/6) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 16.3 30 | 内面 | 胴部中央: 斜位ナテ、指頭圧痕 下底部: 斜位ナテ | | |
| 255 | 美 | 口縁部 (復元) | 17 | 外面 | 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、黒母粒、赤色粒子、白色粒子 褐色 (Ihae7.5YR7/6) | |
| | | 胴部最大径 器高 | 17.5 30 | 内面 | 胴部中央: 横位ハケ後横位ナテ 中央から下: 斜位ハケ後斜位ナテ 胴部中央: 非常に強めの斜位ハケ 中央: 太めの斜位ハケ 下位横位ナテ | | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 法量 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|----|--------------------------------|---------|--|---|----------------------|
| 256 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 | 18 | 外周 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、石英 黄褐色 (Hae2575/3) | |
| | | | 127 | 胴部: 縦位ハテ、横位ハテ 口縁部: 横位ナテ 胴部: 斜位ハテ | | |
| 257 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 | 16 | 外周 口縁部: ナテ | 石英、白色粒子、雲母粒子、角閃石、褐色粒子 にふい黄褐色 (Hae10YR7/4) | 断面 |
| | | | 117 | 胴部: 横位ナテ後横位ハテ 内周 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ 胴部: 横位ナテ | | |
| 258 | 美 | 残存高 胴部最大径 | 17 | 外周 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、雲母粒、砂粒 外周: 浅灰色 (Hae25Y7/4)、明褐色 (Hae5YR6/6)、黒褐色 (Hae10YR3/2)、灰黄褐色 (Hae10YR5/2) 内周: 浅灰色 (Hae25Y7/4)、黒褐色 (Hae25Y3/3)、 黄灰色 (Hae25Y4/1) | |
| | | | 19 | 胴部: 斜位ハテ 口縁部: 横位ナテ 胴部上位: 斜位ハテ 中段から下: 縦位ナテ | | |
| 259 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 胴部最大径 | 18.5 | 外周 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、石英、雲母粒、白色粒子 浅灰色 (Hae25Y7/3) | |
| | | | 167 | 胴部: 横位ナテ後斜位ハテ | | |
| 260 | 美 | 口縁部法 残存高 | 17 | 外周 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、白色粒子、石英、黒色粒子、灰色粒子、赤色 粒子 外周: 褐色 (Hae5YR7/6) 内周: 灰白色 (Hae10YR8/2) | |
| | | | 101 | 胴部: 横位ナテ 内周 口縁部: 横位ナテ 胴部: ナテ後横位、斜位ハテ | | |
| 261 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 胴部最大径 (復元) | 14 | 外周 口縁部: 非常に丁寧ナテ | 角閃石、白色粒子、赤色粒子 褐色 (Hae5YR6/8) | |
| | | | 11.5 | 胴部: 縦位ハテ | | |
| 262 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 胴部最大径 (復元) | 15.8 | 内周 胴部上半部: 浅い斜位ハテ 胴部下半部: 下方に横位ハテ最ナテ、 断面は直 | 角閃石、雲母粒、白色粒子、赤色粒子 外周: 灰白色 (Hae10YR8/2) 内周: にふい褐色 (Hae7.5YR7/4) | |
| | | | 9 | 外周 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ | | |
| 263 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 胴部最大径 (復元) | 12.4 | 外周 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、雲母粒子、赤色粒子 外周: 褐色 (Hae7.5YR7/6)、黒灰色 (Hae25YR4/1) 内周: にふい褐色 (Hae7.5YR7/4) | |
| | | | 19.2 | 胴部: 斜位ハテ、胴部のみ横位ナテでナテ 消し | | |
| 264 | 美 | 口縁部法 残存高 胴部最大径 (復元) | 16.8 | 外周 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、雲母粒、白色粒子 灰黄褐色 (Hae10YR6/2) | 断面割がれ |
| | | | 11.4 | 胴部: 縦位ハテ | | |
| 265 | 美 | 口縁部法 残存高 | 18.2 | 内周 口縁部: 横位ナテ | 角閃石、雲母粒、石英、白色粒子 褐色 (Hae5YR6/6) | |
| | | | 126 | 胴部: 斜位ハテ後横位ナテ | | |
| 266 | 美 | 口縁部法 (復元) 残存高 | 15 | 外周 口縁部: 横位ナテ後横位ハテ | 角閃石、白色粒子、石英、雲母粒子 浅黄褐色 (Hae10YR8/2) | |
| | | | 8.9 | 胴部: 横位ナテ後横位ハテ 内周 口縁部: 横位ナテ 胴部: 横位ナテ後横位ハテ、 着辺りナテ消し | | |
| 267 | 美 | 断面法 残存高 胴部最大径 | 14.2 | 外周 胴部: 斜位ハテ | 赤色粒子、白色粒子、雲母粒、角閃石 にふい黄褐色 (Hae10YR7/4) 内周は黒くっている | |
| | | | 17.5 | 断面: ケズリ | | |
| 268 | 美 | 断面法 残存高 胴部最大径 | 14.7 | 外周 胴部: 横位ナテ後不定方向へハテ | 赤色粒子、白色粒子、雲母粒 外周: 灰黄褐色 (Hae10YR6/2)、部分的に黒色 内周: にふい褐色 (Hae7.5YR7/4) | 内面に長片付着 |
| | | | 14.2 | 断面付着: ハテ最ナテ消し、断面は直 | | |
| 269 | 美 | 口縁部法 断面最大径 | 22 | 外周 口縁部: 丁寧な横位ナテ | 角閃石、赤色粒子、石英、白色粒子 褐色 (Hae7.5YR6/6) | |
| | | | 27 | 胴部: 横位ナテ、タタキ後ハテ | | |
| 270 | 美 | 口縁部法 残存高 胴部最大径 (復元) | 15.6 | 外周 口縁部: 丁寧ナテ | 角閃石、角閃石雲母粒、白色粒子 外周: にふい黄褐色 (Hae10YR7/3) 内周: にふい黄褐色 (Hae10YR7/2) | 断面下半は横位に よる剥落、赤色化 |
| | | | 19 | 胴部: 横位ナテ後横位ハテ 胴部上半部: タタキ後横位ハテ 胴部下半部: 縦位ハテ | | |
| 271 | 美 | 口縁部法 残存高 胴部最大径 | 16.4 | 外周 口縁部: 丁寧な横位ナテ | 白色粒子、雲母粒 外周: 褐色 (Hae10YR6/6) 内周: 灰黄褐色 (Hae10YR6/2) | |
| | | | 19.2 | 胴部上位: 浅いタタキ | | |
| 271 | 美 | 断面最大径 | 21.5 | 胴部中位: タタキ後斜位ハテ 胴部下位: タタキ、斜位ナテ後横位の斜位 ハテ | | |
| | | | 21.5 | 内周 口縁部: 丁寧な横位ナテ 胴部中位、断面中位~下位: ヘラケズリ 胴部: 横位ハテ | | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 図号 | 類別 | 法量 (cm) | 形状の特徴 | 胎土/胎質 | 備考 |
|-----|-----|------------|----------|----------------------------|---|
| 102 | 200 | 口縁部径 | 16.3 外面 | 口縁部：横位ナテ | 石灰、角閃石、雲母片、白色粒子、赤色粒子 外面：褐色 (Hue2.5YR6/6)、顔部下半は黒色 (Hue10YR2/1) 内面：褐色 (Hue7.5YR6/6) |
| | | 底径 | 25.15 内面 | 腹部：上段が横位ハケ、下段が縦位ハケ | |
| 291 | 291 | 口縁部径 | 17 外面 | 口縁部：横位ナテ | 金雲母、黄母粒、白色粒子 に灰黄色 (Hue10YR7/2) |
| | | 残存高 | 23.2 | 腹部から頸部上段：横位ハケ後横位ナテ | |
| 292 | 292 | 胴部最大径 (復元) | 30.5 外面 | 胴部：位から下：横位ハケ後横位ナテ | 黄母粒、白色粒子、褐色粒子 に灰黄色 (Hue10YR7/4) |
| | | 残存高 | 17 内面 | 口縁部～腹部：横位ナテ | |
| 293 | 293 | 口縁部径 | 15.6 外面 | 口縁部：丁家女横位ナテ | 角閃石、雲母、石英、白色粒子、赤色粒子 外面：淡黄色 (Hue2.5YR/4) - 黒褐色 (Hue10YR3/1) 内面：淡黄色 (Hue2.5YR/4) - 黒褐色 (Hue10YR4/1) |
| | | 底径 | 4.5 内面 | 口縁部：丁家女横位ナテ | |
| 294 | 294 | 口縁部径 | 6.1 外面 | 口縁部：横位ナテ | 角閃石、金雲母、雲母粒子、白色粒子 淡黄色 (Hue10YR8/4) |
| | | 残存高 | 22.3 | 腹部：横位ハケ後横位ナテ | |
| 296 | 296 | 胴部最大径 (復元) | 19.9 外面 | 口縁部：横位ナテ | 黄母粒、金雲母、白色粒子、その他粒子 に灰黄色 (Hue10YR7/2) |
| | | 残存高 | 21.4 内面 | 腹部：横位ハケ、横位ハケ後ナテ | |
| 296 | 296 | 口縁部径 (復元) | 14 外面 | 口縁部：横位ナテ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、角閃石、石英 に灰黄色 (Hue10YR7/4) |
| | | 残存高 | 21.5 内面 | 腹部：横位ハケ後横位ナテ | |
| 297 | 297 | 口縁部径 | 17.4 外面 | 口縁部：横位ナテ | 金雲母、白色粒子、黄母粒、赤色粒子、その他 に灰黄色 (Hue10YR7/3) |
| | | 胴部最大径 (復元) | 22 内面 | 口縁部～腹部：横位ハケ後横位ナテ | |
| 298 | 298 | 口縁部径 | 16.8 外面 | 口縁部に打ちついた灰 | 黄母粒、赤色粒子、白色粒子 に灰黄色 (Hue10YR7/4)、外面に部分的に灰黄色 (Hue2.5Y7/2)、黒色 |
| | | 残存高 | 24.6 内面 | 腹部上段：横位ハケ後部分的にナテ消し、上から横位ナテ | |
| 299 | 299 | 口縁部径 (復元) | 16 外面 | 横位ハケ後丁家女横位ナテ | 角閃石、金雲母、白色粒子、赤色粒子、石英 淡黄色 (Hue10YR8/4) |
| | | 残存高 | 20.8 内面 | 腹部：横位ナテ後横位ハケ | |
| 300 | 300 | 口縁部径 | 18.7 外面 | 口縁部：横位ハケ後横位ナテ | 角閃石、雲母粒子、石英、白色粒子 に灰黄色 (Hue7.5YR7/4) |
| | | 残存高 | 26.6 内面 | 腹部～頸部上段：横位ナテ後斜位ハケ | |
| 301 | 301 | 残存高 | 24.2 外面 | 腹上半部：横位ハケ | 石英、雲母、白色粒子、赤色粒子 外面：黄褐色 (Hue10YR8/6)、淡黄色 (Hue2.5YR/4)、 灰褐色 (Hue7.5YR5/2)、褐色 (Hue5YR6/6)、黒褐色 (Hue10YR5/1) 内面：黄褐色 (Hue10YR8/6)、黒褐色 (Hue10YR4/1) |
| | | 底径 | 4.8 内面 | 新断面下：断面平直、その下に横位ナテ | |
| 302 | 302 | 口縁部径 | 14.7 外面 | 口縁部～頸部上段：横位ハケ後横位ナテ | 金雲母、黄母粒、赤色粒子、白色粒子、黒色粒子 に灰黄色 (Hue7.5YR7/4) |
| | | 残存高 | 17.2 内面 | 口縁部～頸部上段：横位ナテ | |
| 303 | 303 | 口縁部径 | 16.2 外面 | 口縁部：丁家女横位ナテ | 石英、角閃石、雲母片、白色粒子、小磯 外面：明黄褐色 (Hue10YR7/6)、黒褐色 (Hue2.5YR 2/1) 内面：明黄褐色 (Hue10YR7/6)、黄褐色 (Hue2.5YR7/1) |
| | | 残存高 | 16.8 内面 | 頸部上段：横位ハケ | |
| 304 | 304 | 胴部最大径 (復元) | 19.8 外面 | 口縁部：丁家女横位ナテ | 金雲母、角閃石、雲母粒子 灰白色 (Hue2.5YR/2) |
| | | 残存高 | 13.6 内面 | 腹部：横位ハケ後横位ナテ | |
| 305 | 305 | 口縁部径 (復元) | 15 外面 | 口縁部：横位ナテ | 角閃石、白色粒子、雲母粒子 褐色 (Hue5YR6/6) |
| | | 残存高 | 4.2 内面 | 口縁部：横位ナテ | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 法長 (cm) | 技法の特徴 | 粘土色調 | 備考 |
|-----|----|-----------|---------|--|--|---------------------|
| 306 | 装 | 残存高 | 20.3 | 外面 扉部上段: 横位ハケ | 石灰、黒色、白色粒子 | |
| | | 扉部最大径 | 22.6 | 扉部中位下: 横位ハケ | 外層: 褐色 (Hae5YR7/3)、にぶい黄褐色 (Hae10YR6/4)、褐色 (Hae10YR7.2/2)、灰黄褐色 (Hae10YR4/2) | |
| 307 | 装 | 残存高 | 約3.3 | 内面 扉部上段: 斜位ケズリ | 内層: 褐色 (Hae5YR7/3)、にぶい黄褐色 (Hae10YR6/4) | |
| | | 扉部最大径 | 14.5 | 扉部中位下: 横位ハケ 扉部下: 斜位ケズリ 裏部: くもの巣状の横位ケズリ 裏部: 傘状に指張った横位 | 内層: 褐色 (Hae5YR6/6)、黒褐色 (Hae7.5YR3/1) | |
| 308 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16 | 口縁部: 横位ナナ | 白色粒子、灰白色下、褐色粒子 | 扉部下2分の横位による単色化、黒色化 |
| | | 残存高 | 14.5 | 裏部: 横位ハケ | 外層: 黄褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 309 | 装 | 口縁部径 (復元) | 20.6 | 口縁部: 横位ナナ | 内層: 灰白色 (Hae10YR7B/2) | |
| | | 残存高 | 18.8 | 横位ナナ後指張り直 | 金雲母、黒色粒子、白色粒子、その他粒子 外層: 灰白色 (Hae10YR7B/2) 内層: にぶい黄褐色 (Hae10YR7/2) | |
| 310 | 装 | 口縁部径 (復元) | 15.8 | 口縁部: 横位ナナ | 白色粒子、金雲母、石灰 | |
| | | 残存高 | 19.8 | 裏部ハケ後横位・斜位ハケ後ナナ | 内層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 311 | 装 | 口縁部径 (復元) | 14 | 口縁部: 横位ナナ | 外層・内層ともに全体的に黒→灰 | |
| | | 残存高 | 39 | 裏部: 横位ナナ 裏部: 横位ナナ後指張り直 | 金雲母、角閃石、赤色粒子、白色粒子 にぶい黄褐色 (Hae10YR7/2) | |
| 312 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16.8 | 裏部中位からナナ後斜位ハケ | 角閃石、赤色粒子、白色粒子、小礫 | |
| | | 残存高 | 13.5 | 裏部下位: 横位ハケ 裏部ケズリ後上からナナ | 外層: にぶい褐色 (Hae7.5YR6/4) 内層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 313 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16 | 口縁部: 横位ハケ後横位ナナ | 金雲母、白色粒子、石灰、黒色粒子 | 内縁に若干鉄分付着 |
| | | 残存高 | 13.5 | 裏部: 不定方向ハケ後もぎ、ナナ 裏部: 横位ケズリ | 外層: 黄褐色 (Hae10YR8/3) 内層: 黒褐色 (Hae2.5Y3/1) | |
| 314 | 装 | 口縁部径 (復元) | 17.2 | 口縁部-扉部上段: 横位ナナ | 金雲母、褐色粒子、白色粒子、黒色粒子 | にぶい黄褐色 (Hae10YR7/2) |
| | | 残存高 | 13.2 | 裏部中位: 横位ナナ・横位ハケ後横位ナナ、その下に横位ナナ後横位ハケ 口縁部-扉部上段: 横位ナナ 裏部中位: ケズリ | 外層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 315 | 装 | 口縁部径 (復元) | 17 | 口縁部: 横位ナナ | 黒色、石灰、白色粒子、褐色粒子 | |
| | | 残存高 | 11.2 | 裏部-扉部: 横位ハケ後ナナ 裏部: ケズリ | 灰青褐色 (Hae10YR4/2) を基調にまだらに明黄褐色 内層: 褐色 (Hae10YR4/1) | |
| 316 | 装 | 口縁部径 (復元) | 17 | 口縁部: 横位ハケ後横位ナナ | 金雲母、白色粒子、赤色粒子 | |
| | | 残存高 | 11.8 | 横位ハケ後部分削りナナ削り後上から斜位ハケ 内面 口縁部: 横位ハケ後横位ナナ 裏部: 横位ケズリ横位ナナ 裏部ケズリ | 外層: 褐色 (Hae10YR6/4) 内層: にぶい黄褐色 (Hae10YR7/2) | |
| 317 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16 | 口縁部: ナナ | 金雲母、白色粒子、赤色粒子、黒色粒子 | |
| | | 残存高 | 10.1 | 口縁部: ナナ 裏部: ケズリ後丁寧なナナとナナ削し | 灰青褐色 (Hae7.5YR6/6) | |
| 318 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16.6 | 口縁部: 横位ナナ | 金雲母、白色粒子、褐色粒子、雪母粒子 | にぶい黄褐色 (Hae10YR7/4) |
| | | 残存高 | 9.5 | 横位ナナ後横位ハケ後上から部分的に斜位ハケ 内面 口縁部: 横位ナナ 裏部上段: 指張り直 裏部下段: ケズリ | 外層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 319 | 装 | 口縁部径 (復元) | 15.4 | 口縁部: 横位ナナ | 金雲母、黒色粒子、白色粒子、角閃石 | |
| | | 残存高 | 10 | 裏部: 横位ハケ、その下に斜位ハケ 内面 口縁部: 横位ナナ 裏部: 斜位ケズリ | にぶい黄褐色 (Hae10YR7/2) | |
| 320 | 装 | 口縁部径 (復元) | 17 | 口縁部: 横位ナナ | 角閃石、白色粒子、雪母粒子、金雲母 | |
| | | 残存高 | 9.3 | 裏部: 横位ハケ後横位ハケ ナナ後指張り直、下方ケズリ | にぶい黄褐色 (Hae10YR7/4) | |
| 321 | 装 | 口縁部径 (復元) | 18 | 口縁部-扉部: 横位ナナ | 金雲母、石灰、角閃石、白色粒子 | |
| | | 残存高 | 7.8 | 裏部: 横位ハケ後横位ナナ 内面 口縁部: 横位ナナ 裏部: ケズリ | 黄褐色 (Hae10YR8/4) | |
| 322 | 装 | 口縁部径 (復元) | 16 | 横位ナナ | 白色粒子、金雲母、石灰、黒色粒子 | |
| | | 残存高 | 10.1 | 口縁部: 横位ナナ 裏部: ケズリ | 褐色 (Hae5YR6/6) | |
| 323 | 装 | 口縁部径 (復元) | 10.2 | 口縁部: 横位ナナ | 角閃石、黒褐色粒子、赤色粒子、白色粒子 | |
| | | 残存高 | 15 | 裏部: 横位ナナ後横位ハケ、横位ナナ 内面 口縁部: 横位ナナ 裏部: 指張り直 裏部: ケズリ後ナナ 裏部: 指張り直 | 外層: 黄褐色 (Hae10YR6/3)、黒褐色 内層: にぶい黄褐色 (Hae10YR7/3) | |
| 324 | 装 | 口縁部径 (復元) | 19 | 口縁部: 横位ハケ後横位ナナ | 角閃石、石灰、黒色粒子、その他粒子 | にぶい褐色 (Hae7.5YR7/3) |
| | | 残存高 | 7 | 裏部: 横位ナナ 内面 口縁部: 横位ナナ後指張り直 裏部: ケズリ | 外層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 325 | 装 | 口縁部径 (復元) | 17 | 口縁部: 横位ハケ後丁寧な横位ナナ | 金雲母、角閃石、雪母粒子、石灰、白色粒子 | 灰青褐色 (Hae10YR6/3) |
| | | 残存高 | 7.4 | 裏部: 横位ナナ 内面 口縁部: 横位ハケ後丁寧な横位ナナ 裏部: 指張り直 裏部下段: ケズリ | 外層: 褐色 (Hae10YR6/4) | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 器名 | 種別 | 径長 (cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|----------------|----------|---------|---|--|
| 326 | 甕 | 口縁部径(復元) | 17 外側 | 口縁部: 横位ナデ | 角閃石、石英、白色粒子、雲母粒子 灰黄褐色 (Hae10YR8/3) |
| | | 残存高 | 61 内側 | 口縁部: 横位ナデ 胴部: ケズリ | |
| 327 | 甕 | 口縁部径 | 17.4 外側 | 口縁部: 横位ハタ後横位ナデ | 金雲母、角閃石、雲母粒子 灰白色 (Hae10YR8/2) |
| | | 残存高 | 63 内側 | 口縁部: 横位ハタ後横位ナデ 胴部: 指節状 胴部: ケズリ | |
| 328 | 甕 | 口縁部径(復元) | 16.2 外側 | 口縁部: 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、赤色粒子 灰白色 (Hae10YR7/4) |
| | | 残存高 | 69 内側 | 横位ナデ後横位ハタ 口縁部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ | |
| 329 | 甕 | 口縁部径(復元) | 17 外側 | 口縁部: 横位ナデ | 角閃石、石英、雲母粒子、白色粒子 外側: 灰黄色 (Hae2.5YR6/2) 内側: 黄灰色 (Hae2.5YR4/4) |
| | | 残存高 | 51 内側 | 胴部: ナデ 口縁部: 横位ナデ 胴部: ケズリ | |
| 330 | 甕 | 口縁部径(復元) | 17.2 外側 | 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、灰色粒子、赤色粒子 灰黄褐色 (Hae10YR8/4) |
| | | 残存高 | 67 内側 | 口縁部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ | |
| 331 | 甕 | 口縁部径(復元) | 17 外側 | 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子 灰白色 (Hae10YR7/4) |
| | | 残存高 | 43 内側 | 横位ナデ | |
| 332 | 甕 | 口縁部径(復元) | 16 外側 | 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色 (Hae10YR8/4) |
| | | 残存高 | 33 内側 | 横位ナデ | |
| 333 | 甕 | 口縁部径(復元) | 14 外側 | 横位ナデ | 金雲母、白色粒子、赤色粒子、雲母粒子 外側: 灰黄色 (Hae10YR8/4) 内側: 灰黄色 (Hae2.5Y6/2) |
| | | 残存高 | 83 内側 | 横位ナデ、指節状 | |
| 334 | 甕 | 口縁部径(復元) | 15.4 外側 | 1/4等分横位ナデ | 金雲母、白色粒子、灰色粒子、雲母粒子 灰黄褐色 (Hae7.5YR8/4) |
| | | 残存高 | 85 内側 | 口縁部: 1/4等分横位ナデ 胴部: ケズリ | |
| 335 | 甕 | 口縁部径(復元) | 16 外側 | 口縁部: 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、角閃石、白色粒子、赤色粒子 外側: 灰黄褐色 (Hae10YR8/2) 内側: 灰白色 (Hae10YR7/3) |
| | | 残存高 | 64 内側 | 横位ナデ 口縁部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ | |
| 336 | 甕 | 口縁部径(復元) | 16.2 外側 | 横位ナデ | 金雲母、白色粒子 外側: 灰黄褐色 (Hae10YR8/2) 内側: 灰白色 (Hae7.5YR6/4) |
| | | 残存高 | 69 内側 | 口縁部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ | |
| 337 | 甕 | 口縁部径(復元) | 15.4 外側 | 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、灰色粒子、赤色粒子 灰白色 (Hae7.5YR7/4) |
| | | 残存高 | 68 内側 | 横位ナデ | |
| 338 | 甕 | 口縁部径(復元) | 15.8 外側 | 口縁部: 横位ハタ後ナデ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 浅黄褐色 (Hae10YR8/3) |
| | | 残存高 | 75 内側 | 胴位ハタ後上部ナデ面なし 口縁部: 横位ハタ後ナデ 胴部: ケズリ | |
| 339 | 甕 | 口縁部径(復元) | 15 外側 | 横位ナデ | 金雲母、角閃石、石英、白色粒子 浅黄褐色 (Hae10YR8/4) |
| | | 残存高 | 33 内側 | 胴部: ケズリ | |
| 340 | 甕 | 口縁部径(復元) | 17 外側 | 口縁部: 横位ハタ後横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子、石英 浅黄褐色 (Hae10YR7/3) |
| | | 残存高 | 45 内側 | 胴部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ 胴部: 横位ナデ | |
| 341 | 二重口縁甕 (畿内系) | 口縁部径(復元) | 23.9 外側 | 1次口縁: 横位ナデ | 金雲母、雲母粒子、白色粒子 灰白色 (Hae10YR7/3) |
| | | 器高 | 34.2 | 2次口縁: 斜位ハタ、段部分に横線をイメージした飾り、その上に波状文 | |
| | | 胴部最大径 | 30.1 | 胴部: 横位ハタ後横位ナデ 胴部上の横線部分: 斜位雲母文 胴部上段: 横位ナデ後横位文を意味した雲母文、その下に波状文 胴部中段~下段: 横位ナデ後斜位ハタ 口縁部一部部: 横位ナデ 横位ナデ後ハタ | |
| 342 | 二重口縁甕 (畿内系) | 口縁部径(復元) | 18.8 外側 | 口縁部: ケズリ後横位ナデ | 白色粒子、雲母粒子、金雲母 外側: 褐色 (Hae2.5YR7/6)、胴部は灰色 内側: 灰黄色 (Hae2.5YR6/2) |
| | | 残存高 | 33.6 | 胴部: ケズリ後中央横位ナデ | |
| | | 胴部最大径 | 30.3 | 口縁部上部部部部合弁: 横位ナデ 胴部: 斜位ハタ後横位ナデ 胴部: 斜位ハタ後横位ナデ、きれいにナデなし 全体にミヤギ | |
| 343 | 二重口縁甕 (山形系) | 口縁部径 | 16.5 外側 | 口縁部: 横位ナデ | 石英、角閃石、雲母片、小礫、白色粒子、赤色粒子 内側: 浅黄褐色 (Hae7.5YR6/6)、灰色 (Hae2.5YR6/4)、 褐色 (Hae10YR7/4) |
| | | 器高 | 37.3 | 胴部一部部: 横位ナデ | |
| | | 底部径 | 5.1 | 胴部: 横位ハタ 胴部最大径付近: 斜位ハタ 胴部中位: 横位ハタ 口縁部一部部: 横位ナデ 底面から胴部に向かって半時計回りに横位ハタ | |
| 344 | 二重口縁甕 (山形系) | 口縁部径 | 14 外側 | 口縁部一部部: 横位ナデ | 雲母、角閃石 外側: 灰黄色 (Hae2.5YR6/4) ~ 褐色 (Hae10YR2/1) 内側: 灰黄色 (Hae2.5YR6/3) |
| | | 残存高 | 29.5 | 胴部一部部: 横位ナデ 胴部中位: タタキ? 口縁部一部部: 横位ナデ 胴部最大径付近: 雲母片 | |
| 345 | 二重口縁甕 | 残存高 | 26.6 外側 | 胴部上段: ベロミゼキ | 雲母粒子 灰色 (Hae3YR6/6) |
| | | 胴部最大径 | 25.4 内側 | 胴部中位: タタキ? 胴部下段: 横位ハタ後横位ナデ | |
| 345 | 甕 | 底部径 | 3.7 外側 | 胴部: 横位ハタ | 口縁部は人海前に 欠けたせいで6の か? |
| | | 残存高 | 37 内側 | 胴部: 横位ハタ 胴部: 横位ハタ | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 図番号 | 種類 | 寸法 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色澤 | 備考 |
|-----|-----|-----------|--|--|--|
| 112 | 広口壺 | 口縁部径 | 13 外面 口縁部: 縦位ハケ後縦位ナゲ | 白色粒子、角閃片、石灰 浅黄褐色 (Ihae75YR8/2) | |
| | | 器高 | 28.5 内部 口縁部: 横位ナゲ | | |
| | | 胴部最大径 | 22.1 外面 口縁部: 横位ナゲ 胴部上位: 強い縦位ハケ 胴部下位: 縦位ハケ 底部: ケズリ後微収正痕 | | |
| 366 | 広口壺 | 口縁部径 | 17 外面 口縁部: 縦位ナゲ | 金雲母、角閃石、雲母粒子、灰色粒子、白 色粒子 浅黄褐色 (Ihae75YR8/4) | 胴部に黒褐色 |
| | | 器高 | 36.1 内部 胴部→胴部下位: 横位ナゲ | | |
| 113 | 広口壺 | 口縁部径 | 16.1 外面 口縁部: 縦位ナゲ | 金雲母、角閃石、雲母粒子、灰色粒子、白 色粒子 浅黄褐色 (Ihae75YR8/4) | 胴部に黒褐色 |
| | | 器高 | 28.3 内部 胴部小位: 横位ハケ・横位ナゲ 胴部下位: 縦位ナゲ | | |
| 367 | 広口壺 | 口縁部径 | 14.8 外面 口縁部: 横位ナゲ | 緑、黄雲母片、赤色粒子 赤土: 紫色 (Ihae5YR6/3)、黒褐色 (Ihae2.5Y3/1) 内面: 紫色 (Ihae2YR6/3)、灰黄褐色 (Ihae10YR8/2) | 器面劣化 |
| | | 器高 | 35.1 内部 胴部下位: 底部から口縁部方向にハケ 口縁部: 横位ナゲ 底部: 器面凹痕 | | |
| 308 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 22 外面 口縁部: 横位ナゲ後縦位ハケ | 赤雲母、角閃石、雲母粒子、白色粒子、灰色粒子、石 灰 浅黄褐色 (Ihae10YR8/4) | |
| | | 残存高 | 13.3 内部 胴部上位: 横位ハケ後縦位ハケ、その下に 斜位ハケ 底部: 横位ハケ後縦位ハケ、その下に斜位 ハケ | | |
| 369 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 22 外面 口縁部: 横位ナゲ | 赤雲母、角閃石、雲母粒子、白色粒子、灰色粒子、石 灰 浅黄褐色 (Ihae10YR8/4) | |
| | | 残存高 | 13.3 内部 口縁部: 横位ナゲ 胴部下位: 縦位ハケ、その下に横位ハケ、微収 正痕 | | |
| 370 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 26 外面 口縁部: 斜位ハケ下位単な横位ナゲ | 石英、角閃石、雲母片、白色粒子、赤色粒子 内面: にぶい黄褐色 (Ihae10YR6/4~7/4)、明黄褐色 (Ihae10YR7/6) | 内面に鉄分付着 |
| | | 残存高 | 11.1 内部 口縁部: 強いケズリ 胴部: 縦位ナゲ 底部: 斜位ハケ 胴部上位: 斜位ハケ | | |
| 371 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 26 外面 口縁部: 斜位ハケ下位単な横位ナゲ | 石英、角閃石、雲母片、白色粒子、赤色粒子 内面: にぶい黄褐色 (Ihae10YR6/4)、明黄褐色 (Ihae10YR7/6)、にぶい黄褐色 (Ihae10YR7/4) | 内面に鉄分付着 |
| | | 残存高 | 11.1 内部 口縁部: 強いケズリ 胴部: 縦位ナゲ 底部: 斜位ハケ 胴部上位: 斜位ハケ後外反している部 分の横位ナゲ 口縁部と胴部接合後粒子ナゲやハラ | | |
| 372 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 17 外面 横位ハケ、ナゲ | 石英、金雲母、白色粒子、赤色粒子、雲母粒子 灰色 (Ihae75YR7/6) | 器底 |
| | | 残存高 | 7.4 内部 縦位ナゲ、ケズリ | | |
| 373 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 14 外面 口縁部: 横位ナゲ、微収正痕 | 角閃石、雲母粒子、白色粒子 にぶい黄褐色 (Ihae10YR6/4) | |
| | | 残存高 | 6.1 内部 胴部: 横位ナゲ | | |
| 374 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 19 外面 口縁部: 横位ナゲ | 金雲母、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子 内面: にぶい紫色 (Ihae75YR6/4) 内面: 灰黄色 (Ihae2.5Y6/2) | |
| | | 残存高 | 6.2 内部 口縁部→胴部: 横位ナゲ 胴部: 横位ナゲ | | |
| 375 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 14 外面 口縁部: 斜位ハケ | 角閃石、金雲母、白色粒子、雲母粒子 外面: 紫色 (Ihae75YR7/6) 内面: 紫色 (Ihae2.5Y6/6) | 金雲母微塵着 |
| | | 残存高 | 8.5 内部 胴部: 横位ナゲ | | |
| 376 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 16.4 外面 口縁部: 横位ナゲ | 角閃石、雲母粒子、白色粒子 黄褐色 (Ihae10YR8/6) | 器底 |
| | | 残存高 | 4.6 内部 胴部: 横位ナゲ | | |
| 377 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 12 外面 横位ナゲ | 角閃石、赤色粒子、石英 浅黄褐色 (Ihae75YR8/6) | |
| | | 残存高 | 4.3 内部 横位ナゲ | | |
| 378 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 16 外面 口縁部: 横位ナゲ | 金雲母、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子 内面: にぶい紫色 (Ihae75YR6/4)、黄褐色 (Ihae10YR7/2) | |
| | | 残存高 | 5.5 内部 口縁部: 横位ナゲ後横位ナゲ 胴部: 縦位ハケ後横位ナゲ 胴部: 縦位ハケ後横位ナゲ 口縁部→胴部: 横位ナゲ 胴部: ハケケズリ | | |
| 379 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 16 外面 口縁部: 横位ハケ後縦位ナゲ | 角閃石、金雲母、石英、雲母粒子 浅黄褐色 (Ihae10YR8/3) | |
| | | 残存高 | 3.1 内部 胴部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 胴部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 胴部: 横位ナゲ | | |
| 380 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 15.6 外面 胴部: 縦位ナゲ後縦位ハケ | 角閃石、白色粒子、雲母粒子 灰黄色 (Ihae2.5Y7/2) 外縁胴部中央位・内面底部が強く焼けている | |
| | | 残存高 | 4 内部 底部: ケズリ後ナゲ | | |
| 381 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 21.8 外面 横位ナゲ後胴部中央付近に斜位ハケ | 石英、雲母片、角閃石、赤色粒子 外面: にぶい黄褐色 (Ihae10YR7/4)、黄褐色 (Ihae2YR7/6)、褐色 (Ihae75YR6/6)、紫褐色 (Ihae10R3/4/1) | 内面: 紫色 (Ihae75YR7/6)、灰黄褐色 (Ihae10YR4/2) |
| | | 残存高 | 8.2 内部 胴部中央位: 斜位ハケ後微収正痕 底部: くの字状のケズリ | | |
| 382 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 8.7 外面 胴部: 斜位ハケ後横位ナゲ | 内面: 洗黄褐色 (Ihae10YR6/4)、紫色 (Ihae5YR7/6)、 紫褐色 (Ihae2.5YR5/3)、黒褐色 (Ihae10YR3/1) | |
| | | 残存高 | 27.1 内部 胴部: 横位ナゲ後ナゲ | | |
| 383 | 広口壺 | 口縁部径 (復元) | 28.4 外面 胴部: 斜位ハケ | 石英、角閃石、雲母片、白色粒子、赤色粒子 外面: 紫色 (Ihae7YR7/8)、明黄褐色 (Ihae10YR7/6)、 浅黄褐色 (Ihae2.5Y7/4)、紫色 (Ihae2.5Y2/1) | 内面: にぶい黄褐色 (Ihae10YR7/4)、灰黄褐色 (Ihae10YR5/2)、黄褐色 (Ihae75YR4/2) |
| | | 残存高 | 30.2 内部 ハケ後ナゲ消し | | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種別 | 容量 (cm) | 形状的特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|-------------|---------|---------|--|---|-----------------------------|
| 384 | 長原山 (副塚) | 残存高 | 147 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 底部：横位ナザ 側部：不定方向のケズリ | 石灰、角閃石、白色粒子、赤色粒子 内面：褐色 (Hae5YR7-6) 内面：褐色 (Hae5YR6-8) | |
| | | | 102 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、黒色粒子 浅黄褐色 (Hae5YR8-6) | |
| 385 | 横 | 口縁部後残存高 | 112 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、黒色粒子 浅黄褐色 (Hae5YR8-6) | |
| | | | 136 | 外面 丁字帯横位ハケ・横位ナザ、部分的に斜位ハケ、ナザ消し 内面 丁字帯横位ハケ・横位ナザ、部分的に斜位ハケ | 赤色粒子、角閃石、石灰、黒色粒子、白色粒子 褐色 (Hae2.5YR5-6) | |
| 386 | 長原山 (主塚) | 残存高 | 93 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、角閃石、石灰、黒色粒子、白色粒子 褐色 (Hae2.5YR5-6) | |
| | | | 98 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、褐色粒子、角閃石、金雲母 褐色 (Hae7.5YR5-6) | |
| 387 | 長原山 (副塚) | 残存高 | 137 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、角閃石、石灰、黒色粒子、白色粒子 褐色 (Hae2.5YR5-6) | |
| | | | 14 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、角閃石、石灰、黒色粒子、白色粒子 褐色 (Hae2.5YR5-6) | |
| 388 | 二重口縁環 (口縁部) | 残存高 | 12 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、石灰 灰白色 (Hae10YR8-2) | |
| | | | 104 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子、白色粒子、金雲母 浅黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| 389 | 長原山 (副塚) | 残存高 | 14 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子、白色粒子、金雲母 浅黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| | | | 56 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子 にぶい褐色 (Hae7.5YR6-4)、外縁部黒褐色 | |
| 390 | 小原山 | 残存高 | 82 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、石灰、赤色粒子 浅黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| | | | 84 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、石灰、赤色粒子 浅黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| 391 | 小原山 | 残存高 | 85 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、石灰、赤色粒子 浅黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| | | | 112 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 白色粒子、石灰、角閃石、赤色粒子 外面：褐色 (Hae5YR7-6)、部分的に黄褐色 (Hae2.5Y3-1) 内面：黄褐色 (Hae2.5Y3-1) | 底部に外面から成 成後の2つの孔 形成可能 |
| 392 | 小原山 | 残存高 | 109 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 白色粒子、石灰、角閃石、赤色粒子 外面：褐色 (Hae5YR7-6)、部分的に黄褐色 (Hae2.5Y3-1) 内面：黄褐色 (Hae2.5Y3-1) | 底部に外面から成 成後の2つの孔 形成可能 |
| | | | 176 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、赤色粒子、石灰、白色粒子 浅黄褐色 (Hae7.5YR8-4) | |
| 393 | 小原山 | 残存高 | 111 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、赤色粒子、石灰、白色粒子 浅黄褐色 (Hae7.5YR8-4) | |
| | | | 138 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、赤色粒子、灰色粒子 褐色 (Hae7.5YR6-6) | 外縁部横位部 から器蓋部分 口縁部打ち欠き |
| 394 | 小原山 | 残存高 | 88 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、白色粒子、赤色粒子、灰色粒子 褐色 (Hae7.5YR6-6) | |
| | | | 133 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、白色粒子、角閃石、雲母粒子 にぶい褐色 (Hae7.5YR7-4) | |
| 395 | 小原山 | 残存高 | 8 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、白色粒子、角閃石、雲母粒子 にぶい褐色 (Hae7.5YR7-4) | |
| | | | 14 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 赤色粒子、白色粒子、角閃石、雲母粒子 にぶい褐色 (Hae7.5YR7-4) | |
| 396 | 小原山 | 残存高 | 12 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 白色粒子、雲母粒子 褐色 (Hae5YR6-6) | |
| | | | 63 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 白色粒子、雲母粒子 褐色 (Hae5YR6-6) | |
| 397 | 小原山 | 残存高 | 93 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、雲母粒子、白色粒子、石灰 外側：褐色 (Hae5YR6-6) 内面：黄褐色 (Hae10YR4-1) | |
| | | | 71 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰 灰白色 (Hae10YR8-1・8/2) | |
| 398 | 小原山 | 残存高 | 49 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 灰白色 (Hae10YR8-1・8/2) | |
| | | | 71 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰 灰白色 (Hae10YR8-1・8/2) | |
| 399 | 小原山 | 残存高 | 12 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 雲母粒子、角閃石、白色粒子 灰白色 (Hae10YR8-2)、部分的に褐色 (Hae5YR6-6) | 器蓋のみ |
| | | | 5 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 雲母粒子、白色粒子 外面：褐色 (Hae5YR6-6) 内面：褐色 (Hae5YR6-6) | |
| 400 | 小原山 | 残存高 | 99 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：黄褐色 (Hae5YR6-6) | |
| | | | 42 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：灰白色 (Hae10YR8-2) | |
| 401 | 小原山 | 残存高 | 72 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：黄褐色 (Hae5YR6-6) | |
| | | | 31 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：灰白色 (Hae10YR8-2) | |
| 402 | 小原山 | 残存高 | 27 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：灰白色 (Hae10YR8-2) | |
| | | | 8 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：灰白色 (Hae10YR8-2) | |
| 403 | 小原山 | 残存高 | 27 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい黄褐色 (Hae10YR7-4) 内面：灰白色 (Hae10YR8-2) | 中央が若干くぼん た丸底 |
| | | | 8 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、雲母粒子、白色粒子 外面：にぶい褐色 (Hae7.5YR5-4) 内面：褐色 (Hae7.5YR7-6) | 内面に粘土をまね た様な肌 |
| 404 | 小原山 | 残存高 | 36 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、雲母粒子、白色粒子 外面：にぶい褐色 (Hae7.5YR5-4) 内面：褐色 (Hae7.5YR7-6) | 内面に粘土をまね た様な肌 |
| | | | 74 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい褐色 (Hae7.5YR5-4) 内面：黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| 405 | 小原山 | 残存高 | 42 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい褐色 (Hae7.5YR5-4) 内面：黄褐色 (Hae5YR8-3) | |
| | | | 74 | 外面 口縁部：横位ナザ 胴部：横位ナザ 内面 口縁部：横位ナザ 側部：ケズリ後ナザ | 角閃石、石灰、雲母粒子 外面：にぶい褐色 (Hae7.5YR5-4) 内面：黄褐色 (Hae5YR8-3) | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 番号 | 種別 | 法長 (cm) | 技法の特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|--------------|------------------|---|--|---------------------------|
| 406 | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 35 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ後指張正直 内面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ後横位ナテ | 角閃石、白色粒子、金黃帯 にふいっ褐色 (Hae75Y87/4) | |
| | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 7 外面 口縁部付近: 横位ナテ、指張正直 縦位ナテ 4 内面 口縁部付近: 横位ナテ、指張正直、ケズリ 縦位ナテ | 角閃石、黒母粒子、石英 灰白色 (Hae10YR8/2) | |
| 408 | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 74 外面 口縁部付近: 横位ナテ後指張正直 縦位ナテ 43 内面 口縁部: 横位ナテ後指張正直 縦位ナテ | 角閃石、石英、白色粒子、赤色粒子 にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/4) | |
| | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 66 外面 口縁部: 横位ナテ後指張正直 縦位ナテ 38 内面 口縁部付近: 横位ナテ、指張正直、ケズリ 底面: ケズリ 口縁部: 横位ナテ後指張正直 縦位ナテ | 角閃石、石英、白色粒子 外側: 褐色 (Hae5YR5-6) 内側: 灰白色 (Hae10YR8/2) | |
| 410 | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 68 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ、指張正直 39 内面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ、指張正直 | 角閃石、石英、白色粒子 にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/4) | |
| | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 6 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ 29 内面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ | 白色粒子、黒母粒子、角閃石 にふいっ褐色 (Hae75YR6/4) | 411-413-413aに 入れ子状態で出土 |
| 412 | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 62 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ 36 内面 口縁部: 横位ナテ後ハケケズリ 底面: ケズリ 口縁部: 横位ナテ後ハケケズリ 縦位ナテ | 白色粒子、角閃石 にふいっ褐色 (Hae10YR6/4) | |
| | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 72 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ 43 内面 口縁部: 横位ナテ、指張正直 縦位ナテ、ハケケズリ 底面: ケズリ | 角閃石、白色粒子、黒母粒子 にふいっ褐色 (Hae75YR6/4) | |
| 414 | 小皿浅鉢 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 74 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ナテ、指張正直 41 内面 口縁部: 横位ナテ ハケケズリ 底面: ハケケズリ | 角閃石、黒母粒子、白色粒子 外側: 赤褐色 (Hae10YR3/1) 内側: にふいっ褐色 (Hae5YR5/3) | |
| | 手捏土器 | 口縁部径 器高 | 10 外面 縦位ナテ、横位ナテ後指張正直 31 内面 縦位ナテ、横位ナテ後指張正直 | 角閃石、白色粒子、黒母粒子 外側: 灰白色 (Hae10YR8/2) 内側: 褐色 (Hae75YR7/6) | |
| 416 | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 11.6 外面 ナテ 5.4 内面 ナテ | 黒母粒子、赤色粒子、白色粒子 外側: 黄褐色 (Hae10YR8/3) 内側: 黄褐色 (Hae10YR8/4) | |
| | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 11.7 外面 太いハケで不定方向ハケ 4.6 内面 濃いハケ | 角閃石、石英、赤色粒子、白色粒子 にふいっ褐色 (Hae75YR7/4) | 口縁部打丸欠き |
| 418 | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 9.6 外面 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ 縦位ナテ、横位ナテ後指張正直 4.7 内面 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、白色粒子、石英、赤色粒子 外側: 黄褐色 (Hae10YR8/3) 内側: 褐色 (Hae75YR7/6) | 底面打丸 |
| | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 8.6 外面 横位ナテ 3.2 内面 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、石英、その他粒子 黄褐色 (Hae10YR8/3) | |
| 420 | 鉢 | 口縁部径 (底元) 器高 | 19 外面 底面: ケズリ、横位ナテ、指張正直 5.1 内面 横位ナテ 底面: 指張正直 | 角閃石、白色粒子、黒母粒子 にふいっ褐色 (Hae75YR6/4) | 底面に接合痕 |
| | 鉢 | 口縁部径 器高 | 13.8 外面 縦位ナテ、横位ナテ 4.5 内面 縦位ナテ後ケズリ、横位ナテ、指張正直 | 角閃石、石英、黒母粒子、白色粒子、赤色粒子 外側: 黄褐色 (Hae10YR8/3) 内側: 褐色 (Hae75YR7/6) | |
| 422 | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 6.6 外面 縦位ナテ、横位ナテ 3.7 内面 縦位ナテ、横位ナテ後ケズリ | 角閃石、石英、赤色粒子、金黃帯 黄褐色 (Hae10YR8/4)、口縁部は黄褐色 (Hae75YR6/6) | |
| | 鉢 (底割) | 残存高 底面径 | 3 外面 高台部: ナテで胎付け 3 内面 ハケケズリ | 角閃石、黒母粒子、石英、白色粒子 にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/2) | |
| 424 | 浅鉢 | 口縁部径 (底元) 器高 | 16 外面 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ 5.9 内面 斜位ハケケズリ 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ ハケケズリ後横位ナテ | 角閃石、石英、赤色粒子 にふいっ褐色 (Hae75YR7/4) | |
| | 浅鉢 | 口縁部径 (底元) 残存高 | 39 外面 横位ハテ後横位ナテ、ミゴキ 残存高 14 内面 横位ハテ後横位ナテ、ミゴキ | 白色粒子、黒母粒子、白色粒子 外側: にふいっ黄褐色 (Hae10YR8/4) 内側: にふいっ黄褐色 (Hae10YR6/4) | |
| 426 | 鉢 | 口縁部径 器高 | 13.5 外面 口縁部: 横位ナテ ケズリ部分的にナテ 口縁部: 横位ナテ 横位、縦位ナテ | 角閃石、黒母粒子、白色粒子 にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/3) | 口縁部打丸欠き |
| | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 13 外面 口縁部: 横位ナテ 縦位ハテ後横位ナテ 17 内面 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、石英、白色粒子、褐色粒子 にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/4) | |
| 428 | 浅鉢 | 口縁部径 (底元) 残存高 | 12 外面 縦位ハテ後横位ナテ 4.7 内面 横位ハテ後横位ナテ | 角閃石、石英、黒母粒子、白色粒子、赤色粒子 外側: にふいっ褐色 (Hae75YR7/4) 内側: 黄褐色 (Hae75YR8/4) | |
| | 浅鉢 | 口縁部径 (底元) 器高 | 12 外面 口縁部: 1等な横位ナテ 斜位ハケケズリ 5.2 内面 口縁部: 丁字な横位ナテ 横位、斜位ハテ 底面: くもりの縦位のケズリ | 角閃石、黒母粒子、白色粒子、石英 外側: にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/4) 内側: 灰白色 (Hae10YR8/2) | |
| 430 | 浅鉢 | 口縁部径 器高 | 122 外面 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ 29 内面 口縁部: 横位ハテ後横位ナテ後横位ナテ、 ミゴキ | 角閃石、黒母粒子、白色粒子、石英 外側: にふいっ黄褐色 (Hae10YR7/4) 内側: 灰白色 (Hae10YR8/2) | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 器番号 | 種類 | 造形 (cm) | 注目の特徴 | 胎土/色調 | 備考 |
|-----|-----------|----------|--|---|-------------------|
| 431 | 浅鉢 | 口縁部径(復元) | 12 外面 上段: 縦穴ハケ後横穴ナデ | 角閃石、石英、白色粒子 内層: にんじ黄褐色(Hae10YR7/4) 内面: 灰白色(Hae10YR8/2) | |
| | | 残存高 | 4.4 下段: 縦穴ハケ後横穴ナデ ケズリ後横穴ナデ | | |
| 432 | 浅鉢 | 口縁部径(復元) | 10 外面 L口縁部: ケズリ | 角閃石、石英、黄褐色 外面: 暗灰色(HaeN3/0) 内面: 灰白色(Hae10YR8/2) | |
| | | 残存高 | 3.4 ケズリ: 縦穴ハケ後横穴ナデ 内面: 横穴ナデ | | |
| 433 | 鉢台(脚台部) | 口縁部径(復元) | 16.2 外面 斜穴ハケ後4輪のヘリ縦線文 | 角閃石、白色粒子、灰色粒子、黄褐色 棕色(Hae5YR6/6) | 4つのバラ状の溝かし |
| | | 残存高 | 9.1 内面 斜穴ハケ後ナデ | | |
| 434 | 鉢台(脚台部) | 胴部径(復元) | 19.6 外面 丁字ノコギリナデ、ヘラ掻き痕文 | 黄褐色(Hae10YR8/4) | 4つのバラの後溝かしをケズリで |
| | | 残存高 | 7.4 内面 斜穴ハケ後横穴ナデ | | |
| 435 | 小型鉢台 | 口縁部径 | 18.0 外面 受け部: 横穴ナデ | 角閃石、白色粒子、黄褐色 棕色(Hae5YR6/6) | 胴部1/4の穿孔 |
| | | 残存高 | 6.5 胴部: 縦穴ナデ 台座部付込: 横穴ナデ 受け部: 横穴ナデ 胴部: 縦穴ナデ 台座部付込: 横穴ナデ | | |
| 436 | 小型鉢台 | 口縁部径 | 10.6 外面 縦穴、斜穴ナデ | 黄褐色、白色粒子、赤色粒子 棕色(Hae5YR7/8) | |
| | | 残存高 | 9.3 内面 環部: 横穴ナデ | | |
| 437 | 小型鉢台(脚台部) | 台座部径 | 10.2 胴部: ケズリ後ナデ | 角閃石、黄褐色、石英、白色粒子、灰色粒子 褐色(Hae5YR6/6) | 3つの穿孔 |
| | | 残存高 | 6 外面 横穴ハケ後横穴ナデ、上から強めの縦穴ナデ 縦穴ケズリ、孔から下は縦穴ナデ | | |
| 438 | 小型鉢台(脚台部) | 台座部径 | 11 外面 横穴ナデ後ナデ、縦穴ハケ | 白色粒子、黄褐色 棕色(Hae5YR6/6) | 4つの穿孔 |
| | | 残存高 | 6.6 内面 孔から上は横穴ケズリ、不定方向のハケ | | |
| 439 | 小型鉢台(脚台部) | 台座部径 | 13 外面 ナデ | 白色粒子、赤色粒子 棕色(Hae5YR6/6) | 3つの穿孔 胴部と胴縁部ナデ |
| | | 残存高 | 7.8 内面 ナデ | | |
| 440 | 高杯 | 口縁部径(復元) | 24 外面 環部: 縦穴ハケ後横穴ナデ | 角閃石、石英、灰色粒子、赤色粒子 浅黄褐色(Hae10YR8/4) | |
| | | 残存高 | 16.5 胴部: 縦穴ハケ後横穴ナデ | | |
| | | 台座部径 | 14.8 胴部: 縦穴ハケ後横穴ナデ 環部: 縦穴ハケ後横穴ナデ 環部付込: ケズリ後ナデ 胴部: 縦穴ナデ後横穴ナデ | | |
| 441 | 高杯 | 口縁部径 | 17 外面 環部: 縦穴ハケ後横穴ナデ後部分的に放射状ケズリ・ミガキ | 角閃石、赤色粒子、黄褐色、白色粒子 褐色(Hae5YR6/6) | 4つの穿孔 |
| | | 残存高 | 10.7 胴部: 縦穴ハケ後横穴ナデ | | |
| | | 台座部径 | 11.6 胴部: 環部を横穴ナデ、穿孔周辺は横穴ナデ後横穴ハケ 内面 環部: 縦穴ハケ後横穴ナデ後部分的に放射状ケズリ・ミガキ 胴部: ケズリ後横穴ナデ | | |
| 442 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 20 外面 L口縁部: 縦穴ハケ後横穴ナデ | 角閃石、石英、黄褐色、赤色粒子、白色粒子 褐色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 6.3 内面 環部: 横穴ナデ 横穴ナデ | | |
| 443 | 高杯(環部) | 径部分径(復元) | 16 外面 横穴ハケ・横穴ナデ | 角閃石、石英、白色粒子 外層: 浅黄褐色(Hae10YR8/4) 内面: 褐色(Hae5YR7/6) | |
| | | 残存高 | 4 内面 横穴ハケ・横穴ナデ | | |
| 444 | 高杯(環部) | 径部分径(復元) | 19 外面 横穴ナデ、横穴ハケ後斜穴ハケ、上からケズリ後ミガキをて環文 | 白色粒子、赤色粒子 褐色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 2.1 内面 横穴ナデ、若干ミガキ | | |
| 445 | 高杯(環部) | 径部分径(復元) | 13 外面 上段→中段: 縦穴ハケ後横穴ナデ | 角閃石、石英、白色粒子、褐色粒子 外層: 浅黄褐色(Hae10YR8/4) 内層: 黄褐色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 5.4 径部→下段: 斜穴ハケ 内面 径部→上段: 斜穴ハケ後横穴ナデ 径部→下段: 斜穴ハケ後ナデ | | |
| 446 | 高杯(環部) | 径部分径(復元) | 16 外面 斜穴ハケ後ナデ | 角閃石、黄褐色、白色粒子、石英 外層: にんじ黄褐色(Hae10YR7/3) 内面: 灰黄色(Hae5YR7/2) | |
| | | 残存高 | 4.2 外面 上段: 斜穴ハケ後ナデ 中段: 横穴ハケ後横穴ナデ 下段: 横穴ハケ・横穴ナデ後斜穴ハケ | | |
| 447 | 高杯(環部) | 下から13mm径 | 10 外面 縦穴ナデ後環部環文 | 白色粒子、黄褐色 褐色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 2.5 内面 ケズリ後ミガキをして環文、上からミガキ | | |
| 448 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 22 外面 斜穴ハケ後ナデ | 角閃石、黄褐色、白色粒子 明褐色(Hae2.5YR5/6) | |
| | | 残存高 | 4.1 内面 口縁部: 横穴、斜穴ハケ 環部: 縦穴ハケ | | |
| 449 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 21 外面 横穴、斜穴ハケ後横穴ナデ | 黄褐色、白色粒子 棕色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 5.4 内面 L口縁部: 横穴ナデ 縦穴ケズリ・ミガキ後ケズリ編文にし横穴ハケ・横穴ナデ | | |
| 450 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 19 外面 ナデ | 角閃石、石英、赤色粒子、白色粒子、黄褐色 にんじ黄褐色(Hae10YR7/4) | 胴縁 |
| | | 残存高 | 5.2 内面 ナデ | | |
| 451 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 22 外面 L口縁部: 斜穴ハケ後ナデ | 角閃石、黄褐色、赤色粒子、白色粒子 外層: 浅黄褐色(Hae10YR8/4) 内層: 褐色(Hae5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 3.5 径部: ハケ 内面 縦穴ハケ後横穴ナデ | | |
| 452 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 30 外面 全体に縦穴ナデ後L口縁部に縦穴ハケ後横穴ナデ、下は横穴ナデ・ミガキ後横穴ハケ・ナデ | 角閃石、石英、黄褐色 にんじ黄褐色(Hae7.5YR7/4) | |
| | | 残存高 | 3.4 内面 横穴ナデ後ハケ | | |
| 453 | 高杯(環部) | 口縁部径(復元) | 14 外面 ナデ | 黄褐色、白色粒子、角閃石 褐色(Hae5YR7/6) | 胴縁 |
| | | 残存高 | 3.6 内面 ナデ | | |
| 454 | 高杯(脚台部) | 台座部径 | 11.6 外面 胴部付: 横穴ナデ | 角閃石、黄褐色、石英、白色粒子、褐色粒子 灰白色(Hae10YR8/1)、部分的に黒色 | 6つの穿孔、1つは黄褐色ナデ |
| | | 残存高 | 8.5 台座部: 横穴ナデ、横穴ナデ 内面: 胴部付: 横穴ケズリ 台座部: 横穴ナデ | | |
| 455 | 高杯(脚台部) | 台座部径 | 10.8 外面 胴部付: ミガキ、横穴ナデ | 角閃石、黄褐色、白色粒子 台座部: 横穴ハケ後横穴ナデ、ケズリ、ミガキをし編文 | 4つの内側の穿孔 付ナデ |
| | | 残存高 | 5.9 内面 胴部付: 縦穴ハケ後横穴ナデ 胴部付: 縦穴ケズリ 台座部: 横穴ハケ後横穴ナデ | | |
| 456 | 高杯(脚台部) | 台座部径 | 12.2 外面 胴部付: 横穴ハケ後横穴ナデ | 黄褐色、赤色粒子、白色粒子 内面: 横穴(Hae5YR6/6) | 3つの穿孔 |
| | | 残存高 | 6.1 内面 横穴ケズリ後横穴ナデ | | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 図番号 | 構造 | 造景 (cm) | 技法的特徴 | 胎土の色調 | 備考 |
|-----|--------------------|-----------|--|---|----------|
| 457 | 高環(脚台部) 残存高 | 台座部分(復元) | 12 外周 脚柱部: 縦位ケズリ後ミガキ 台座部: 斜位ハケ後縦位ナゲ | 黄母粒子、白色粒子、赤色粒子 に灰い黄褐色(Hue75YR7/4) | 3つの穿孔 |
| | | 残存高 | 6.6 内周 脚柱部: ケズリ後縦位ハケ 台座部: 灰のしつかりした縦位ハケ | | |
| 458 | 高環(脚台部) 残存高 | 台座部分(復元) | 13 外周 ナゲ | 角閃石、白色粒子、石英 浅黄褐色(Hue10YR8/4) | 穿孔 厚溝 |
| | | 残存高 | 1.6 内周 ナゲ | | |
| 459 | 高環(脚台部) 残存高 | 台座部分 | 3.8 外周 脚柱部: 縦位ナゲ後縦位ナゲ | 金雲母、角閃石、赤色粒子、白色粒子、その他粒子 褐色(Hue5YR7/6) | 環部・台座部厚溝 |
| | | 残存高 | 7.8 内周 環部: ケズリ後ナゲ 脚柱部: 縦位ケズリ 台座部: ケズリ後縦位ナゲ | | |
| 460 | 高環(脚台部) 残存高 | 接合部 | 3.5 外周 脚柱部: 縦位ケズリ後全体にミガキ | 角閃石、金雲母、白色粒子 褐色(Hue25YR6/8) | |
| | | 残存高 | 7.1 内周 台座部: 縦位ハケ後ミガキ 環部: 縦位ケズリ | | |
| 461 | 高環(環底部-脚台部) 残存高 | 下から6.7cm位 | 3.6 外周 台座部: 縦位ナゲ | 黒母粒子、白色粒子 外周: 褐色(Hue5YR6/6) | 1つの穿孔 |
| | | 残存高 | 7.9 内周 環部: 横位ナゲ 脚柱部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 台座部: 横位ナゲ 脚柱部: ケズリ後縦位ナゲ | | |
| 462 | 高環 | 口縁部分 | 27.9 外周 口縁部: 縦位ナゲ、横位ハケ | 金雲母、黄母粒子、白色粒子 に灰い黄褐色(Hue10YR7/3) | |
| | | 高さ | 15.9 口唇部: 縦位ナゲ | | |
| | | 台座部分 | 17.1 環部下半: 上がナゲ、下が縦位ハケ 脚柱部: 縦位ハケ、横位ナゲ | | |
| | | 台座部分 | 17.1 台座部: 縦位ナゲ、横位ハケ、縦位ナゲ 脚柱部: 縦位ナゲ 環部: 縦位ナゲ | | |
| 463 | 高環 | 口縁部分(復元) | 30 外周 口縁部: 縦位ハケ後横位ナゲ | 角閃石、白色粒子、金雲母 浅黄褐色(Hue10YR8/4) | |
| | | 残存高 | 4.6 内周 口唇部: 1条のほみ 実部の上の部分: 横位ナゲ 腕部: 縦位ハケ後縦位ナゲ、部分的に縦位 ハケ後縦位ナゲ、ケズリ、横位ナゲ 内周 口縁部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 腕部: 横位ナゲ | | |
| 464 | 高環(環部) 残存高 | 口縁部分(復元) | 26 外周 口縁部: 斜位ハケ後ナゲ | 角閃石、石英、白色粒子 浅黄褐色(Hue10YR8/3) | |
| | | 残存高 | 3.3 内周 実部のような部分: 縦位ナゲ 環部下半: ケズリ、縦位ナゲ 口縁部: 斜位ハケ後ナゲ 段より下位: 縦位ナゲ | | |
| 465 | 高環(環部) 残存高 | 環部中段位(復元) | 14 外周 横位ナゲ | 角閃石、その他黒小塵 褐色(Hue5YR7/6) | |
| | | 残存高 | 4.8 内周 横位ナゲ | | |
| 466 | 高環 | 口縁部分(復元) | 30 外周 環部: 横位ナゲ、斜位ハケ、横位ナゲ | 角閃石、石英、金雲母 褐色(Hue5YR7/6) | 穿孔 |
| | | 高さ | 11.8 内周 脚柱部: 縦位ナゲ、横位ナゲ 台座部: 縦位ナゲ、縦位ハケ、縦位ナゲ 環部: 横位ハケ、横位ナゲ 台座部: 横位ナゲ、縦位ナゲ | | |
| 467 | 高環(環部) 残存高 | 口縁部分 | 17.8 外周 口縁部: 縦位ハケ、斜位ハケ、横位ナゲ、 部分的にナゲナゲ | 角閃石、石英、赤色粒子、白色粒子、灰色粒子 褐色(Hue6YR7/6) | 接合痕 |
| | | 残存高 | 6.3 内周 口唇部: 縦位ハケ、横位ナゲ後放射状ケズリ、 段より下位: ケズリ後縦位ナゲ 腕部: 縦位ハケ、横位ナゲ後放射状ケズリ、 上からミガキをしつかり 段より下位: ハケケズリ後縦位ナゲ | | |
| 468 | 高環(環部) 残存高 | 造形部分(復元) | 14 外周 腕部上: 縦位ハケ後ナゲ | 角閃石、赤色粒子、白色粒子、石英 褐色(Hue5YR7/6) | |
| | | 残存高 | 3.5 内周 腕部下: ケズリ後横位ナゲ 台座部: ナゲ | | |
| 469 | 高環 | 台座部分 | 12 外周 口縁部: 縦位ケズリ | 角閃石、金雲母、黄母粒子、石英、赤色粒子、白色粒子、 灰色粒子、黄土色粒子 環部: 外周は浅黄褐色(Hue7.5YR8/4)、内周は浅黄褐色 (Hue10YR8/4) 環部内周: 褐色(Hue5YR6/6) | |
| | | 残存高 | 30.3 内周 腕部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 脚柱部: ケズリ後縦位ナゲ 台座部: 縦位ハケ後横位ナゲ 環部: 縦位ナゲ後横位ナゲ 腕部: ケズリ後ナゲナゲ 脚柱部: ケズリ 台座部: 縦位ナゲ | | |
| 470 | 高環 | 台座部分(復元) | 15.3 外周 環部: 横位ナゲ | 角閃石、金雲母、灰色粒子、白色粒子 外周: 褐色(Hue5YR6/6) | 穿孔 |
| | | 残存高 | 9.5 内周 脚柱部: 縦位ハケ後ナゲ、ミガキをしつかり 台座部: 斜位縦位ハケ後ナゲ 環部: ナゲ 脚柱部: ケズリ、ナゲ後ミガキ | | |
| 471 | 高環 | 台座部分 | 17.2 外周 環部: 横位ナゲ | 金雲母、角閃石、石英、白色粒子、褐色粒子、黒色粒子 に灰い黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | 残存高 | 12.6 内周 環部: 縦位ナゲ 脚柱部: 縦位ナゲ後縦位ケズリ後ミガキ 台座部: 縦位ナゲ、横位ナゲ 脚柱部: 縦位ナゲ 環部: 横位ケズリ後縦位ナゲ 脚柱部: 二段で縦位ケズリ 台座部: 横位ナゲ | | |
| 472 | 高環(環底部-脚台部) 残存高 | 外周 | 8.9 環部: 縦位ハケ後縦位ナゲ | 角閃石、石英、白色粒子、黒母粒子 に灰い黄褐色(Hue10YR7/4) | |
| | | 内周 | 脚柱部: 縦位ハケ後縦位ナゲ(縦位ナゲ) 環部: 縦位ハケ後縦位ナゲ 脚柱部: 縦位ケズリ後縦位ナゲ | | |
| 473 | 高環(脚台部) 残存高 | 下から7cm位 | 3 外周 ナゲ | 白色粒子、灰色粒子、角閃石 浅黄褐色(Hue7.5YR6/6) | 穿孔 |
| | | 残存高 | 7.6 内周 縦位ケズリ後縦位ナゲ | | |

第20表 方形環溝 (30区) 出土土器観察表

| 区 | 番号 | 種類 | 法量 (cm) | 技法的特徴 | 胎土/色調 | 備考 | |
|-----|---------|------------------|------------------|---|--|---|-------|
| 123 | 471 | 高坏(坏部-胴部) | 坏收部径 残存高 | 9.8 8.8 | 外面 坏部：横位ナデ 脚柱部：縦位ハケ後横位ナデ 合縁部：横位ナデ 内面 坏部：ケズリ後横位ナデ 脚柱部：ケズリ後横位ナデ 合縁部：横位ハケ後横位ナデ | 片肉石、石英、白色粒子、赤色粒子、灰色粒子 灰白色(Hae10YR8/2) | 4つの穿孔 |
| | | 高坏(胎合部) | 下から1.5cm径 残存高 | 3.6 4.2 | 外面 縦位ハケ後横位ナデ 内面 坏部：ケズリナデ 脚台部：ケズリ | 灰色粒子 褐色(Hae7.5YR7/1) | |
| | | 高坏(坏部下平?) | 残存高 | 4.3 | 外面 縦位：縦合痕 | 赤色粒子、角閃石、白色粒子、雲母粒子 外層：褐色(Hae5YR6/6) 内層：灰白-白色(Hae7.5YR6/3) | |
| 477 | 高坏 | 横合部径 残存高 | 3.7 6.6 | 外面 脚柱部：縦位ナデ 合縁部：ナデ後ミガキ 内面 ケズリ後横位ナデ | 白色粒子、赤色粒子、雲母粒子 褐色(Hae5YR6/6) | 4つの穿孔 | |
| | 高坏(坏部) | 残存高 | 3.4 | 外面 ケズリ後ミガキをし器文後横位ナデ 内面 ケズリ後ミガキをし器文後横位ナデ | 雲母粒子、白色粒子 褐色(Hae5YR6/6) | | |
| | 高坏(脚台部) | 下から4.5cm径 残存高 | 2.8 5.6 | 外面 横位ナデ 脚部：横位ナデ後縦位ハケ、上からミガキ をし器文 内面 ケズリ後ナデ | 角閃石、褐色粒子、石英 灰白色(Hae10YR8/2) | 4つの穿孔 | |
| 480 | 高坏(脚台部) | 横合部径 残存高 | 3.2 4.9 | 外面 横位ハケ後横位ナデ 脚部：脚部始まり部分：縦位ハケ 横位ナデ 内面 横位ナデ 脚部：ナデ | 片肉石、赤色粒子、白色粒子、雲母粒子、灰色粒子 灰白-褐色(Hae10YR7/4) | 3つの穿孔 | |

第4章 自然科学分析

株式会社古環境研究所

第1節 放射性炭素年代測定

—国見中部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査の年代測定—

1. 測定試料と測定方法

雲仙市域における国見中部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査で検出された土器片に付着した炭化物5試料(試料①～⑤)および予備試料(試料⑥)について、放射性炭素(14C)年代測定可否判定の後、加速器質量分析(AMS)法により年代測定が実施された(表1、2)。

表1 測定試料と測定可否判定結果

| 試料 | 地点 | 種類 | 判定(第1段階) | 判定(第2段階) |
|----|-----------------|-------|----------|----------|
| ① | 龍王道跡倉地川地区第14回1 | 土器付着物 | ○ | ○ |
| ② | 龍王道跡倉地川地区第19回59 | 土器付着物 | △ | × |
| ③ | 龍王道跡倉地川地区第14回4 | 土器付着物 | ○ | ○ |
| ④ | 龍王道跡倉地川地区第17回30 | 土器付着物 | × | × |
| ⑤ | 龍王道跡倉地川地区第18回53 | 土器付着物 | △ | × |
| ⑥ | 龍王道跡倉地川地区代18回52 | 土器付着物 | × | × |

第1段階：古環境研究所における判定。第2段階：米岡ベータ社測定者による最終判定。

○：測定可能。△：測定できる可能性あり。×：測定不可。

表2 測定試料と処理・測定方法

| 試料 | 地点 | 種類 | 前処理・調整 | 測定法 | 測定No. |
|----|-----------------|-------|--------|-----|--------|
| ① | 龍王道跡倉地川地区第14回1 | 土器付着物 | 酸洗浄 | AMS | 229466 |
| ② | 龍王道跡倉地川地区第19回59 | 土器付着物 | - | AMS | 229467 |
| ③ | 龍王道跡倉地川地区第14回4 | 土器付着物 | 酸洗浄 | AMS | 229468 |
| ⑤ | 龍王道跡倉地川地区第18回53 | 土器付着物 | - | AMS | 229469 |

2. 測定結果

測定結果を表3に示す。

各用語の意味は次の通りである。

1) 未補正14C年代測定値

試料の14C/12C比から、単純に現在(AD1950年)から何年前かを計算した値。14Cの半減期は、国際的慣例によりリビー(Libby)の5,568年を用いた。

2) δ13C測定値

試料の測定14C/12C比を補正するための炭素安定同位体比(13C/12C)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表す。

3) 補正14C年代値

δ13C測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、14C/12Cの測定値に補正值を加えた上で算出した年代。試料のδ13C値を-25(‰)に標準化することによって得られる年代である。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を補正することにより算出した年代（西暦）。補正には、年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と ^{14}C 年代の比較により作成された校正曲線を使用した。使用したデータセットは、INTCAL04: Calibration Issue of Radiocarbon, 46(3), 2004（海洋性試料については、Marine04）である。なお、校正曲線のスムーズ化には、下記の理論を用いた。

Talma, A.S. and Vogel, J.C. (1993) A Simplified Approach to Calibrating C^{14} Dates. Radiocarbon, 35(2), p.317-322.

暦年代の交点とは、補正 ^{14}C 年代値と暦年代校正曲線との交点の暦年代値を意味する。 1σ （68% 確率） $\cdot 2\sigma$ （95% 確率）は、補正 ^{14}C 年代値の偏差の幅を校正曲線に投影した暦年代の幅を示す。

表3 放射性炭素年（ ^{14}C ）代測定結果

| 試料 | 測定Na (Beta) | ^{14}C 年代1) (年BP) | $\delta^{13}\text{C}$ 2) (‰) | 補正 ^{14}C 年代3) (年BP) | 暦年代 (西暦) 4) |
|----|----------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--|
| ① | 229466 | 8250 ± 60 | -26.1 | 8230 ± 60 | 2σ : cal BC 7460~7070 1σ : cal BC 7340~7140 交点: cal BC 7300.BC 7220.BC 7190 |
| ③ | 229468 | 7850 ± 60 | - | - | 2σ : cal BC 7010~6970. cal BC 6910~6880. cal BC 6830~6580 1σ : cal BC 6750~6720. cal BC 6700~6630 交点: cal BC 6660 |

モダン・リファレンス・スタンダードは、国際的な慣例としてNBS Oxalic Acidの ^{14}C 濃度の95%を使用した。半減時はLibbyの5,568年を使用した。 ^{14}C 年代測定のエR-は 1σ （68% 確率）である。

②は炭素量不足のため $\delta^{13}\text{C}$ の測定は不能であった（暦年代の取扱いに注意）。

第5章 総括

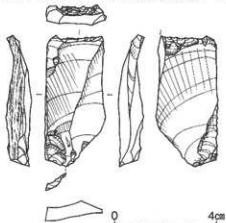
第1節 概要

—これまでの調査と報告—

昨年、一昨年と龍王遺跡からの出土遺構・出土遺物を報告（竹中2006、辻田2007）してきた。その中では旧石器時代及び古墳時代にかけての豊富な資料を見ることができた。

旧石器時代の遺物は龍王遺跡及び隣接する真正寺糸里跡から6地点、石器総数約1,000点を数える。石器群はATを挟んで下位に2地点、上位に4地点が検出されている。特にAT下位の石器群は島原半島における指標となる石器群であり、他地域との比較検討に耐えうる資料となった。良質な黒色黒曜石製の縦長剥片を素材とするナイフ形石器を主体とするもので、西北九州の編年では2期終末～3期初頭（萩原1995・2006）にあたる。島原半島では百花台遺跡群（田川1994他）において概期の石器群の出土があるが、量的には少なく、龍王遺跡の資料が追加されたことで、当地域の旧石器時代の編年作業が深化するものと考えられる。また、AT上位の石器群については剥片尖頭器や角錐状石器等を組成する石器群が、それぞれに地点を違えて検出されている。各地点ごとに石材や分布状況も異なっており、各時代における人類の活動状況を垣間見ることが出来る。

前回報告（辻田2007）の12頁第12図23の石器は「搔器」としているが、本来は「彫器」であり訂正したい。右に実測図を改変して掲載する。石材は腰岳産と考えられる良質の角礫で、厚い縦長の剥片を素材とする。先端に主要剥離面側からブランディング状の加工を施した後、主要剥離面側に平坦剥離を行っている。最後に左側縁上方からの大きな剥離で彫刀面を作り出している。



2007龍王遺跡Ⅰ・真正寺糸里跡Ⅱ2頁第12図23訂正図(影写)(2/3)

倉地川地区で検出された前方後円墳（竹中2006）は、島原半島では2基目となり、時期的には6世紀後半～7世紀前半となる。これまで知られている雲仙市吾妻町の守山大塚古墳（前方後円墳）は、発掘調査は行われていないが、4世紀代とされており、前方後円墳造営期でも古い時期のものとされている。倉地川地区で発見された古墳は、年代的には前方後円墳造営期でも新しい時期であり、島原半島では今の所最後に作られた古墳である。近隣には多くの後出する古墳があり、古墳時代後半期の島原半島の様相解明において重要な役割を果たすものと考えられる。（辻田）

—今報告の調査について—

今回は、検出された弥生時代終末～古墳時代初頭の住居群、及び古墳時代初頭の方形環濠（豪族居館）について主に報告を行った。住居跡などの遺構検出が少ない本県にとっては、これだけまとまって遺構出土の資料を報告できたことは非常に稀なことである。水田や畑の造成により削平されている部分も見られたが、30cm近い住居跡の立ち上がりが見出されたものもあり、貴重な成果となった。今報告では住居跡遺構それぞれの細かい検討にまでは言及できず、遺構単位の検出遺物を提示するにとどまっている。また、拡張区などの、本来は保存範囲にあたるものについては、トレンチ調査にとどまっており、全容が判明しているわけではない。豪族居館についても同様で、トレンチ調査のみで、遺構全体を検出しているわけではない。しかしながら本県では初例であり、大量の古墳時代初頭の石器群が検出されている。今後の整理の中で各遺構の詳細な状況や、新旧の豪族居館の時期差等まで言及する機会を設けなければならない。次節のまとめでは遺構及び出土土器についての若干の考察を行う。（辻田）

第2節 まとめ

一縄文時代の遺構・遺物一

縄文時代の遺構としては、おとし穴状遺構を報告している。厳密な時期設定は難しく、火山灰分析の成果などから、概ね早期以降のものと考えられる。わずか3基のみであったがスライス調査を行うことができた。雲仙市(旧国見町)ではこれまでもおとし穴状遺構を報告してきたが、今回が初めてのスライスである。調査の結果、これまでの調査では杭痕跡であろうと考えられるもの(7頁及び図版3)に複数の小ピットが見つかったり、上面からの観察では判らないものや、壁面に残された遺構の可能性のある痕跡も検出することができた。また、SX-2のように底面の逆茂木状の構造物をつくりかえていると考えられる痕跡も見受けられ、その形状や使用方法に大きな差があることが判る。また、断定はできないが、おとし穴状遺構の脇に同様の埋土の柱穴と考えられる遺構が検出されており、おとし穴状遺構の目印等の可能性もあろう。その他に、今報告では底面に杭痕跡の見られない、立ち上がりのゆるい遺構も、関連のものとして取り上げている。市内の他の遺跡でも検出例(辻田・竹中2004)があるが、おとし穴状遺構そのものであるか、関連のものであるかの断定はできない。これまでの多くの報告や研究が物語るように、おとし穴状遺構については断定的な話しをすることが難しい。今回は、検討を加えることができなかったが、今後も資料の蓄積に努めたい。

報告した縄文時代の遺物はすべて、倉地川地区からの出土で、前述したが十分に精査できたわけではない。にもかかわらず、かなりまとまった資料が検出できたと考えられる。ほとんどが早期の押型文土器で、二つの風倒木痕と考えられる土坑からと、包含層中の資料である。風倒木痕と考えられる土坑から出土した資料はそれぞれに文様・器形等がまとまっており、一括性の高い資料と考えられる。また、早期包含層の上には若干色調の違う土層が部分的に堆積しており、検出された早期以降の土器はその土層からの検出である。したがって、倉地川地区の時期は押型文土器単純と考えると考えられる。ほとんどが楕円の押型文土器であるが、一部ゆるい山形文も含まれる。器形は大きく分けて口縁部が直立気味になるもの、もしくはやや開くもの、と、開く器形で口縁部がさらに開くものの、2種類に分かれる。楕円の押型文も粒の小さいもの、やや粗大なもの、粗大なもの、の3種類に大きく分かれる。九州の押型文土器の編年にあてはめると、早水台式~田村式の段階か。第4章において土器附着の炭化物の年代測定を試みている。6点を抽出し分析を行っているが、残念ながら2点のみが測定可能という結果であった。資料①(13頁第14図1)と資料③(13頁第14図4)は同じ風倒木痕からの出土で、胎土や色調、文様などから、同一個体の可能性が高い。いずれも口縁部外面に付着した炭化物が測定資料であり、煮炊きによるふきこぼれの痕跡と考えられる。それぞれの測定値は①が $8250 \pm 60 \text{B.P.}$ (^{14}C 年代)、②が $7850 \pm 60 \text{B.P.}$ (^{14}C 年代)を測る。平均値で $8050 \pm 60 \text{B.P.}$ となる。島原半島では雲仙市吾妻町にある、押型文土器単純遺跡である弘法原遺跡(高野晋司1983)で土器の年代測定データが有り、比較してみたい。弘法原遺跡では、5点の押型文土器を熱ルミネッセンス法により測定を試みている。内、2点について測定結果が得られている。7300BP(TL年代)と8100BP(TL年代)。「平均値で7800BPが実年代に近いものと思われる」(市川1983)と報告されている。弘法原遺跡は「弘法原式土器」(水ノ江1998)の指標遺跡として近年注目されている。水ノ江氏は、弘法原式を稲荷山式並行期と考え、九州の押型文土器の中で最古形式にあてはめている。この位置付けは、近年の研究の中でも比較的主流となってきているようである。これに対して、弘法原式を田村式以降に続くものとする考え(渡邊1999)もある。渡邊氏は石器組成や遺跡の定住的様相などからの指摘を行っており、上記に取り上げた年代測定結果もふまえて弘法原式を押型文土器の中でも新相の時期としている。今回報告する龍王遺跡倉地川地区の年代測定結果は、渡邊氏の見解を補足するものとなろう。年代測定を行った2点の土器は風倒木跡から出土している。8点を図示(13頁第14図)しているが、いずれも器形・色

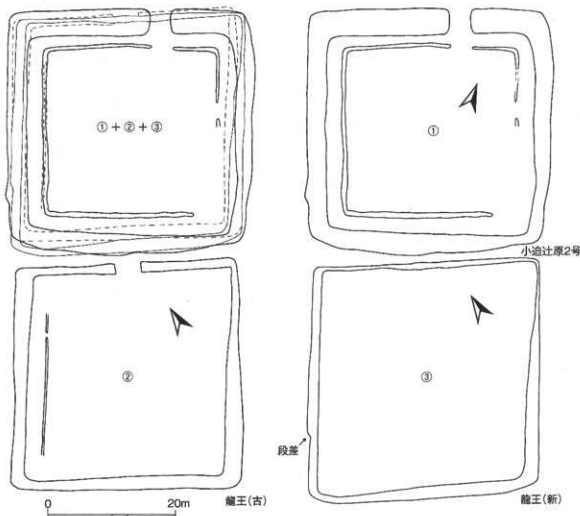
調・胎土等の統一感があり一括性の高いものと考えられる。大きく開く口縁部に、粗大な楕円文、口縁部内面の原体条痕など、田村式の特徴を表すものと考えられる。年代測定資料①・③の年代の平均が 8050 ± 60 B.P.であり、弘法原遺跡の資料よりも先行する結果となっている。近年鳥原半島では早期土器の報告(本多2005、土橋・渡邊2001など)が相次いでいる。その中では円筒形条痕文土器や捺糸文土器との関連性が垣間見える資料も見られる。倉地川地区出土資料の中にも、松木田遺跡(米倉2001)の捺糸文土器に類似する資料が検出されている。弘法原式や松木田遺跡の捺糸文土器は近年かなり古い位置付け(2007九州縄文研究会福岡大会等)となっているが、鳥原半島の遺跡の内容を見る限りそうともいえない状況が見られる。今報告では検討する紙面が尽きたが、今後機会を作りたい。(辻田)

一 弥生時代後半～古墳時代初期の住居跡について一

検出された住居跡遺構(25頁第26図)について若干の比較・検討を行いたい。各遺構出土の土器の検討については次項で述べるが、住居跡は大きく分けて弥生時代終末期と古墳時代初期(土器の様相は庄内期並行と布留並行に細分可能か)の2時期に区分できる。住居の切り合い関係から住居跡自体は4～5段階ほどの時期に区分が可能と考えられる。住居跡の平面形態を見てみると①径8mを超える大型の円形(一部多角形も含まれるか)のもの。②長軸8mほどの長方形を呈するもの。③1辺4～5mのほぼ正方形を呈するもの。の3種類に区分できる。出土遺物の内容から①②は弥生時代終末、③は古墳時代初期の時期となる。近隣の個遺跡(辻田2008)や十間遺跡(竹中2005)では弥生時代中期後半～終末にかけて径12mを超える大型の円形住居跡が検出されている。これらのことから見ると、弥生時代中期後半～後期にかけて隆盛する径10mを越す円形住居が、終末に近づくにつれ大型のまま長方形化し、古墳時代に入ると一気に小型化するという様相が見て取れる。また、小型の方形住居跡は22区SB-5のように方形環溝と軸を同じくするものと、12区SB-1のように軸が合わないものの2種類に分かれる。22区SB-5は庄内系、12区SB-1は布留系の遺物が検出されている。時期により住居の向きに規制があることも考えられよう。(辻田)

一 方形環溝(豪族居館)について一

次頁に同様な方形環溝の検出されている大分県小迫辻原遺跡の2号環溝と、龍王遺跡の環溝の比較図を掲載している。ほぼ同じサイズであることに驚かされる。布留溝の位置まで同じであることを考えると、偶然とは言いがたく、このような規格が存在し、それを意識して環溝を作っていた。と考えられないだろうか。出土遺物についても同様の時代が考えられ、直線距離で80kmの距離の両遺跡に、密接な関連性が見て取れないだろうか。龍王遺跡の布留溝は新旧どちらに伴うか判然としないが、図では古いほうに当てはめている。25頁第26図では方形環溝を横切るように2本の溝が検出されている。細いほうの溝は古代の溝で明らかに後出するものである。しかしながらもう一本は検出時に環溝との新旧の判断に苦労した。図版6に切り合い関係とV字状の溝断面の写真を示している。V字溝はトレンチ調査のみで調査範囲が少ないこともあり出土物は細片ばかりである。今報告のために、もう一度遺物を実見したところ、古墳時代以降と考えられる遺物は見られない。また、溝の断面形状からも弥生時代の環溝の可能性もあり、本来は環溝よりも古い可能性がある。そうであれば、今回検出された弥生終末の住居群に伴うものであろうか。実測図では環溝を切る格好としているが本来は環溝の下を通ると考えられる。また、報告書作成中に気づいたが、前述の溝と切りあう部分のすぐ南側で環溝の遺構形状に段差がついている。このことも考えれば環溝とその他の溝との切り合い関係の判断を迷わせた要因であろうが、この段差は23区に見られる1号環溝の陸橋部分の段差と同じものと考えられ、そうであれば新しいほうの2号環溝にも陸橋部分があることが予想される。新旧の環溝は同じ位置に作り変えられているが、陸橋部分の位置が西側から北側へ変更されている。1号環溝については、出土遺物が細片ばかりで今報告では紹介に至らなかったが、今後内容を精査し再報告の機会を作りたい。(辻田)



【参考文献】

- 市川米太 1983「第4章 化学分析による遺跡の古環境について」『弘法原遺跡』(高野晋司編) 吾妻町の文化財7 長崎県吾妻町教育委員会
- 田川 肇・副島和明・伴 耕一郎 1988「百花台広域公園建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書 第92集 長崎県教育委員会
- 田川 肇 1994「県道国見雲仙線改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書 第116集 長崎県教育委員会
- 竹中哲朗・織田健吾 2006『龍王遺跡(倉地川古墳)』雲仙市文化財調査報告書(概報) 第1集 長崎県雲仙市教育委員会
- 田中裕介・土居和彦・清水宗昭 1999「小迫辻原遺跡Ⅰ A・B・C・D区編」九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書10 大分県教育委員会
- 辻田直人・竹中哲朗 2003『石原遺跡・矢房遺跡』国見町文化財調査報告書(概報) 第3集 長崎県国見町教育委員会
- 辻田直人・竹中哲朗 2004「十園遺跡」国見町文化財調査報告書(概報) 第4集 長崎県国見町教育委員会
- 辻田直人 2007『龍王遺跡Ⅱ・真正寺条里跡』雲仙市文化財調査報告書(概報) 第2集 長崎県雲仙市教育委員会
- 辻田直人 2008『圓遺跡』雲仙市文化財調査報告書(概報) 第4集 長崎県雲仙市教育委員会
- 萩原博文 1985.3「堤西半田遺跡」長崎県平戸市教育委員会
- 萩原博文 1995「考古編 第2章 平戸の旧石器時代」『平戸市史 自然・考古編』長崎県平戸市
- 萩原博文 2006「九州西北部の地域編年」『旧石器時代の地域編年の研究』(安齋正人・佐藤宏之編) 榊同成社
- 本多和典 2005「下末宝遺跡・上畦津遺跡」深江町文化財調査報告書 第1集 長崎県深江町教育委員会
- 水ノ江和同 1998「九州における押型文土器の地域性」『九州の押型文土器』縄文集成シリーズ3 九州縄文研究会
- 渡邊康行 1999「一野式・弘法原式の設定をめぐって」『西海考古』創刊号 西海考古同人会
- 九州縄文研究会 2007「九州における縄文時代早期前葉の土器相」第17回九州縄文研究会福岡大会 九州縄文研究会

一龍王遺跡出土の古式土師器について一

長崎県内での古式土師器の研究は、資料的制約により著しく遅れている状態である。1970年代に、宮崎貴夫氏が大村市大堂遺跡の報告の中で、出土土師器の位置付け（宮崎1979）を行ったことが長崎県における古式土師器研究の嚆矢で、その後、今福遺跡で出土した土師器を使って、弥生土師器および古式土師器についての編年（宮崎1986）作業を行っている。近年では1997年に古門雅高氏が有明海西岸地域古式土師器の編年（古門1997）作業を行い、第Ⅰ～Ⅵ期に分類し、99年に黄金山古墳出土の土師器を新たにⅢ期aに位置づけることを加えて（古門1999）再度編年を組み直している。今回報告する龍王遺跡の住居跡・方形環溝からは非常に良好な資料を多数検出することができた。古式土師器がこれほどまとまって、さらにしっかりとした遺構から検出されたのは近年の県内の調査では他に類例を見ない。ほとんどの土師器が接合により完形近くまで復元することができており、編年を組むには最適な資料であることは間違いないであろう。これらの資料を宮崎氏・古門氏の検討された長崎県内の古式土師器編年を参考にして、大まかではあるがそれぞれの時期的な位置付けを試みて、まとめとする。位置付けを行うにあたって、住居跡については遺物が少ないものや、破片のみの検出分は省く。方形環溝については残存率がよく完形品に近いものを主に使っている。

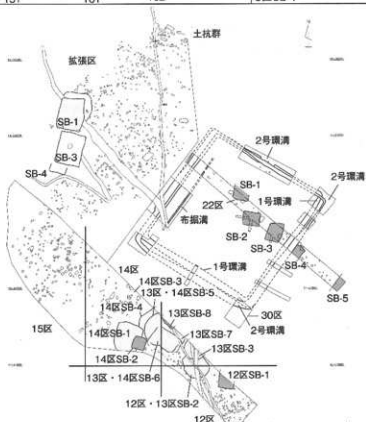
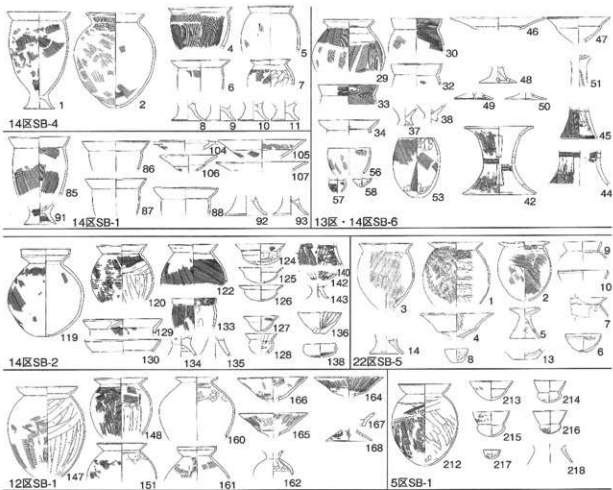
(1) 住居跡

住居跡は宮崎氏の編年に当てはめると、弥生後期Ⅴ期の終末から古墳初頭に、古門氏の編年に当てはめると、Ⅰ期より若干前の時期からⅡ期までに位置付けができると考えられる。

第124図から、14区SB-4が最も古く、5区SB-1が最も新しい時期と考えられる。しかし、5区SB-1は今回報告する場所からは離れているため遺物のみの掲載となる。全体的にしっかりと時期が分かれるのはこの2つである。14区SB-4は、弥生後期の在地系土台付甕と広口壺が出土している。明らかに弥生時代の土器しか含まれておらず、弥生後期終末であることが言えるであろう。13・14区SB-6は、全体の形態がよく分かる器台などの中で、高坏は古墳初頭の深い坏身の形状を呈している。14区・SB-1は鋤先状口縁を持つ高坏の破片があり、古墳初頭の高坏も見られる。竪溝直線文の上に斜短線を施す器台の破片もあり、胴部にあまり膨らみのない土台付甕が多い。22区は方形環溝の内側で検出された住居跡である。全体的に遺物はあまり出土していないが、住居が小さく正方形なことなどから古墳初頭のものである。22区SB-5は、前回報告した龍王遺跡（倉地川古墳）の第6章・第5節（66頁～67頁）に掲載している古式土師器である（竹中2006）。方形環溝の外側であるが、周辺の住居跡の中では最も近くに位置している。庄内系のタタキが施された甕や、小型器台が含まれている。14区SB-2は住居跡の形態が正方形で古墳時代のものであるが、土台付甕等の弥生の遺物も多量に混在する。周辺が弥生の住居跡に囲まれているため、弥生の遺物が流れこんだ可能性も考えられる。12区SB-1は古墳初頭である。内面ヘラケズリ調整の布留系の甕や、山陰系の二重口縁壺、深い坏部を持つ高坏などが含まれている。5区SB-1には口縁部が長く、胴部が小さい小型丸底土器が出土している。このことからⅡ期の布留系古相の土師器であることが分かる。古相でもⅢ期の新相に非常に近いもので、他のものと時期に若干ずれがあると思われる。

弥生時代の住居跡の土器は、胎土に角閃石を含むものしか見られず、土師の形状などは模倣していたが実際に他の地域で作られたものなどは使っておらず在地で作ったものを主に使っていたようである。古墳時代になってくると金雲母を含むものが若干見られ、他地域から土器が搬入品として入ってきたことが考えられる。

住居跡の時期幅は、14区SB-4（弥生後期）～5区SB-1（古墳初頭前半）と位置づけることができる。その間で、14区SB-1、13・14区SB-6の土台付甕やバチ状透かしを施す器台など、弥生後期終末の特徴が色濃く出ているものを含んでおり、14区SB-2、22区SB-5、12区SB-1のように在地系の中に庄内系や布留系の影響を強く受けているものを含む住居跡が存在することが分かる。



第124図 龍王遺跡・住居跡出土土器の変遷 (1/12)

(2) 方形環溝

方形環溝から出土した古式土師器は、古門氏の編年Ⅰ期（庄内系並行期）からⅡ期（布留系古相期）に属すると考える。全体的に見たところⅡ期に属するものが多い。

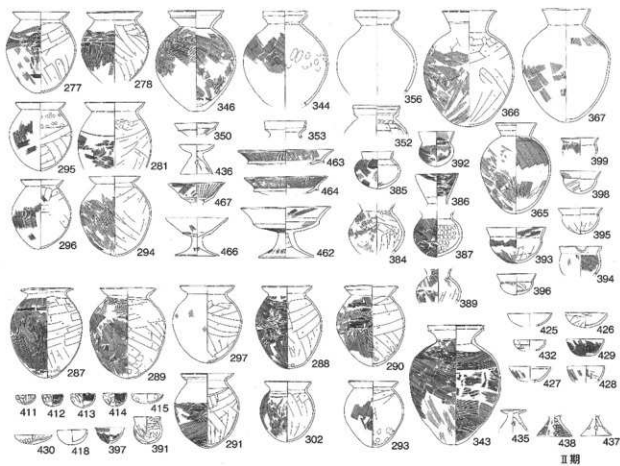
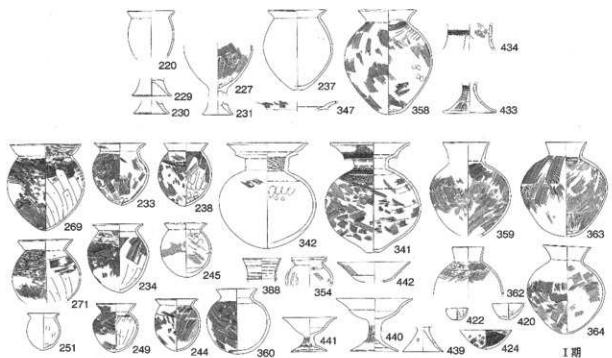
古門氏のⅠ期は、在地系土器の中に少数の庄内系要素を取り入れ影響を受けているものが出現してくる時期である。第125図のⅠ期に属する土器は、ほとんどが胎土に角閃石を多量に含んでいることから、鳥原半島で作られた在地系のものであると言える。外反する口縁部や尖底を呈する全体の形態、外面に行くタキ縮めや、内・外面ともにハケを施す調整などは庄内系の影響を非常によく受けているようである。弥生からの系譜を持つ台付甕や、長方形の透かしを施している器台も若干残っている。畿内系の二重口縁壺は、2つとも胎土に金雲母を多量に含んでいる。342は全体にきれいにミガキをかけており、341は装飾が施され、作りがしっかりして精製されていることから搬入品であろう。他に特徴的なもので、近江系の小型二重口縁壺354と、山陰系の長頸壺の口縁部片388も見られるが、両方とも胎土に角閃石が含まれているため模倣してこちらで作られた可能性が高い。広口壺は胴部が短く、肩部に張りがある。高坏は坏部が深く、脚柱部が細身で長いものが主流となり、器台は小型化し始める。鉢は高台を持つものが見られる。

Ⅱ期は、布留系の影響が伺える時期である。第125図のⅡ期に属する土器は、Ⅰ期と同じくほとんどが胎土に角閃石を多量に含む在地系のものである。しかし、金雲母を含む外来系のものも増え、布留系の影響を受ける在地系の土師器も増えた。壺は金雲母を含み、布留の特徴を示す内面ヘラケズリ調整を行っているものは器壁が非常に薄くてきている。しかし、角閃石を含むものは薄くはならず、模倣してみたが上手くできなかったようである。外面調整は肩部に横位のハケ、その上下に縦位のハケを施している。朝顔状に水平に開く口縁部を持つ西部瀬戸内系の甕も見られる。肩部に波状文・直線文を施しているものもあり、これらは全てにおいて金雲母が多量に含まれ搬入品であろう。壺は胴部が長胴形になり、二重口縁壺は在地系のもの、山陰系のもので出ている。頸基部に三角の突帯を巡らせている肥後系のものもある。高坏の462は大量に金雲母を含んでおり、463・464は角閃石を多く含んでいる。これらは口縁部と坏部下半の接地面に三角の突帯を意識したつまみのようなものを出している形状がよく似ており、462を模倣したのかもかもしれない。器台は完全に小型化する。手捏ねの浅鉢は全て角閃石を含み、丸底を呈し在地系である。

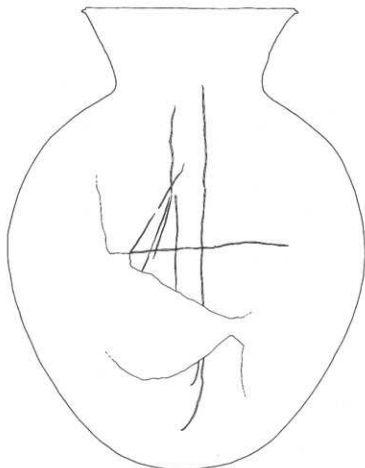
これらのことから、方形環溝と住居跡は概ね時期が古墳初頭に納まることが分かる。ただし、遺構図を見ても判る通り、方形環溝と住居跡の切り合い関係もあり、方形環溝も2条存在することから時期に多少のずれがあることは間違いない。今回は大まかな区分に留まっている。

遺物は、いずれも長崎県の古式土師器編年に当てはめると、Ⅰ期からⅡ期に属することが分かった。外来系は畿内や山陰のみならず、近江や西部瀬戸内、肥後など多くの地域の技術を模倣して在地のものに織り込んでいた。方形環溝の古式土師器の中で胎土に金雲母が含まれているものは図示した260点中47点あった。国見町では有明海を通じて、各地より搬入品としてやって来た土器から多種多様の技術を取り入れていたようだ。今回龍王遺跡とは他に、Ⅱ期の古式土師器の良好な資料が検出できた佃遺跡も報告を行っている。地形的にはほぼ隣接しており、こちらは土坑と河川堆積から出土している。佃遺跡では住居跡は主に弥生時代までしか見られず、それ以降の古墳初頭になると東側の龍王遺跡に拠点を移していることが考えられる（辻田2008）。

最後に、今回はあまり詳しく報告することができなかったが、今後の長崎県内における古式土師器の編年に資するものであり、さらに編年を細分することが可能になるであろう。今後は県内の他の遺跡等の出土土師器も視野に入れながら、龍王の古式土師器を見直し検討を行い、住居跡や方形環溝等の遺構の時期区分にも目を向けながら、再度報告する機会を作りたいと思っている。（小野）



第125図 龍王遺跡方形環溝出土土器の変遷 (1/12)



第126図 110頁第113図366線刻のある土器 (1/3)

一線刻のある土師器について

110頁第113図366で紹介した線刻のある広口壺について、簡単ではあるがここで述べておきたい。胴部の中央、頸部外面の後線部分から底部に向かって広い範囲に渡り線刻が描かれていた。1本の線で描いているかのように見えるが、よく観察すると、しっかりとした濃い線で、部分的に途切れている。断面が「V」の字を呈するため先の尖ったもので描いていることが分かる。胴部全体に斜位のハケなどで調整を行った後に線刻を施している。今回、多数の土器を報告してきたがこのように線刻が施されているものは他にはなく、国見町内で行った調査でも出土したことがない。しかし残念ながら最も詳しく描かれているだろうと思われる部分のみ破片が見つからず、何が描かれているのか検討をつけることはできなかった。これからの研究で答えが出ることを大いに期待したいと思う。(小野)

一おわりに

国見中部地区県営園場整備事業に伴う発掘調査や報告書の作成は、県からの委託事業としては今回で終了となる。まだまだ検討の余地がある部分も多いと考えられるが、これでひと区切りとし、今後の調査や整理作業に活かしていきたい。現地の調査や報告書の作成においては、例言に記した以外にも、発掘作業員さん等、多くの方々に助けられ、励まされてきた。末筆ながら感謝の意を表すとともに、昼夜を分かたず実測・編集作業に耐え抜いてくれた報告書作成スタッフ一同には深謝するばかりである。(辻田)

【参考文献】

- 大川清・鈴木公雄・工業善通 編 1996『日本土器事典』雄山閣出版株式会社
 大野安生 2003『冷泉遺跡』『黒丸遺跡ほか発掘調査概報 Vol.3 1998-2002』(大野安生・松川憲毅・松尾尚哉 編) 大村市文化財調査報告書 第25集 長崎県大村市教育委員会
 石橋新次 1983『中九州における古式土師器』『古文化談叢』第12集 発行10周年記念論集 九州古文化研究会
 蒲原宏行 1991『古墳時代初頭前後の土器編年—佐賀平野の場合—』『佐賀県立博物館・美術館調査研究書』第16集 佐賀県立博物館・美術館
 竹中哲朗 2006『龍王遺跡22区住居跡出土土師器の紹介』『龍王遺跡(倉地川古墳)』(竹中哲朗・織田健吾 編) 雲仙市文化財調査報告書(概報) 第1集 長崎県雲仙市教育委員会
 辻田直人 2008『備遺跡』雲仙市文化財調査報告書 第4集(概報) 長崎県雲仙市教育委員会
 竹中哲朗 2003『高原半島の古墳時代住居跡出土土師器』『石原遺跡・矢房遺跡』(辻田直人・竹中哲朗 編) 国見町文化財調査報告書(概報) 第3集 長崎県国見町教育委員会
 古門雅高 1997『種田原遺跡住居跡出土の古式土師器について』『種田原遺跡Ⅰ』(村上逸朗・福田一志・古門雅高 編) 長崎県文化財調査報告書第136集 長崎県教育委員会
 古門雅高 1999『黄金山古墳出土土師器の検討』『西海考古』創刊号 西海考古同人会(長崎県)
 宮崎貴夫 1986『Ⅱ 弥生土器および古式土師器について』『今福遺跡Ⅲ』長崎県文化財調査報告書 第84集 長崎県教育委員会
 柳田康雄 1998『土師器の編年 九州』『古墳時代の研究』6 土師器と須恵器(石野博信・岩崎卓也・河上邦彦・白石太郎 編) 雄山閣出版株式会社
 山本志尚 2001『和英対照日本考古学用語辞典』東京美術